

厚生労働省
生活保護世帯出身の大学生等の
生活実態の調査・研究等一式
報告書

株式会社富士通総研

目次

1. 調査の概要	1
1-1. 調査目的	1
1-2. 調査設計	1
1-3. 調査項目	2
1-4. 報告書の見方.....	2
2. 今回調査結果 まとめ	3
2-1. 大学進学までの支援のあり方について.....	4
2-2. 現在の生活状況について.....	6
2-3. 卒業後の見込みについて.....	7
2-4. 世帯分離による影響について.....	7
2-5. 今後の支援制度のあり方について（全体を通して）	7
3. 今回調査結果 詳細	10
3-1. 基本属性	10
3-2. 現在の学校に通う前について.....	15
3-3. 現在の生活状況について.....	43
3-4. 卒業後の見込みについて.....	58
4. 前回調査結果との比較	61
4-1. 基本属性	61
4-2. 現在の学校に通う前について.....	63
4-3. 現在の生活状況について.....	75
4-4. 卒業後の見込みについて.....	82
5. 資料編	84
5-1. 調査票	84

1. 調査の概要

1. 調査の概要

1-1. 調査目的

生活保護世帯出身の大学生等の進学に関する状況や現在の生活状況を調査・研究することにより、生活保護世帯の子供の大学等への進学を含めた自立支援を検討する上で、必要な基礎資料を得ることを目的とする。

1-2. 調査設計

(1) 調査対象

生活保護世帯出身で、調査基準日（令和5年4月1日）時点で、大学・短期大学・専修学校・各種学校に在籍している者のうち、生活保護世帯と同居しており世帯分離を行っている者

(2) 標本数

調査対象者：4,500件

(3) 回収数

947件（回収率 21.0%）

(4) 抽出方法

各自治体の福祉事務所から提供されたリストに掲載の8,772件（令和5年4月1日時点）から、学校区分や国公立・私立区分ごとに調査対象者数を層化抽出

(5) 調査方法

インターネット調査

（上記（4）の方法により抽出した指定人数分の調査対象者を、各自治体の福祉事務所において無作為抽出したうえで、各福祉事務所から調査対象者へ調査協力を依頼。その後、調査対象者はWeb形式の本調査に回答。）

(6) 調査期間

令和5年12月7日～令和6年1月5日

(7) 調査機関

株式会社富士通総研

1-3. 調査項目

主に、以下の項目について調査を実施した。

分類	主な調査項目
基本属性	■ 性別・年齢、同居家族、現在通っている学校の種類・学年・専門
現在の学校に通う前について	■ 通っていた高校等の種類・学科 ■ 高校等への進学について 経済的な理由で志望校を変更した経験 ■ 大学等への進学について 進学検討時期、生活保護費減額による影響、進学志望理由、進路に関する相談状況、進学に関する家族の考え ■ 受験に関することについて 受験勉強の進め方、進学等に関する情報入手方法・必要な情報、受験した学校・学部数、受験・入学にかかる費用・準備方法、アルバイトの状況
現在の生活状況について	■ 経済的な状況について 就学費用の援助、奨学金等の利用状況、授業料等の年間必要額、授業料減免制度の受用状況、国民健康保険・国民年金保険料の状況 ■ アルバイトの状況 現在のアルバイトの有無・労働時間・就労日数・収入、アルバイト収入の世帯への提供状況 ■ 学生生活について 学校の授業への出席状況・欠席理由、学生生活に関する悩みや不安
卒業後の見込みについて	■ 卒業後の進路、卒業後の親との同居・経済的な援助について

1-4. 報告書の見方

- 調査結果の数値は、回答率(%)で表示している。%の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数はnで示している。
- %の数値は、小数点第2位で四捨五入し、小数点第1位まで示している。よって、単一回答の質問であっても、各回答の数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- 回答は、単一回答(○は1つ)と複数回答(○はいくつでも)の選択式の回答と、具体的に数値を回答する場合がある。複数回答の設問の場合は、その回答割合(%)の合計が100.0%とならないことがある。
- 前回調査(平成29年度)と今回調査(令和5年度)との比較においては、質問の選択肢を加除変更している場合がある。

2. 今回調査結果 まとめ

2. 今回調査結果 まとめ

<生活保護世帯出身の大学生等の生活実態の調査・研究等 結果概要>

目的

生活保護世帯出身の大学生等の進学に関する状況や現在の生活状況を調査・研究することにより、生活保護世帯の子供の大学等への進学を含めた自立支援を検討する上で、必要な基礎資料を得る

調査設計

調査対象	生活保護世帯出身で、調査基準日（令和5年4月1日）時点で、大学・短期大学・専修学校・各種学校に在籍している者のうち、生活保護世帯と同居しており世帯分離を行っている者
標本数	調査対象者：4,500件
回収数	947件（回収率 21.0%）
抽出方法	各自治体の福祉事務所から提供されたリストに掲載の 8,772 件（令和5年4月1日時点）から、学校区分や国公立・私立区分ごとに調査対象者数を層化抽出
調査方法	インターネット調査
調査期間	令和5年12月7日～令和6年1月5日

調査結果 概要

大学進学までの支援のあり方について

- ◆ 大学等への進学にあたり、進学する理由は学校種別によって異なり、自分の学びたい分野や将来希望する職業・就職先を考えて進学先を決定していることから、志望動機に沿った情報提供や周囲のサポートにより、希望進路を実現できる支援が重要である。
- ◆ 進学を考え始めた時期は高校3年生の時が約3割で多くなっているが、より早期から進学について親や学校の先生や職員と話し合う機会を持つことで、本人が自身の将来を見据えた進路検討が行えるとともに、家族の協力を得やすくなる可能性がある。
- ◆ 受験や入学に要する費用は、奨学金を利用したり、家庭と自分で用意したりすることで準備する人が多い。
- ◆ 進学にあたり、家族からはできるだけ経済的な負担がかからないようにして欲しいとの話はあったものの、経済的な理由で進学を反対されたケースは少なかった。
- ◆ 9割以上の多くの世帯において、家族は子供の進学の希望を尊重している。大学等への進学に関する家族の考えや姿勢は、進学に向けた環境づくりに大きく影響し、本人の志望理由や相談相手等にも関係してくることから、家族が子供の進学を後押ししやすくなるような世帯に対する経済面や生活面での支援ができるよう、様々な制度を通じた進学先や奨学金等の情報提供により、大学等へ進学したい子供の選択肢を広げられると考えられる。

現在の生活状況について

- ◆ 進学した者のほとんどが奨学金を利用しており、日本学生支援機構の奨学金の利用が多く、前回調査時よりも増加している。授業料減免制度を受けている人は大幅に増加しており、就学支援新制度が認知され活用されている実態がうかがえる。
- ◆ 大学等進学後、出身家庭から学費・生活費の援助を受けていない者の割合は7割超となっている。援助を受けている場合の年間平均額は約24万円である。
- ◆ 進学した者で最近1年間にアルバイトをしている者の割合は8割程度であり、そのうち約3割はアルバイト収入の一部を定期的に家庭に入れている。
- ◆ 学生生活について、学業とアルバイトの両立や将来の就職・キャリアに関して不安を持っている人が半数程度となっている。
- ◆ 卒業後の進路については、正規職員等として就職する予定の人が約半数を占めている。

2-1. 大学進学までの支援のあり方について

(1) 進路を検討する時期

大学等への進学を検討した時期について、中学生以前や高校等に進学するときに考え始めている場合は、高校2・3年生のときに考え始める場合よりも大学等に進学する割合が高い。親、学校の先生や職員に進路に関する相談をしている割合が高くなっている。

高校2・3年生になってから進学を意識した場合は、資格取得や就労に直結しやすい専修学校に進学する割合が高く、親に相談をしている割合が高くなっている。

(2) 進学先による違い

大学等への進学にあたっては、進学する理由は学校種別によって異なり、資格取得等就職に直結する専修学校等を選ぶ傾向とともに、自分の学びたい分野や将来希望する職業を見据えて進学先を決定している割合も高くなっている。

<大学へ進学している人>

- 中学生以前や高校等に進学するときに、大学等への進学を検討し始めている
- 幅広い教養を身につけたい、大卒等の学歴が得られるとの理由で進学を決めた
- 進学先を志望した理由は、自分の学力を踏まえて考えている
- 進路について、主に親、学校の先生や職員に、進学先の選択や進学に係かかる費用について相談している
- 進学に関する情報収集は、情報誌やインターネットを利用するなど、自分ひとりで調べているほか、学校の先生や職員から話を聞いている
- 家族の協力としては、家事や家族の介護等の負担を減らしてくれた

<短期大学へ進学している人>

- 資格や免許を取得したいとの理由で進学を決めた
- 進路について、主に親に、奨学金等の学費サポート制度について相談している
- 進学に関する情報収集は、学校の先生や職員から話を聞いている
- 家族の協力としては、希望する進学先について調べてくれた、進学にかかる費用について調べてくれた

<専修学校へ進学している人>

- 将来の仕事に役立つ勉強がしたい、専門的な研究をしたい、資格や免許を取得したいとの理由で進学を決めた
- 進学先を志望した理由は、学びたい学部・学科・専攻があるから、就職実績が優れているから、資格や免許が取れるからである
- 進路について、主に親に、奨学金等の学費のサポート制度について相談している

- 家族の協力としては、進学先の相談にのってくれた

＜各種学校へ進学している人＞

- 進学先を志望した理由は、学びたい学部・学科・専攻があるからである
- 進路について、主に親に、奨学金等の学費サポート制度について相談している
- 進学に関する情報収集は、親などから話を聞いている
- 家族の協力としては、進学にかかる費用について調べてくれた、進学先についてアドバイスをくれた

（３）進路に関する世帯の協力・影響

大学進学時の生活保護費減額が大いに影響したと回答した世帯では、学びたい分野のほか、就職実績や資格・免許取得など就労に直結する進路を志望する傾向にある。

（４）受験に関する費用負担、勉強の進め方

受験勉強の進め方としては、学校教材や参考書を用いてひとりで受験勉強をした人の割合が多く、塾や予備校、通信教育を利用した者は全体の 11.0%である。ひとりで受験勉強を進める際、無料の学習支援としてインターネット上の動画配信サービス等を活用した者もみられ、経済的な負担を抑えつつ、受験勉強に取り組む工夫がうかがえる。

受験や入学にかかる費用については、下表のとおり。

項目	平均額（千円）
受験の教材（参考書等）にかかった費用	22.9
塾・予備校、通信教育にかかった費用	44.3
受験料	44.0
受験するためにかかった交通費・宿泊費	4.6
入学金	315.0
大学生生活で必要になるパソコン	98.5
大学生生活で必要になる電話機 （携帯電話・スマートフォンを含む）	49.1
通学用の自転車・原動機付き自転車	16.0
入学式用の衣類・鞆	45.9
合計（n=947）	640.3

奨学金を利用して受験や入学に要する費用を準備している割合が高い。このほか、家庭と自分で用意したり、生活福祉資金貸付制度を利用したりして賄っている。

高校生時のアルバイトについて、子供の大学等への進学に関して家族が協力的な場合、受験勉強期間中にアルバイトをしなかった割合が高い一方、家族が非協力的または無関心であった場合、受験勉強期間であるかに関わらずアルバイトをしていた割合が高い傾向にある。アルバイト収入の主な使い道として、遊興費・お小遣いや進学のための費用に

充てており、自分が自由に使えるお金と進学に向けた費用負担に備えてアルバイトをしていると考えられる。

1校(1学部)のみ受験している人は、学校教材を用いてひとりで受験勉強に取り組み、学校の先生や職員に話を聞いて情報収集している割合が高くなっている。一方、2校(2学部)以上受験している人は、自分で情報収集しながら、学校教材以外の参考書を購入したり、塾や予備校、通信教育を利用したりして受験勉強を進めている傾向がみられる。

2-2. 現在の生活状況について

(1) 経済面

奨学金の利用状況については、全体の95.4%が利用しており、就学支援新制度の浸透によりほぼ全ての学生が活用している実態がうかがえる。日本学生支援機構の奨学金の利用割合が高く、平均年間受給額は日本学生支援機構の給付型奨学金が38万円程度、貸与型奨学金が32万円程度となっている。

令和5年度に授業料減免制度を受けている割合は、全体の84.2%であり、多くの学生に活用されている実態がうかがえる。大学や短期大学では4割超が全額免除されており、申請した場合は概ね減免措置を受けられていることから、学校側の授業料減免制度の整備が進んでいることも考えられる。

大学等に納付する年間必要額については、下表のとおり。

項目	平均額(千円)
授業料 (出身家庭が支払った授業料を含む)	609.5
その他の学校納付金 (入学時の特別納付金を除く)	135.0
修学費 (教科書・図書代、文具購入費等を含む)	78.9
通学費	85.5
合計(n=947)	908.9

国民年金保険料については、学生納付特例制度を利用している割合が全体の67.2%であり、大学に通っている人や奨学金等を利用している人の制度利用の割合が高い。

(2) アルバイト

最近1年間にアルバイトをしていた割合は全体の76.8%であり、授業期間・長期休暇中の平均的な労働状況については、下表のとおり。1か月あたりの平均収入は6万5千

円程度となっている。

	授業期間（平日）	授業期間（休日）	長期休暇中
平均労働時間／日	4.3 時間	5.8 時間	5.9 時間
平均就労日数／月	9.3 日	5.6 日	13.1 日

アルバイトをしている人のうち、アルバイト収入を家庭へ入れている人は約 3 割であり、定期的に提供している割合が多い傾向にある。1 か月あたりの平均提供額は約 2 万 2 千円程度となっている。

（3）授業出席

大学等の授業への出席状況は、9～10割（全出席）が全体の 67.4%となっている。授業の欠席理由としては、病気（体調不良）やアルバイトが多くなっている。学業とアルバイトの両立が負担となるケースが多い。

（4）学生生活

学生生活に関する悩みや不安については、希望の就職先や進学先へ行けるか不安が 6 割超、学業とアルバイトの両立が困難が 5 割超、卒業後にやりたいことが見つけられないが 4 割超となっている。

2-3. 卒業後の見込みについて

卒業後の進路については、正規の職員等として就職が 51.0%、未定が 12.8%、現在も就職活動中が 10.7%となっている。

卒業後の親との同居予定については、子供の大学等への進学に関する家族の考えや姿勢によって異なり、家族が非協力的または無関心であった場合、同居しない予定の割合が高くなる傾向にある。また、卒業後に同居せず転出する場合、出身家庭へ経済的な援助を行いたいが、余裕がなく難しいと考えている割合が高くなっている。

2-4. 世帯分離による影響について

大学等進学による世帯分離を行うことでの生活保護費減額の影響については、大いに影響した割合が約 4 割、少し影響した割合が約 2 割と、全体で約 6 割が進学を検討する際に影響している。

2-5. 全体を通して

直近 5 年間には経済情勢の変化や法制度改正等を受け、平成 30（2018）年度には進学準備給付金制度の開始および世帯分離に伴う住宅扶助の減額廃止、令和 2（2020）年度には就

学支援新制度（授業料減免、奨学金）など、経済面での制度整備が進められてきた。

今回の調査では、前回調査時点（平成 29（2017）年度）と比較すると、特に就学支援新制度の浸透など経済面の制度整備による支援の効果はあったものと考えられる。

3. 今回調査結果 詳細

3. 今回調査結果 詳細

3-1. 基本属性

【問1】あなたの性別・年齢をお答えください。

回答者全体では、男性が45.5%、女性が51.2%となっている。

学校の種類別にみると、男性は大学が51.7%と最も多く、次いで各種学校が46.6%、専修学校が36.4%、短期大学が17.5%となっている。女性は短期大学が77.5%と最も多く、次いで専修学校が59.6%、各種学校が51.7%、大学が45.3%となっている。

年齢については、19歳が35.6%と最も多く、次いで20歳が24.0%、18歳以下が14.9%となっている。

学校の種類別にみると、19歳が全種類において最も多く、各種学校の27.6%を除き、次に多いのは20歳となっている。

図3-1 回答者の性別（単一回答）／学校の種類別

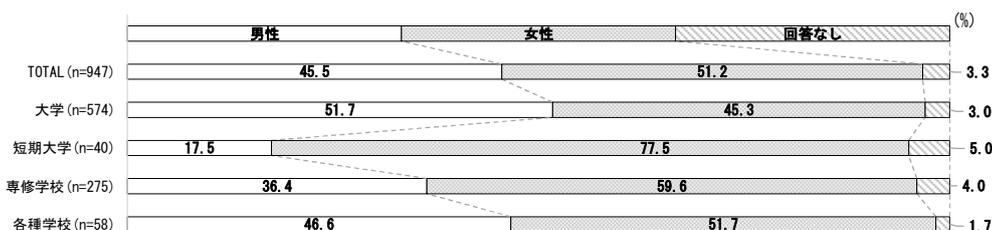
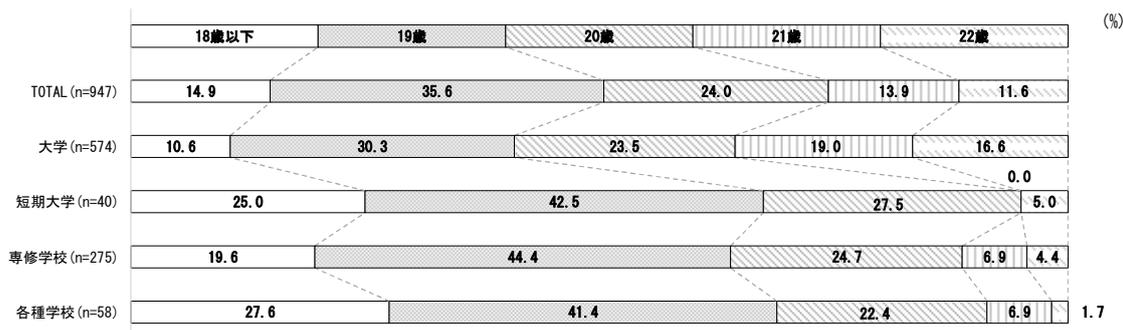


図3-2 回答者の年齢（単一回答）／学校の種類別



【問2】現在、同居しているご家族について、あなたから見た続柄でお答えください。また、同居しているご家族は何人いらっしゃいますか。(いくつでも)

同居している家族については、回答者全体では、「母親」が最も多く 92.6%、次いで「弟」が 27.3%、「妹」が 26.4%となっている。「父親」は 12.7%にとどまっている。

学校の種類別で見ると、大学に通っている場合は、兄弟姉妹がいる割合が、他の学校よりも比較的低くなっている。

同居家族人数（自分を除く）は、「1人」が 42.1%と最も高く、次いで「2人」が 32.7%、「3人」が 17.3%となっている。

図 3-3 家族続柄（複数回答）／学校の種類別

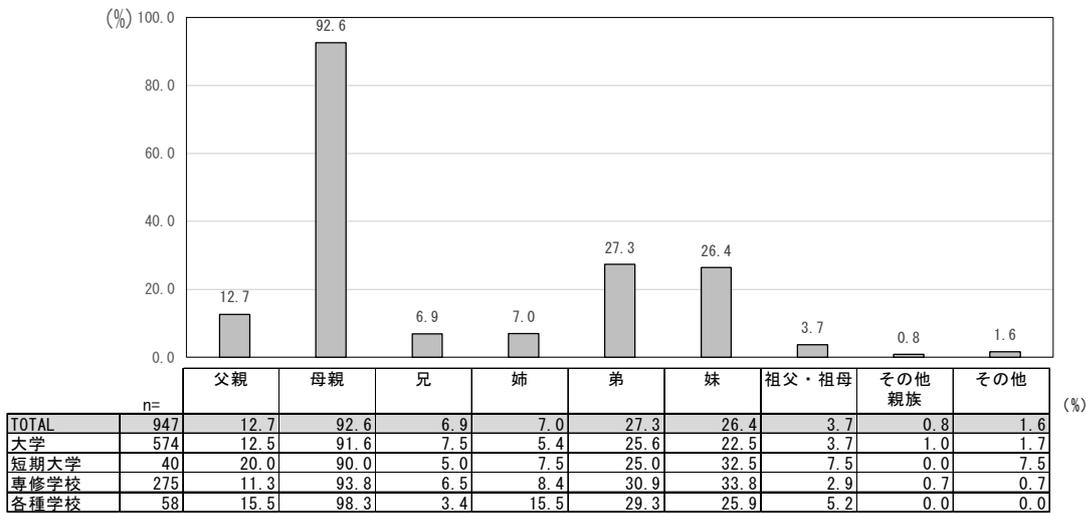
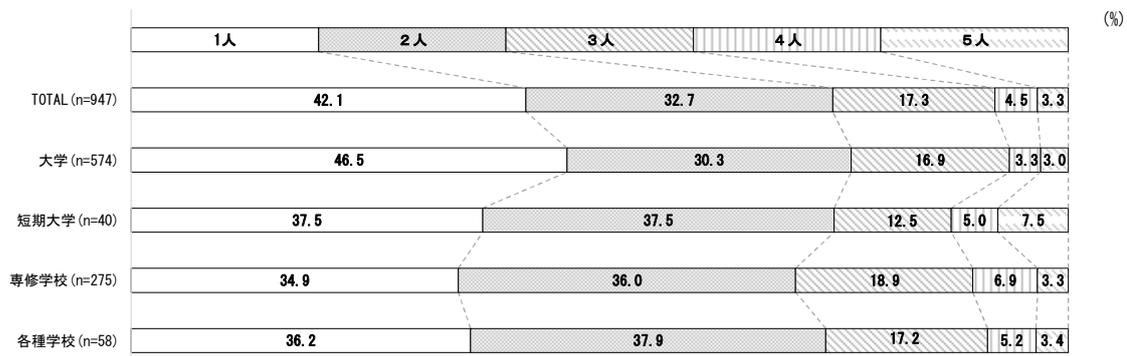


図 3-4 家族続柄（複数回答）／同居人数別

n=	父親	母親	兄	姉	弟	妹	祖父・祖母	その他親族	その他
TOTAL	12.7	92.6	6.9	7.0	27.3	26.4	3.7	0.8	1.6
1人	5.0	89.0	0.3	0.3	0.3	0.0	2.0	0.3	3.0
2人	12.6	94.5	9.0	10.6	34.8	31.3	4.5	0.6	0.3
3人	22.6	96.3	14.6	14.6	58.5	55.5	3.7	2.4	0.0
4人	25.6	95.3	16.3	9.3	65.1	79.1	7.0	0.0	0.0
5人以上	41.9	96.8	16.1	12.9	83.9	90.3	12.9	3.2	6.5

図 3-5 同居人数（単一回答）／学校の種類別



【問3】現在通っている学校の種類と、あなたの学年をお答えください。

現在通っている学校での学年は、「1年生」が40.0%と最も多く、次いで「2年生」が30.8%、「3年生」が14.6%となっている。

通っていた高校の学校種類別にみると、公立（全日制）や国立高校、私立（全日制）に通っていた人は、大学に進学している割合が高くなっている。公立（定時制・通信制）では、専修学校が51.0%と多くなっている。

高校等に進学する前（中学生以前）や高校等に進学するとき（進学先を考えたとき）から大学等への進学を検討していた人は、大学に進学している割合が7割を超えている。

図3-6 通っている学校での学年（単一回答）／学校の種類別

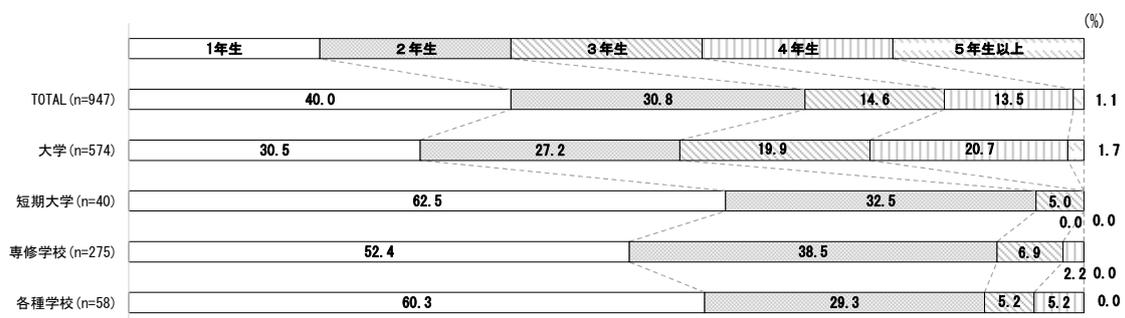


図3-7 通っている学校種類（単一回答）／通っていた高校の種類別

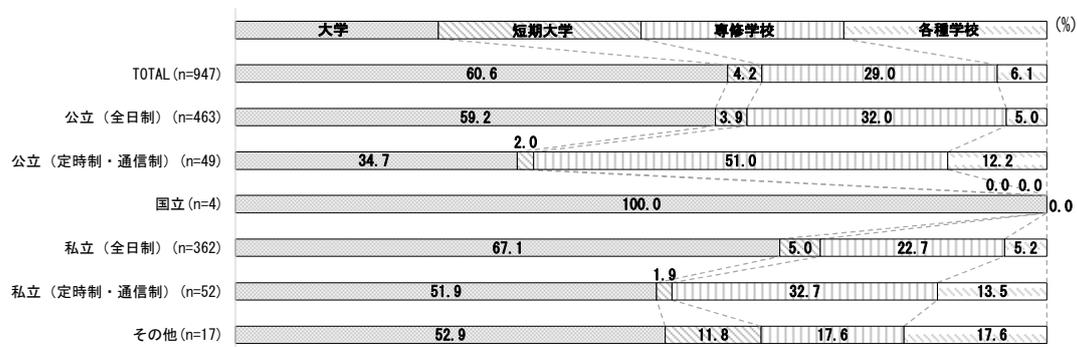
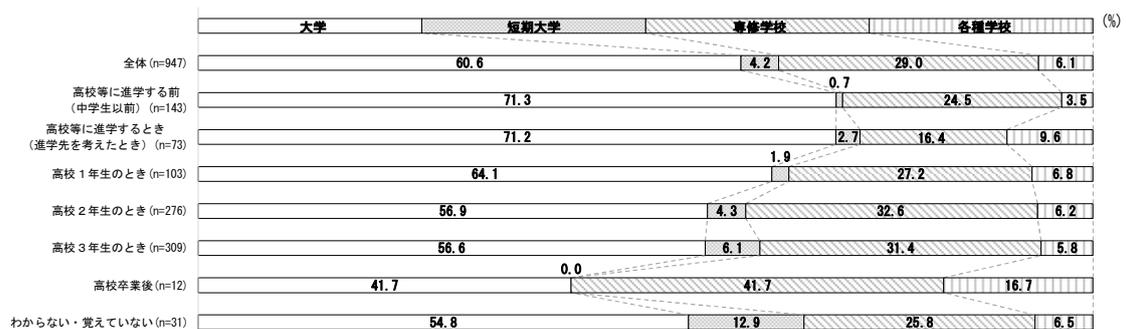


図3-8 通っている学校種類（単一回答）／大学等への進学検討時期別



【問4】現在通っている学校の学部（学科）、専門をお答えください。

現在通っている学校の学部（学科）については、大学や短期大学では「社会科学系」が33.4%と最も多く、次いで「人文科学系」が26.7%となっている。

専修学校や各種学校では「医療関係」が23.1%と最も多く、次いで「工業関係」が9.3%となっている。

図3-9 通っている大学・短期大学の学部（学科）（単一回答）／学校の種類別

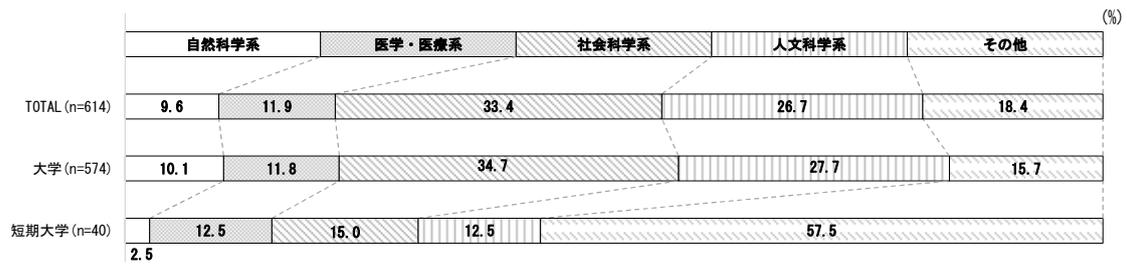
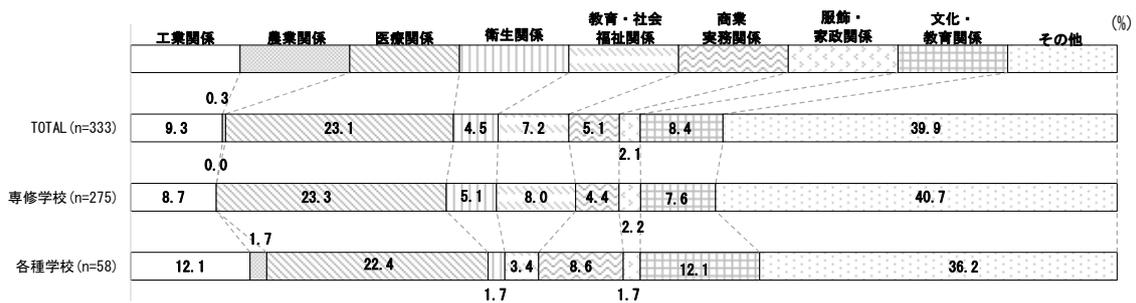


図3-10 通っている専修学校等の専門別（単一回答）／学校の種類別



3-2. 現在の学校に通う前について

(1) 高校等への進学について

【問5】あなたが通っていた高校等は、次のうちどれにあてはまりますか。

通っていた高校の種類については、「公立（全日制）」が48.9%と最も多く、次いで「私立（全日制）」が38.2%となっている。

学校の種類別にみると、専修学校や各種学校では、「公立（定時制・通信制）」に通っていた割合が他の学校よりも高くなっている。

また、通っていた高校の学科については、「普通科」が64.9%と最も多く、次に「総合学科」が6.3%、「工業科」が4.8%となっている。

図 3-11 通っていた高校の種類別（単一回答）／学校の種類別

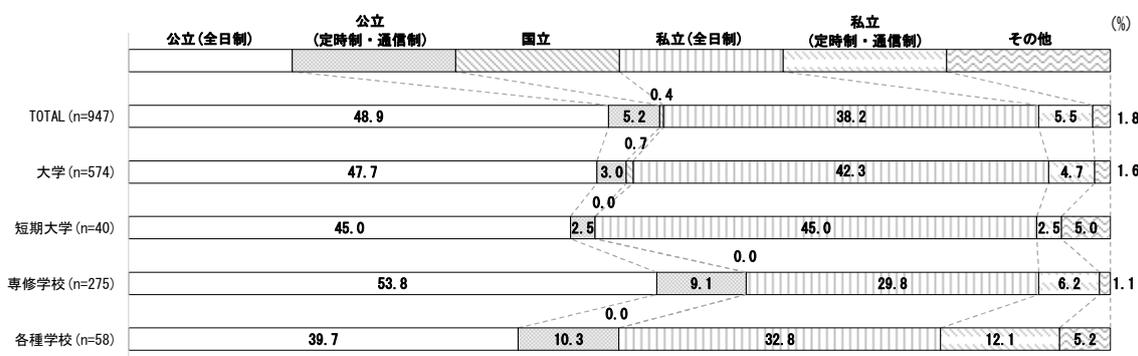
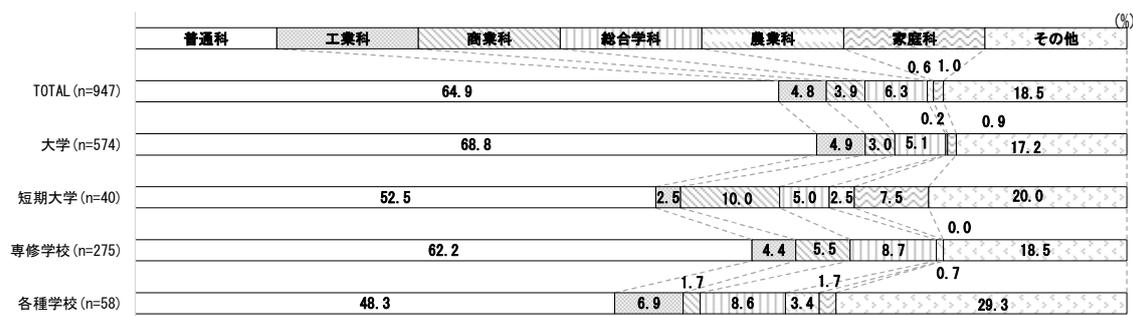


図 3-12 通っていた高校の学科別（単一回答）／学校の種類別



【問6】進学する高校等を決める際、経済的な理由で志望校を変えなければならなかったことがありますか。

進学する高校等を決める際に、「経済的な理由で進学先を変えたことはない」割合が52.5%、「経済的な理由で進学先を変えた」割合が25.9%となっている。

通っていた高校の種類別にみると、私立（定時制・通信制）で「経済的理由で進学先を変えた」の割合が低くなっている。

「その他」としては、「経済的理由を考慮して進学先を決定した」、「私立高校に行く余裕はなかったため、公立高校と決めていた」などの意見がみられた。

図 3-13 志望校変更理由（単一回答）／学校の種類別

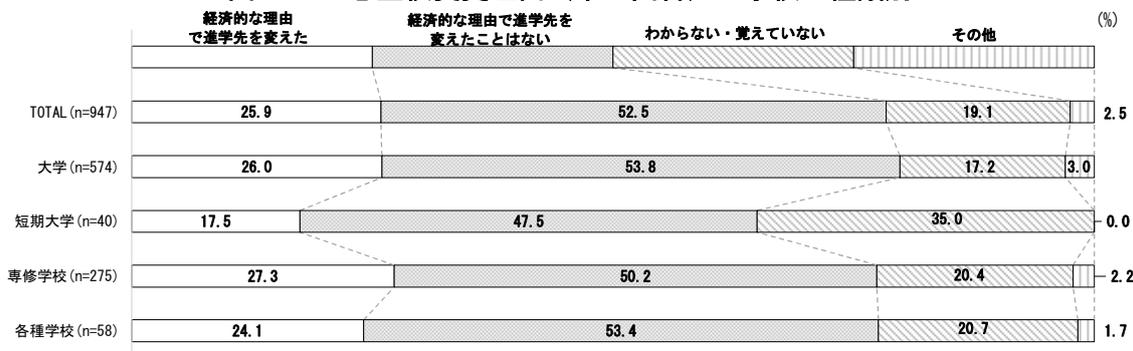


図 3-14 志望校変更理由（単一回答）／通っていた高校の種類別



大学進学時に生活保護費減額の影響が「大いに影響した」人は、進学する高校等を決める際に「経済的理由で進学先を変えた」割合が39.0%と高くなっている。

また、大学進学時に家族が特に支援・応援してくれなかった場合は、高校等への進学時にも「経済的理由で進学先を変えた」割合が高くなっている。

図 3-15 志望校変更理由（単一回答）／大学進学時の生活保護費減額の影響別

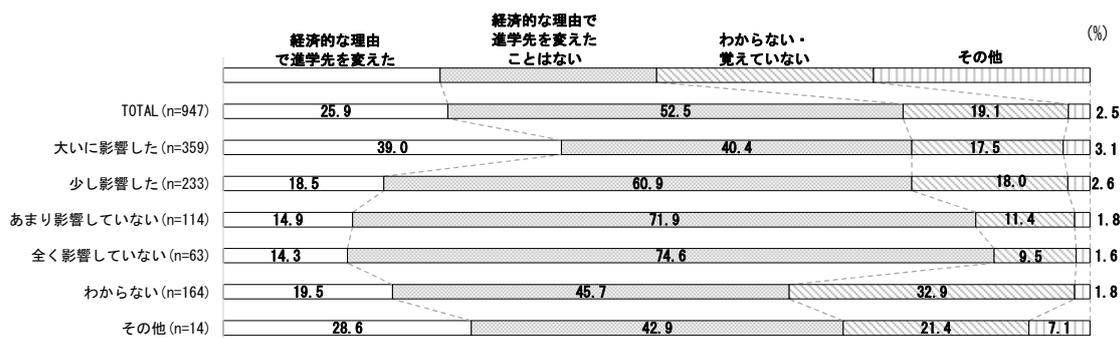
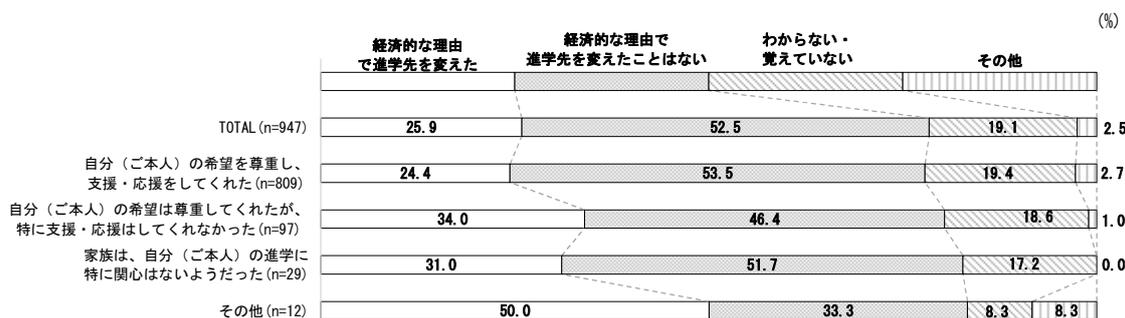


図 3-16 志望校変更理由（単一回答）／進学に関する家族の意向別



(2) 大学等への進学について

【問7】大学等への進学を、具体的に考え始めたのはいつ頃ですか。

大学等への進学検討時期については、「高校3年生のとき」が32.6%と最も多く、次いで「高校2年生のとき」が29.1%、「高校等に進学する前（中学生以前）」が15.1%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「高校等に進学する前」や「高校等に進学するとき」に考え始めた割合が高くなっている。

通っていた高校の学校種類別にみると、公立（定時制・通信制）で「高校3年生のとき」の割合が高くなっている。

図3-17 進学検討時期（単一回答）／学校の種類別

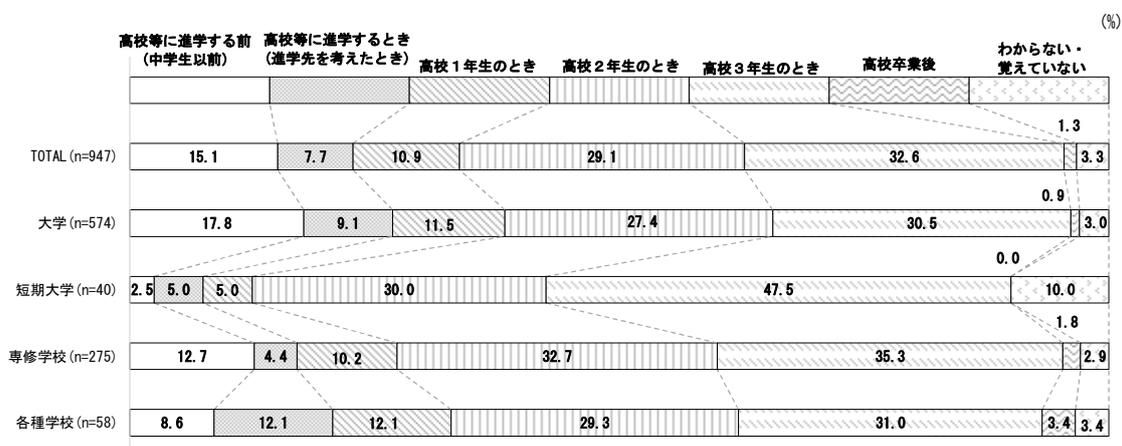


図3-18 進学検討時期（単一回答）／通っていた高校の種類別



通っている大学等の専門別にみると、大学・短期大学では「自然科学系」「医学・医療系」で「高校等に進学する前（中学生以前）」の割合が高くなっている。専門学校・専修学校では「衛生関係」で「高校3年生のとき」、「工業関係」「教育・社会福祉関係」「文化・教育関係」で「高校2年生のとき」の割合が高くなっている。

図 3-19 進学検討時期（単一回答）／通っている大学・短期大学の学部（学科）別

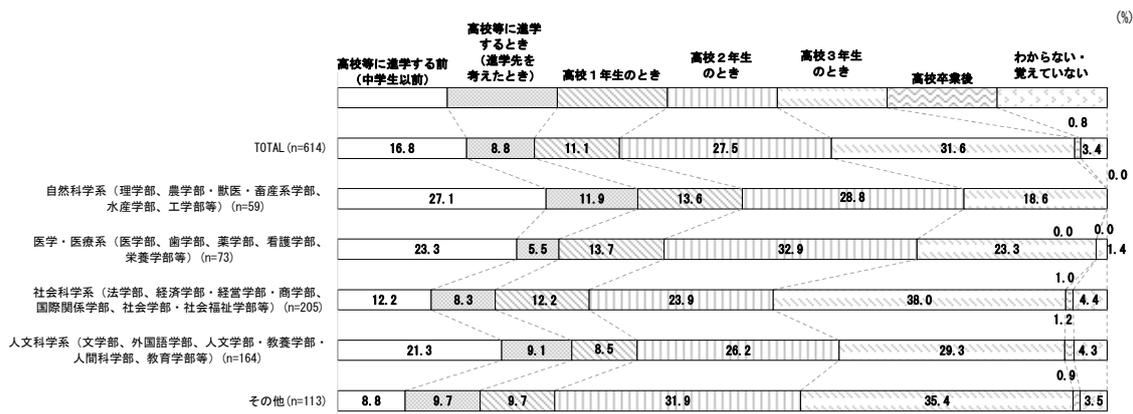
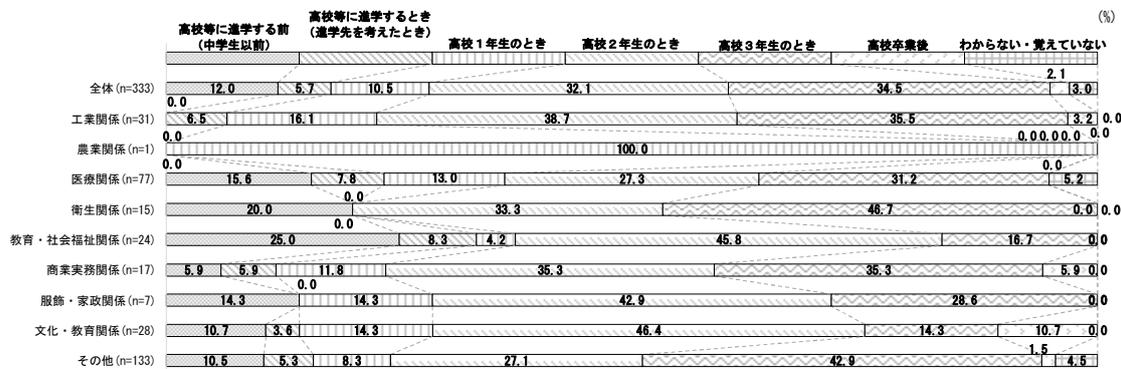


図 3-20 進学検討時期（単一回答）／通っている専修学校等の専門別



【問8】あなたが大学等に進学すると、出身家庭に支給される生活保護費が減額される、ということが進学するかを考える際に影響しましたか。

大学進学時の生活保護費減額の影響については、「大いに影響した」が37.9%、「少し影響した」が24.6%、「あまり影響していない」が12.0%、「全く影響していない」が6.7%となっている。

図3-21 大学進学時の生活保護費減額の影響（単一回答）／学校の種類別

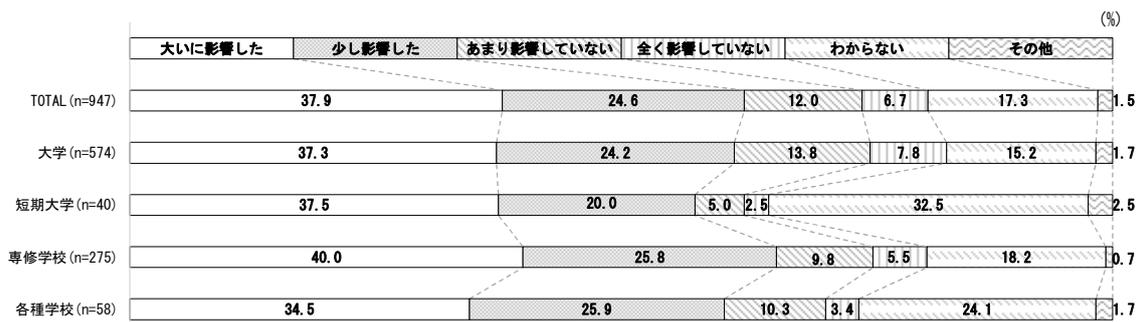
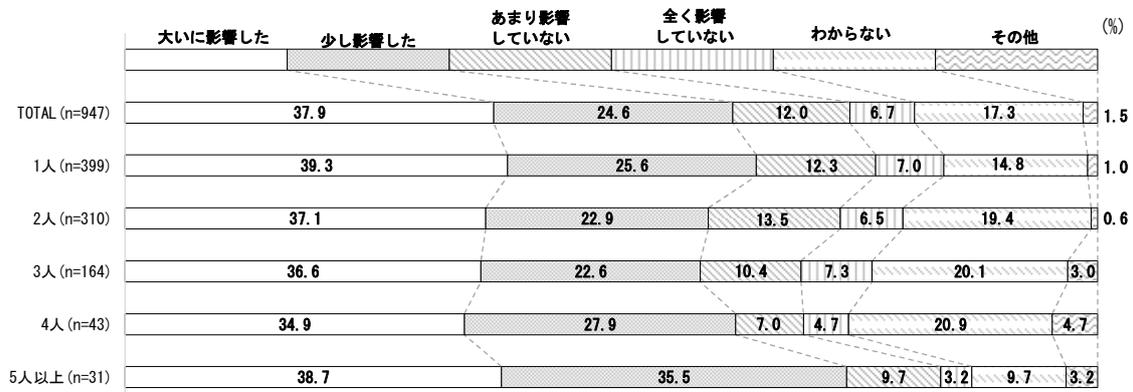


図3-22 大学進学時の生活保護費減額の影響（単一回答）／同居人数別



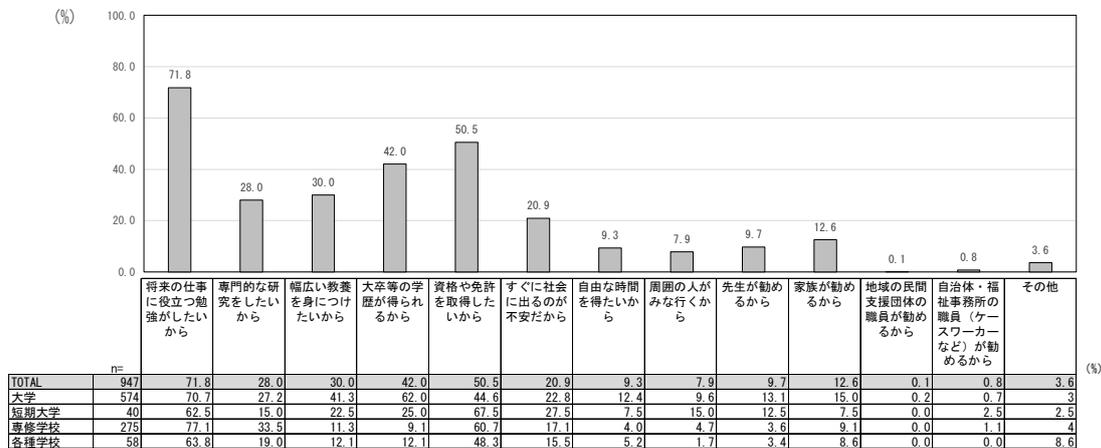
【問9】大学等に進学することを決めたのは、どのような理由からですか。(いくつでも)

大学等への進学を決めた理由については、「将来の仕事に役立つ勉強がしたいから」が71.8%と最も多く、次いで「資格や免許を取得したいから」が50.5%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「幅広い教養を身につけたいから」「大卒等の学歴が得られるから」、短期大学や専修学校では「資格や免許を取得したいから」の割合が高くなっている。

「その他」としては、「自分の将来の夢を叶えるため」、「就職後の給与に差が生じるから」などの意見がみられた。

図 3-23 進学先決定理由（複数回答）／学校の種類別



通っている大学等の専門別にみると、大学・短期大学では「将来の仕事に役立つ勉強がしたいから」の割合が高くなっている。社会科学系では「大卒等の学歴が得られるから」の割合が最も高くなっている。専門学校・専修学校では工業関係で「すぐに社会に出るのが不安だから」、医療関係と服飾・家政関係で「家族が勧めるから」の割合が高くなっている。

図 3-24 進学先決定理由（複数回答）／通っている大学・短期大学の学部(学科)別

学部(学科)	理由	TOTAL (%)	将来の仕事に役立つ勉強がしたいから	専門的な研究をしたいから	幅広い教養を身につけたいから	大卒等の学歴が得られるから	資格や免許を取得したいから	すぐに社会に出るのが不安だから	自由な時間を得たいから	周囲の人がみな行くから	先生が勧めるから	家族が勧めるから	地域の民間支援団体の職員が勧めるから	自治体・福祉事務所の職員（ケースワーカーなど）が勧めるから	その他
TOTAL	614	70.2	26.4	40.1	59.6	46.1	23.1	12.1	9.9	13.0	14.5	0.2	0.8	2.9	
自然科学系 (理学部、農学部・獣医・畜産系学部、水産学部、工学部等)	59	76.3	47.5	57.6	69.5	28.8	20.3	13.6	10.2	10.2	16.9	0.0	0.0	0.0	
医学・医療系 (医学部、歯学部、薬学部、看護学部、栄養学部等)	73	76.7	23.3	26.0	38.4	74.0	8.2	1.4	4.1	8.2	11.0	0.0	0.0	1.4	
社会科学系 (法学部、経済学部・経営学部・商学部、国際関係学部、社会学部・社会福祉学部等)	205	68.3	15.1	42.9	72.7	40.0	29.8	15.1	14.1	17.1	14.6	0.0	1.0	2.9	
人文科学系 (文学部、外国語学部、人文学部・教養学部・人間科学部、教育学部等)	164	72.0	31.7	43.3	51.8	45.1	21.3	11.0	7.9	7.3	12.8	0.0	0.6	4.9	
その他	113	63.7	30.1	30.1	55.8	49.6	24.8	14.2	8.8	18.6	17.7	0.9	1.8	2.7	

図 3-25 進学先決定理由（複数回答）／通っている専修学校等の専門別

	n	将来の仕事に役立つ勉強がしたいから	専門的な研究をしたいから	幅広い教養を身につけたいから	大卒等の学歴が得られるから	資格や免許を取得したいから	すぐに社会に出るのが不安だから	自由な時間を得たいから	周囲の人がみな行くから	先生が勧めるから	家族が勧めるから	地域の民間支援団体の職員が勧めるから	自治体・福祉事務所の職員（ケースワーカーなど）が勧めるから	その他
全体	333	74.8	30.9	11.4	9.6	58.6	16.8	4.2	4.2	3.6	9.0	0.0	0.9	4.8
工業関係	31	80.6	41.9	16.1	12.9	51.6	35.5	6.5	12.9	9.7	6.5	0.0	0.0	0.0
農業関係	11	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療関係	77	67.5	14.3	3.9	5.2	74.0	9.1	1.3	2.6	2.6	14.3	0.0	0.0	6.5
衛生関係	15	93.3	13.3	6.7	6.7	73.3	20.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
教育・社会福祉関係	24	83.3	29.2	4.2	4.2	75.0	4.2	0.0	4.2	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0
商業業務関係	17	82.4	17.6	11.8	5.9	58.8	29.4	11.8	5.9	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0
服飾・家政関係	7	71.4	57.1	14.3	28.6	71.4	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
文化・教育関係	28	71.4	35.7	25.0	17.9	32.1	17.9	10.7	3.6	0.0	3.6	0.0	7.1	3.6
その他	133	73.7	39.8	13.5	10.5	51.9	17.3	3.8	3.0	3.9	9.8	0.0	0.0	7.5

通っていた高校の学科別にみると、工業科で「将来の仕事に役立つ勉強がしたいから」「専門的な研究をしたいから」「家族が勧めるから」、商業科で「すぐに社会に出るのが不安だから」の割合が他の学科よりも高くなっている。

図 3-26 進学先決定理由（複数回答）／通っていた高校の学科別

	n	将来の仕事に役立つ勉強がしたいから	専門的な研究をしたいから	幅広い教養を身につけたいから	大卒等の学歴が得られるから	資格や免許を取得したいから	すぐに社会に出るのが不安だから	自由な時間を得たいから	周囲の人がみな行くから	先生が勧めるから	家族が勧めるから	地域の民間支援団体の職員が勧めるから	自治体・福祉事務所の職員（ケースワーカーなど）が勧めるから	その他
TOTAL	947	71.8	28.0	30.0	42.0	50.5	20.9	9.3	7.9	9.7	12.6	0.1	0.8	3.6
普通科	615	71.4	28.1	30.9	44.2	48.1	22.8	9.4	8.9	10.9	12.5	0.2	1.3	3.1
工業科	45	80.0	37.8	31.1	44.4	62.2	24.4	13.3	4.4	17.8	20.0	0.0	0.0	2.2
商業科	37	78.4	27.0	32.4	40.5	62.2	35.1	13.5	10.8	5.4	13.5	0.0	0.0	2.7
総合学科	60	66.7	26.7	25.0	46.7	55.0	16.7	6.7	5.0	5.0	10.0	0.0	0.0	5.0
農業科	6	66.7	33.3	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7
家庭科	9	66.7	0.0	33.3	22.2	55.6	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	175	72.0	26.9	28.6	34.3	51.4	13.1	8.6	5.7	6.3	12.6	0.0	0.0	5.1

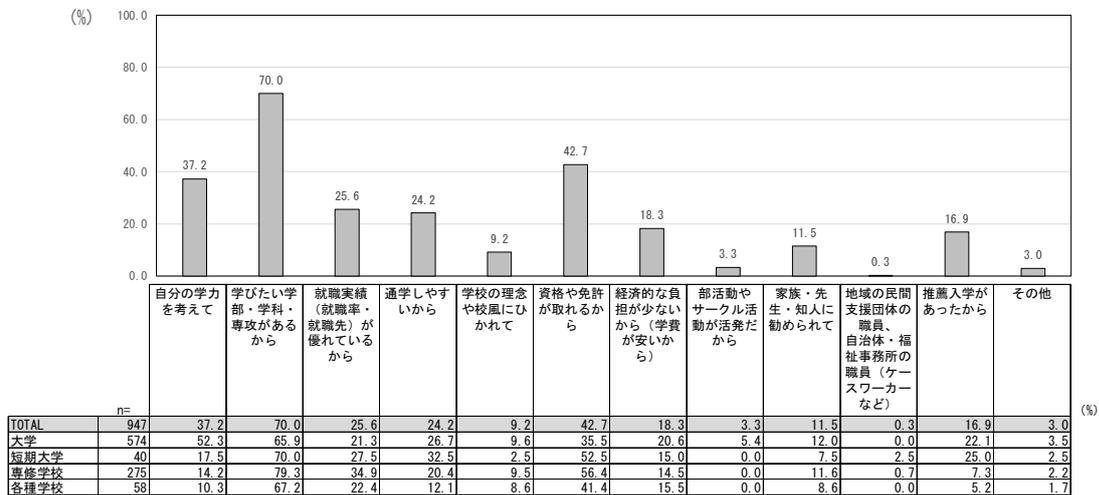
【問 10】現在の進学先を選んだのは、どのような理由からですか。（いくつでも）

現在の進学先を選んだ理由については、「学びたい学部・学科・専攻があるから」が70.0%と最も多く、次いで「資格や免許が取れるから」が42.7%、「自分の学力を考えて」が37.2%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「自分の学力を考えて」、短期大学では「通学しやすいから」、専修学校では「就職実績が優れているから」「資格や免許が取れるから」の割合が高くなっている。

「その他」としては、「志望校に受からなかったため」、「奨学金が受けられたため」、「特待生制度があったから」、「浪人を回避するため」といった意見がみられた。

図 3-27 進学先志望理由（複数回答）／学校の種類別



通っている大学等の専門別にみると、大学・短期大学では「学びたい学部・学科・専攻があるから」の割合が高くなっている。自然科学系や社会科学系では「自分の学力を考えて」の割合が高くなっている。専門学校・専修学校では、文化・教育関係で「学びたい学部・学科・専攻があるから」、医療関係や服飾・家政関係で「資格や免許が取れるから」の割合が高くなっている。

通っていた高校の種類別にみると、公立（定時制・通信制）で「学びたい学部・学科・専攻があるから」の割合が他の高校等に比べて高くなっている。

図 3-28 進学先志望理由（複数回答）／通っている大学・短期大学の学部（学科）別

	n=	自分の学力を考えて	学びたい学部・学科・専攻があるから	就職実績（就職率・就職先）が優れているから	通学しやすいから	学校の理念や校風にひかれて	資格や免許が取れるから	経済的な負担が少ないから（学費が安いから）	部活動やサークル活動が活発だから	家族・先生・知人に勧められて	地域の民間支援団体の職員、自治体・福祉事務所の職員（ケースワーカーなど）	推薦入学があったから	その他
TOTAL	614	50.0	66.1	21.7	27.0	9.1	36.6	20.2	5.0	11.7	0.2	22.3	3.4
自然科学系 (理学部、農学部、獣医・畜産系学部、水産学部、工学部等)	59	72.9	71.2	37.3	20.3	15.3	20.3	22.0	1.7	13.6	0.0	22.0	0.0
医学・医療系 (医学部、歯学部、薬学部、看護学部、栄養学部等)	73	31.5	80.8	24.7	34.2	9.6	72.6	9.6	2.7	11.0	0.0	19.2	0.0
社会科学系 (法学部、経済学部、経営学部、商学部、国際関係学部、社会学部、社会福祉学部等)	205	59.5	51.2	23.4	27.8	7.3	23.9	23.4	5.4	9.8	0.0	22.9	2.0
人文科学系 (文学部、外国語学部、人文学部、教養学部・人間科学部、教育学部等)	164	45.1	73.2	11.0	25.6	9.1	40.9	21.3	4.9	11.0	0.0	20.7	7.3
その他	113	39.8	70.8	23.9	26.5	8.8	38.9	18.6	8.0	15.9	0.9	25.7	4.4

図 3-29 進学先志望理由（複数回答）／通っている専修学校等の専門別

	n=	自分の学力を考えて	学びたい学部・学科・専攻があるから	就職実績（就職率・就職先）が優れているから	通学しやすいから	学校の理念や校風にひかれて	資格や免許が取れるから	経済的な負担が少ないから（学費が安いから）	部活動やサークル活動が活発だから	家族・先生・知人に勧められて	地域の民間支援団体の職員、自治体・福祉事務所の職員（ケースワーカーなど）	推薦入学があったから	その他
全体	333	13.5	77.2	32.7	18.9	9.3	53.8	14.7	0.0	11.1	0.6	6.9	2.1
工業関係	31	22.6	80.6	32.3	19.4	0.0	38.7	22.6	0.0	6.5	0.0	9.7	0.0
農業関係	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
医療関係	77	18.2	67.5	32.9	19.2	5.2	68.9	13.0	0.0	16.9	0.0	9.1	2.6
衛生関係	15	6.7	80.0	26.7	13.3	13.3	60.0	6.7	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0
教育・社会福祉関係	24	12.5	83.3	16.7	25.0	0.0	66.7	20.8	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
商業業務関係	17	5.9	70.6	35.3	11.8	11.8	58.8	29.4	0.0	5.9	0.0	0.0	5.9
服飾・家政関係	7	0.0	85.7	42.9	28.6	14.3	71.4	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0
文化・教育関係	28	21.4	89.3	28.6	14.3	3.6	28.6	14.3	0.0	10.7	3.6	3.6	0.0
その他	133	9.0	78.9	36.1	20.3	15.8	49.6	12.0	0.0	11.3	0.0	8.3	3.0

図 3-30 進学先志望理由（複数回答）／通っていた高校の種類別

	n=	自分の学力を考えて	学びたい学部・学科・専攻があるから	就職実績（就職率・就職先）が優れているから	通学しやすいから	学校の理念や校風にひかれて	資格や免許が取れるから	経済的な負担が少ないから（学費が安いから）	部活動やサークル活動が活発だから	家族・先生・知人に勧められて	地域の民間支援団体の職員、自治体・福祉事務所の職員（ケースワーカーなど）	推薦入学があったから	その他
TOTAL	947	37.2	70.0	25.6	24.2	9.2	42.7	18.3	3.3	11.5	0.3	16.9	3.0
公立（全日制）	463	36.7	70.8	27.0	23.1	10.6	42.3	21.4	1.5	12.5	0.2	17.3	2.4
公立（定時制・通信制）	49	26.5	87.8	26.5	34.7	6.1	38.8	26.5	0.0	8.2	2.0	6.1	2.0
国立	4	100.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
私立（全日制）	362	39.0	67.1	24.0	24.0	7.5	44.2	12.2	6.1	11.0	0.3	19.3	2.8
私立（定時制・通信制）	52	30.8	71.2	23.1	28.8	9.6	42.3	21.2	0.0	7.7	0.0	5.8	7.7
その他	17	47.1	64.7	23.5	11.8	11.8	35.3	29.4	11.8	17.6	0.0	23.5	11.8

図 3-31 進学先志望理由（複数回答）／進学検討時期別

	n=	自分の学力を 考えて	学びたい学 部・学科・ 専攻がある から	就職実績 (就職率・ 就職先)が 優れている から	通学しやす いから	学校の理念 や校風にひ かれて	資格や免許 が取れるか ら	経済的な負 担が少ない から(学費 が安いから)	部活動や サークル活 動が活発だ から	家族・先 生・知人に 勧められて	地域の民間 支援団体の 職員、自治 体・福祉事 務所の職員 (ケース ワーカーな ど)	推薦入学が あったから	その他
全体	947	37.2	70.0	25.6	24.2	9.2	42.7	18.3	3.3	11.5	0.3	16.9	3.0
高校等に進学する前 (中学生以前)	143	51.0	68.5	22.4	25.2	15.4	45.5	21.7	2.8	11.2	0.7	16.8	4.2
高校等に進学するとき (進学先を考えたとき)	73	35.6	71.2	31.5	23.3	13.7	39.7	21.9	4.1	9.6	0.0	19.2	4.1
高校1年生のとき	103	45.6	72.8	27.2	30.1	9.7	46.6	24.3	4.9	12.6	0.0	14.6	2.9
高校2年生のとき	276	32.6	81.2	29.0	24.6	7.6	44.2	15.9	2.5	8.3	0.0	14.9	1.1
高校3年生のとき	309	33.3	83.4	23.6	22.7	7.1	40.5	16.2	3.6	15.9	0.3	20.1	3.9
高校卒業後	12	25.0	58.3	8.3	0.0	8.3	50.0	33.3	0.0	8.3	8.3	0.0	8.3
わからない・覚えていない	31	32.3	35.5	16.1	22.6	3.2	29.0	9.7	3.2	0.0	0.0	12.9	0.0

大学進学時の生活保護費減額の影響別にみると、「大いに影響した」人は「学びたい学部・学科・専攻があるから」「資格や免許が取れるから」の割合が高くなっている。

進学に関する家族の意向別では、家族の意向に関わらず「学びたい学部・学科・専攻があるから」の割合が高くなっている。なお、家族が進学に対して特に関心がなかった場合は「経済的な負担が少ないから(学費が安いから)」、「資格や免許が取れるから」の割合が比較的高くなっている。

図 3-32 進学先志望理由（複数回答）／大学進学時の生活保護費減額の影響別

	n=	自分の学力を 考えて	学びたい学 部・学科・ 専攻がある から	就職実績 (就職率・ 就職先)が 優れている から	通学しやす いから	学校の理念 や校風にひ かれて	資格や免許 が取れるか ら	経済的な負 担が少ない から(学費 が安いから)	部活動や サークル活 動が活発だ から	家族・先 生・知人に 勧められて	地域の民間 支援団体の 職員、自治 体・福祉事 務所の職員 (ケース ワーカーな ど)	推薦入学が あったから	その他
TOTAL	947	37.2	70.0	25.6	24.2	9.2	42.7	18.3	3.3	11.5	0.3	16.9	3.0
大いに影響した	359	35.9	73.3	30.4	26.2	9.7	47.1	20.9	3.3	12.3	0.6	17.5	3.1
少し影響した	233	39.5	73.4	27.5	25.3	9.0	42.5	20.2	2.1	10.3	0.4	17.2	3.0
あまり影響していない	114	41.2	68.4	18.4	23.7	10.5	32.5	17.5	6.1	18.4	0.0	15.8	2.6
全く影響していない	63	49.2	77.8	28.6	27.0	12.7	41.3	14.3	3.2	7.9	0.0	17.5	0.0
わからない	164	29.3	57.3	17.1	18.3	6.1	40.9	11.0	3.0	8.5	0.0	16.5	3.7
その他	14	35.7	57.1	14.3	14.3	7.1	42.9	28.6	0.0	7.1	0.0	7.1	7.1

図 3-33 進学先志望理由（複数回答）／進学に関する家族の意向別

	n=	自分の学力を 考えて	学びたい学 部・学科・ 専攻がある から	就職実績 (就職率・ 就職先)が 優れている から	通学しやす いから	学校の理念 や校風にひ かれて	資格や免許 が取れるか ら	経済的な負 担が少ない から(学費 が安いから)	部活動や サークル活 動が活発だ から	家族・先 生・知人に 勧められて	地域の民間 支援団体の 職員、自治 体・福祉事 務所の職員 (ケース ワーカーな ど)	推薦入学が あったから	その他
TOTAL	947	37.2	70.0	25.6	24.2	9.2	42.7	18.3	3.3	11.5	0.3	16.9	3.0
自分(ご本人)の希望を尊重し、 支援・応援してくれた	809	37.0	70.5	25.6	24.0	9.6	43.0	17.7	3.7	11.4	0.1	16.3	2.7
自分(ご本人)の希望は尊重して くれたが、特に支援・応援はして くれなかった	97	40.2	70.1	26.8	27.8	9.3	38.1	20.6	1.0	10.3	1.0	19.6	2.1
家族は、自分(ご本人)の進学に 特に関心はないようだった	29	37.9	62.1	20.7	20.7	0.0	48.3	27.6	0.0	10.3	3.4	17.2	6.9
その他	12	25.0	58.3	25.0	16.7	0.0	41.7	16.7	0.0	33.3	0.0	33.3	16.7

【問 11】 進路に関する相談は、主に誰に対して行っていましたか。

主な進路相談者については、「親（祖父母等の家族、親戚）」が 53.3%と最も多く、次いで「学校の先生や職員」が 35.7%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「学校の先生や職員」、専修学校や各種学校では「親」の割合が高くなっている。

進学に関する家族の意向別にみると、支援・応援をしてもらった場合は「親」、支援・応援がなかった場合や家族の関心がなかった場合は「学校の先生や職員」に相談している割合が高くなっている。

「その他」としては、「塾や予備校の先生」、「誰にも相談していない」といった意見が多くみられた。

図 3-34 主な進路相談者（単一回答）／学校の種類別

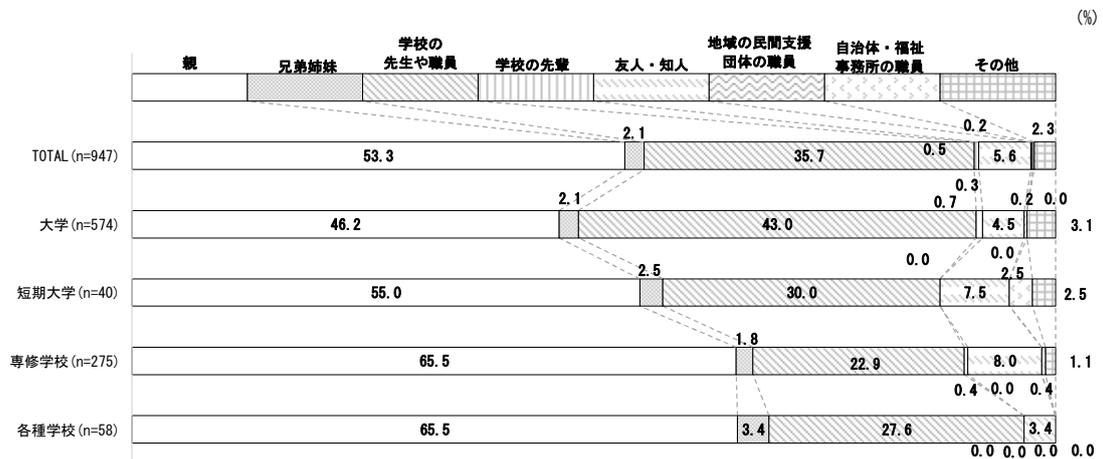
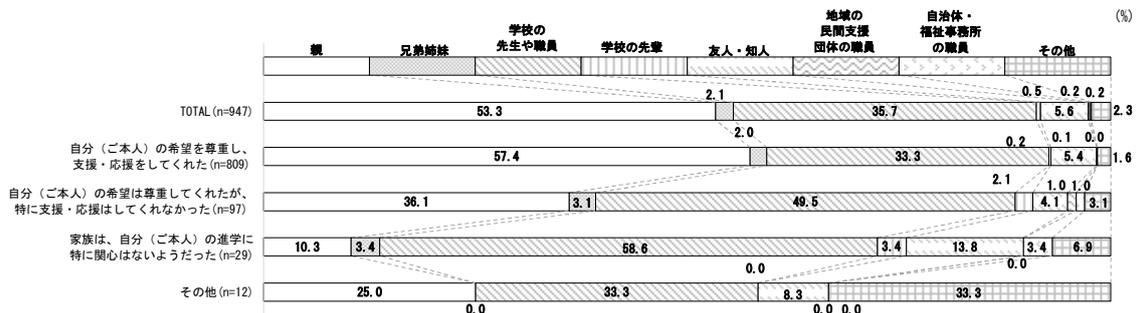


図 3-35 主な進路相談者（単一回答）／進学に関する家族の意向別



【問 12】 進路に関して、どのようなことを相談していましたか。(いくつでも)

進路についての相談内容については、「進学先の選択について」が73.7%と最も多く、次いで「奨学金等の学費サポート制度について」が62.2%、「大学等への進学にかかる費用について」が56.9%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「進学先の選択について」、専修学校では「奨学金等の学費サポート制度について」の割合が高くなっている。

大学進学時の生活保護費減額の影響が大きいほど、大学等への進学に係る費用や奨学金等の学費サポート制度への関心が高くなっている。

図 3-36 進路相談内容（複数回答）／学校の種類別

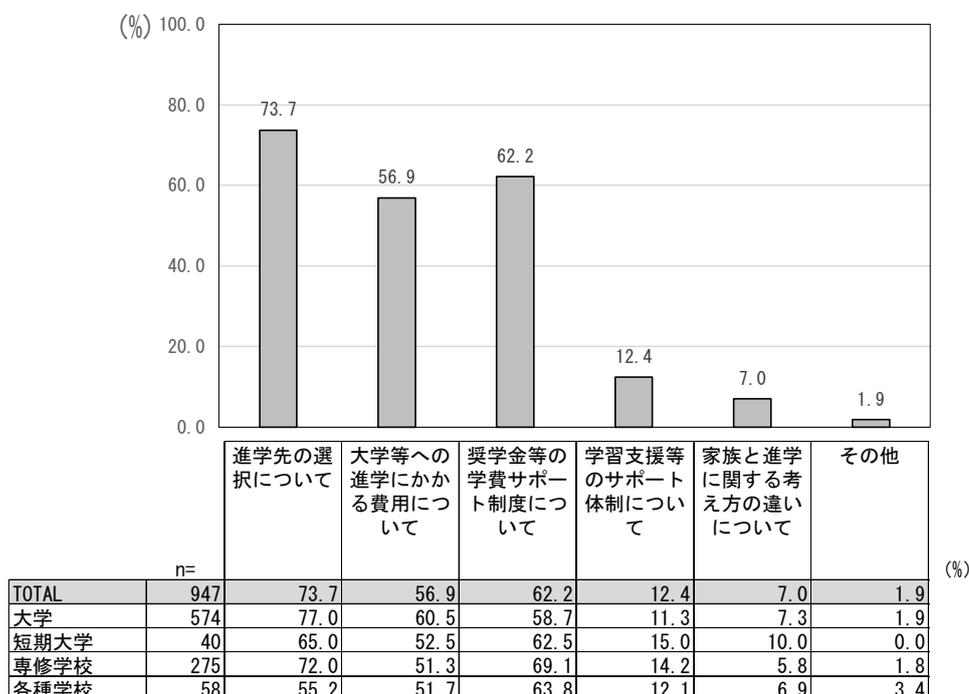


図 3-37 進路相談内容（複数回答）／大学進学時の生活保護費減額の影響別

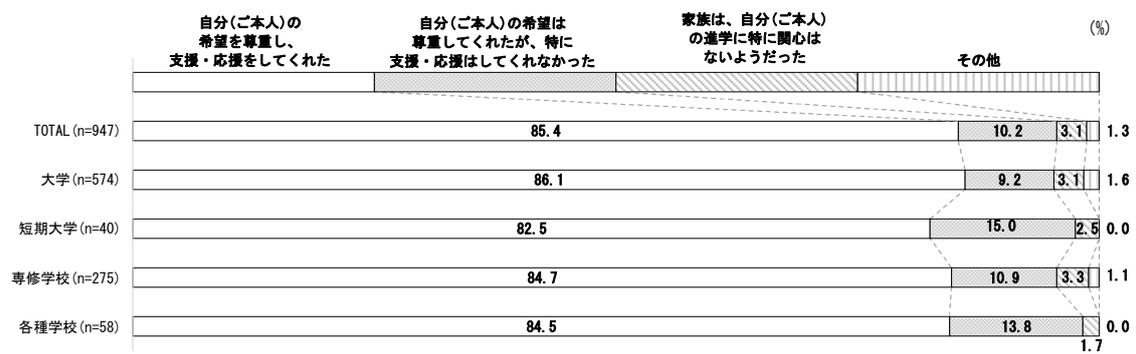
	進学先の選択について	大学等への進学にかかる費用について	奨学金等の学費サポート制度について	学習支援等のサポート体制について	家族と進学に関する考え方の違いについて	その他	
TOTAL	947	73.7	56.9	62.2	12.4	7.0	1.9
大いに影響した	359	71.3	66.3	73.8	18.7	8.4	3.1
少し影響した	233	74.2	64.8	63.9	6.9	5.6	0.9
あまり影響していない	114	78.9	50.9	57.9	11.4	5.3	0.0
全く影響していない	63	81.0	36.5	47.6	4.8	6.3	1.6
わからない	164	74.4	36.0	43.9	9.8	6.7	1.2
その他	14	42.9	71.4	50.0	14.3	14.3	14.3

【問 13】 大学等への進学について、ご家族はどのようなお考えでしたか。

進学に関する家族の意向については、「自分の希望を尊重し、支援・応援をしてくれた」が 85.4%と最も多く、次いで「自分の希望は尊重してくれたが、特に支援・応援はしてくれなかった」が 10.2%となっている。

「その他」としては、「自分の進学に対して関心はあったが、経済的な面などから制約を受けた」などの意見がみられた。

図 3-38 進学に関する家族の意向（単一回答）／学校の種類別



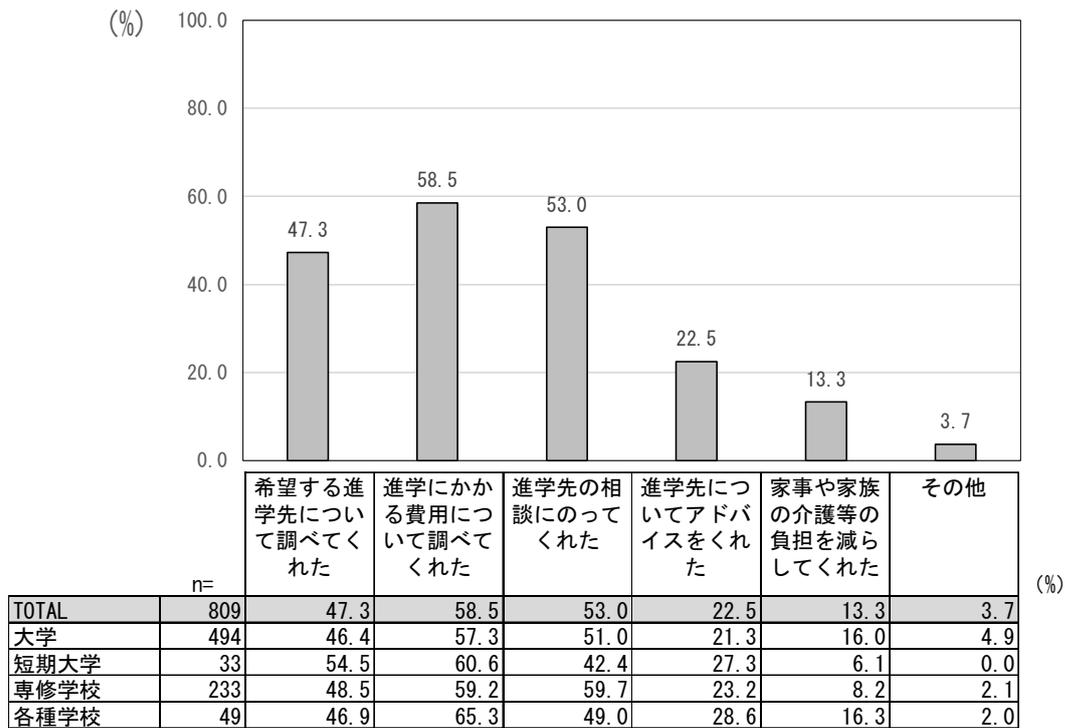
【問 14】 ご家族が支援・応援をしてくれた方にお聞きします。大学等への進学について、ご家族からはどのような支援・応援がありましたか。(いくつでも)

進学に関する家族からの支援・応援については、「進学にかかる費用について調べてくれた」が 58.5%と最も多く、次いで「進学先の相談にのってくれた」が 53.0%、「希望する進学先について調べてくれた」が 47.3%となっている。

学校の種類別にみると、短期大学では「希望する進学先について調べてくれた」、専修学校では「進学先の相談にのってくれた」、各種学校では「進学にかかる費用について調べてくれた」割合が高くなっている。

「その他」としては、「入学金などの資金を用意してくれた」、「塾に行かせてくれた」「貸付金や奨学金の申請を手伝ってくれた」、「教材費や勉強中の食事などで精神的、金銭的にサポートしてくれた」、「オープンキャンパスへの同行」などの意見がみられた。

図 3-39 進学に関する家族支援（複数回答）／学校の種類別

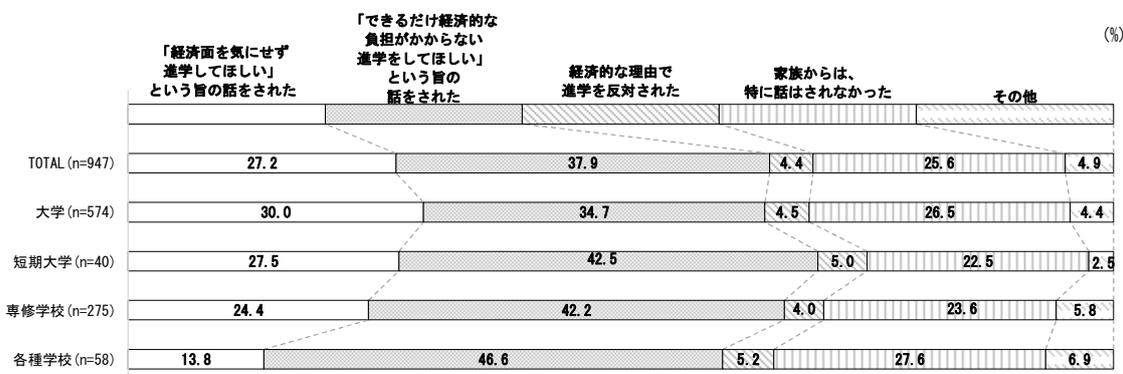


【問 15】 大学等への進学について、ご家族から経済面に関する話をされましたか。

進学に関する経済的な説明については、「できるだけ経済的な負担がかからない進学をしてほしい」という旨の話をされた」が 37.9%と最も多く、次いで「経済面を気にせず進学してほしい」という旨の話をされた」が 27.2%、「家族からは、特に話はされなかった」が 25.6%となっている。

「その他」としては、「経済的な支援はできないので、自分で賄うよう言われた」、「奨学金制度やアルバイトの話をした」などの意見が多くみられた。このほか、「可能なら国公立」、「学費を支援することができないと謝罪されたが、希望大学に進学する意思は尊重してくれた」などの意見がみられた。

図 3-40 進学に関する経済的な説明（単一回答）／学校の種類別



大学進学時の生活保護費減額の影響別にみると、「大いに影響した」世帯では、「できるだけ経済的な負担がかからない進学をしてほしい」という旨の話をされた」の割合が高くなっている。

進学に関する家族の意向別にみると、特に支援・応援がなかった場合や特に関心がなかった場合は、「経済的な理由で進学を反対された」「家族からは特に話はされなかった」の割合が高くなっている。

図 3-41 進学に関する経済的な説明（単一回答）／大学進学時の生活保護費減額の影響別

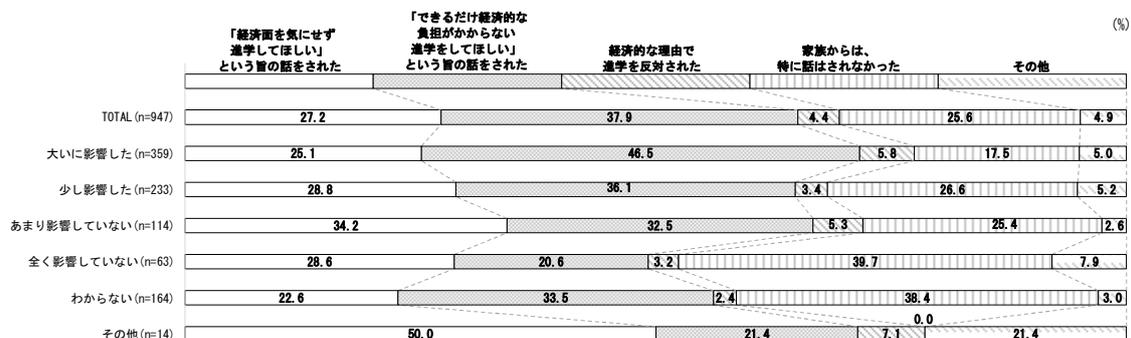


図 3-42 進学に関する経済的な説明（単一回答）／進学に関する家族の意向別

(%)

	「経済面を気にせず 進学してほしい」という 旨の話がされた	「できるだけ経済的な 負担がかからない 進学してほしい」という 旨の話がされた	経済的な理由で 進学を反対された	家族からは、 特に話されなかった	その他
TOTAL (n=947)	27.2	37.9	4.4	25.6	4.9
自分（ご本人）の希望を尊重し、 支援・応援してくれた (n=809)	30.3	38.6	2.7	23.7	4.7
自分（ご本人）の希望は尊重してくれたが、 特に支援・応援はしてくれなかった (n=97)	9.3	43.3	11.3	30.9	6.2
家族は、自分（ご本人）の進学に 特に関心はないようだった (n=29)	10.3	6.9	17.2	62.1	3.4
その他 (n=12)	8.3	25.0	33.3	16.7	16.7

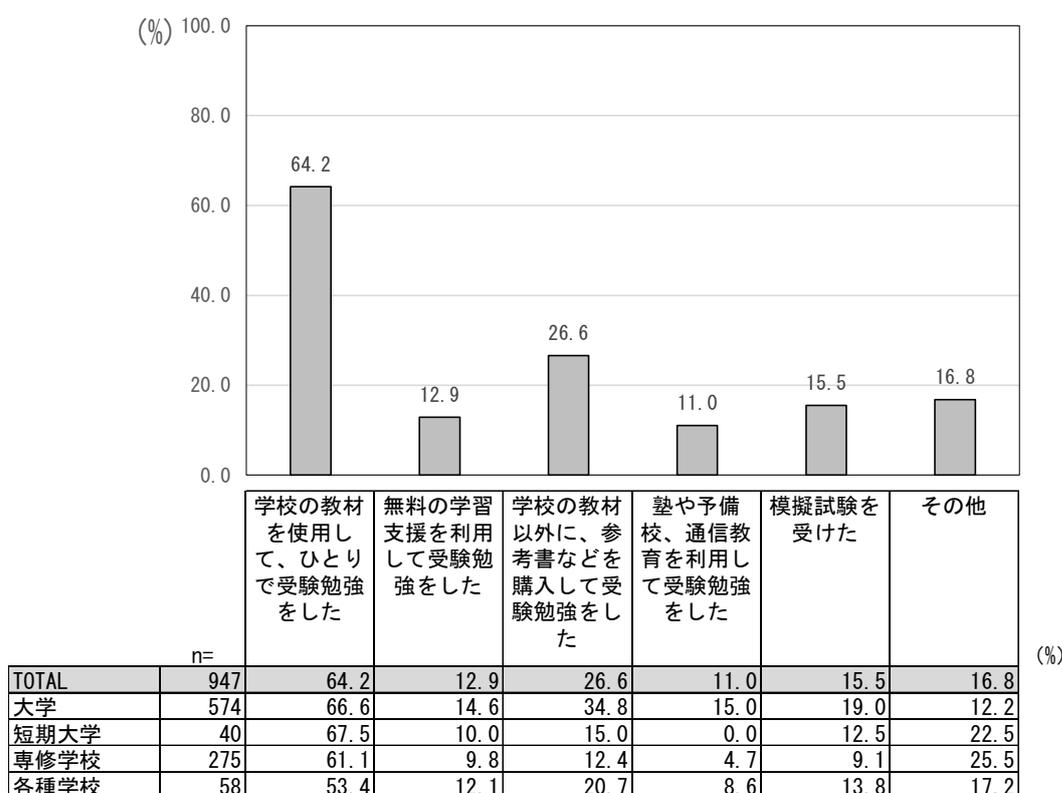
(3) 受験に関することについて

【問 16】 受験勉強はどのように進めましたか。(いくつでも)

受験勉強の進め方については、「学校の教材を使用して、ひとりで受験勉強をした」が 64.2%と最も多く、次いで「学校の教材以外に、参考書などを購入して受験勉強をした」が 26.6%、「模擬試験を受けた」が 15.5%となっている。

「その他」としては、「受験勉強していない」（受験がない、AO 入試、面接のみ、推薦入試等）が多くみられた。このほか、「学校の先生に面接・小論文指導をもらった」、「学校見学に行った」といった意見もみられた。

図 3-43 受験勉強の進め方（複数回答）／学校の種類別



受験学校学部数別にみると、2校（2学部）以上受験した人は「参考書などを購入して勉強した」、「塾や予備校、通信教育を利用して受験勉強をした」の割合が高くなっている。

進学に関する家族の意向別にみると、家族の意向に関わらず、「学校の教材を使用して、ひとりで受験勉強をした」の割合が高くなっている。

図 3-44 受験勉強の進め方（複数回答）／受験学校学部数別

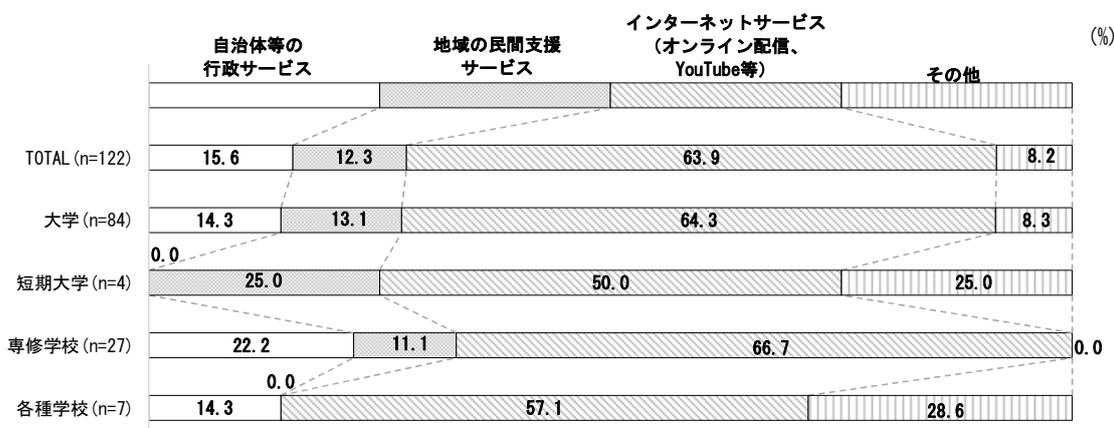
	n=	学校の教材 を使用し て、ひとり で受験勉強 をした	無料の学習 支援を利用 して受験勉 強をした	学校の教材 以外に、参 考書などを 購入して受 験勉強をし た	塾や予備 校、通信教 育を利用し て受験勉強 をした	模擬試験を 受けた	その他	(%)
TOTAL	947	64.2	12.9	26.6	11.0	15.5	16.8	
1校（1学部）のみ	715	63.5	12.6	20.0	7.1	11.6	19.4	
2校（2学部）	121	66.1	12.4	47.1	16.5	22.3	10.7	
3校（3学部）	55	61.8	16.4	40.0	30.9	27.3	7.3	
4校（4学部）	25	80.0	12.0	52.0	28.0	32.0	4.0	
5校（5学部）	19	68.4	15.8	42.1	26.3	36.8	0.0	
6校（6学部）以上	12	58.3	16.7	75.0	33.3	58.3	16.7	

図 3-45 受験勉強の進め方（複数回答）／進学に関する家族の意向別

	n=	学校の教材 を使用し て、ひとり で受験勉強 をした	無料の学習 支援を利用 して受験勉 強をした	学校の教材 以外に、参 考書などを 購入して受 験勉強をし た	塾や予備 校、通信教 育を利用し て受験勉強 をした	模擬試験を 受けた	その他	(%)
TOTAL	947	64.2	12.9	26.6	11.0	15.5	16.8	
自分（ご本人）の希望を尊重し、 支援・応援をしてくれた	809	64.6	12.5	27.6	11.1	15.8	16.1	
自分（ご本人）の希望は尊重して くれたが、特に支援・応援はして くれなかった	97	58.8	18.6	23.7	11.3	11.3	19.6	
家族は、自分（ご本人）の進学に 特に関心はないようだった	29	72.4	6.9	13.8	3.4	13.8	20.7	
その他	12	58.3	8.3	16.7	16.7	33.3	33.3	

無料の学習支援を活用した勉強方法をみると、インターネットサービス（オンライン配信、YouTube等）が63.9%と最も高くなっている。

図 3-46 無料の学習支援を活用した勉強方法（単一回答）／学校の種類別



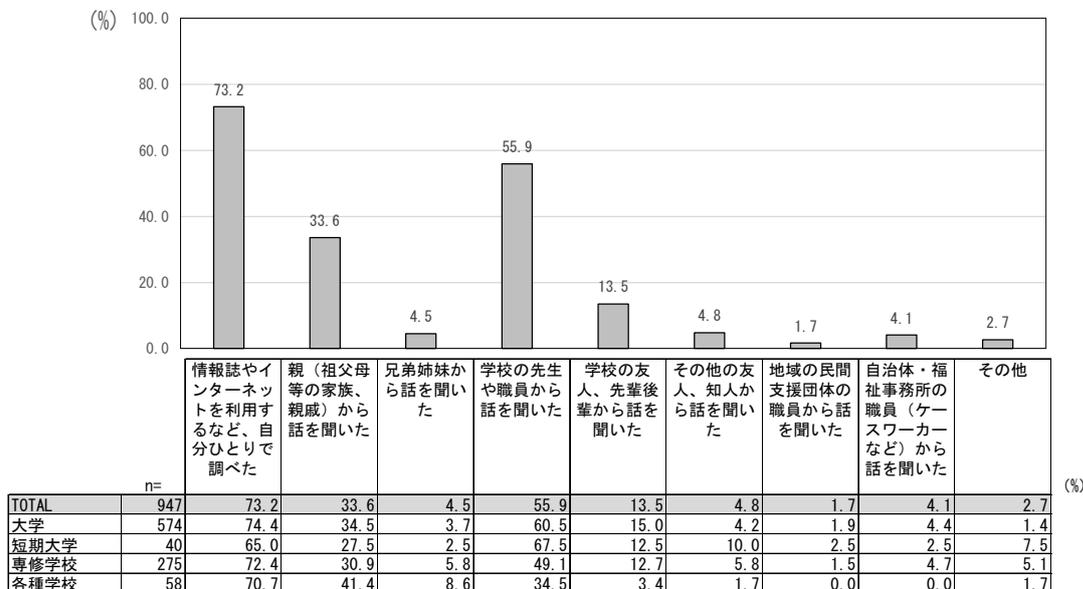
【問 17】進学にかかる費用や受験・進学先に関して、どのようにして情報を入手しましたか。(いくつでも)

進学に関する情報収集方法については、「情報誌やインターネットを利用するなど、自分ひとりで調べた」が73.2%と最も多く、次いで「学校の先生や職員から話を聞いた」が55.9%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「情報誌やインターネットを利用するなど、自分ひとりで調べた」「学校の先生や職員から話を聞いた」、短期大学では「学校の先生や職員から話を聞いた」割合が高くなっている。

「その他」としては、「オープンキャンパス」という意見が多くみられたほか、「塾や予備校の先生から聞いた」、「進学先の学校説明会」といった意見もみられた。

図 3-47 進学に関する情報収集方法（複数回答）／学校の種類別



進学に関する家族の意向別にみると、家族の意向に関わらず、「情報誌やインターネットを利用するなど、自分ひとりで調べた」の割合が高くなっている。

受験学校学部数別にみると、2校（2学部）以上受験した人は「情報誌やインターネットを利用するなど、自分ひとりで調べた」の割合が高くなっている。

図 3-48 進学に関する情報収集方法（複数回答）／進学に関する家族の意向別

	n=	情報誌やインターネットを利用するなど、自分ひとりで調べた	親（祖父母等の家族、親戚）から話を聞いた	兄弟姉妹から話を聞いた	学校の先生や職員から話を聞いた	学校の友人、先輩後輩から話を聞いた	その他の友人、知人から話を聞いた	地域の民間支援団体の職員から話を聞いた	自治体・福祉事務所の職員（ケースワーカーなど）から話を聞いた	その他
TOTAL	947	73.2	33.6	4.5	55.9	13.5	4.8	1.7	4.1	2.7
自分（ご本人）の希望を尊重し、支援・応援をしてくれた	809	73.1	37.1	4.0	56.0	14.0	4.9	1.6	3.8	2.7
自分（ご本人）の希望は尊重してくれたが、特に支援・応援はしてくれなかった	97	72.2	15.5	9.3	56.7	12.4	3.1	2.1	4.1	1.0
家族は、自分（ご本人）の進学に特に関心はないようだった	29	82.8	0.0	6.9	48.3	6.9	6.9	3.4	6.9	6.9
その他	12	66.7	25.0	0.0	58.3	8.3	0.0	0.0	16.7	8.3

図 3-49 進学に関する情報収集方法（複数回答）／受験学校学部数別

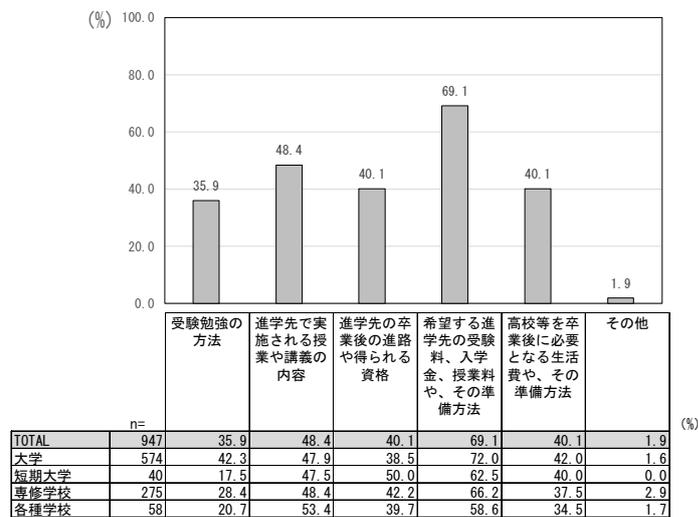
	n=	情報誌やインターネットを利用するなど、自分ひとりで調べた	親（祖父母等の家族、親戚）から話を聞いた	兄弟姉妹から話を聞いた	学校の先生や職員から話を聞いた	学校の友人、先輩後輩から話を聞いた	その他の友人、知人から話を聞いた	地域の民間支援団体の職員から話を聞いた	自治体・福祉事務所の職員（ケースワーカーなど）から話を聞いた	その他
TOTAL	947	73.2	33.6	4.5	55.9	13.5	4.8	1.7	4.1	2.7
1校（1学部）のみ	715	70.9	32.6	5.0	56.1	12.3	4.9	1.3	3.6	3.2
2校（2学部）	121	79.3	30.6	2.5	58.7	19.8	3.3	4.1	5.8	0.0
3校（3学部）	55	78.2	40.0	0.0	54.5	10.9	0.0	1.8	1.8	3.6
4校（4学部）	25	80.0	52.0	0.0	40.0	8.0	8.0	0.0	8.0	0.0
5校（5学部）	19	94.7	42.1	5.3	63.2	26.3	10.5	5.3	5.3	0.0
6校（6学部）以上	12	75.0	41.7	25.0	41.7	25.0	16.7	0.0	16.7	8.3

【問 18】 進学にかかる費用や受験・進学先に関して、どのような情報が得られるとよかったですか。(いくつでも)

進学に関する希望情報については、「希望する進学先の受験料、入学金、授業料や、その準備方法」が69.1%と最も多く、次いで「進学先で実施される授業や講義の内容」が48.4%となっている。

「その他」としては、「生活保護世帯に対する進学時の支援」、「社会福祉協議会などから支援を受けられること」などの意見がみられた。

図 3-50 進学に関する希望情報（複数回答）／学校の種類別

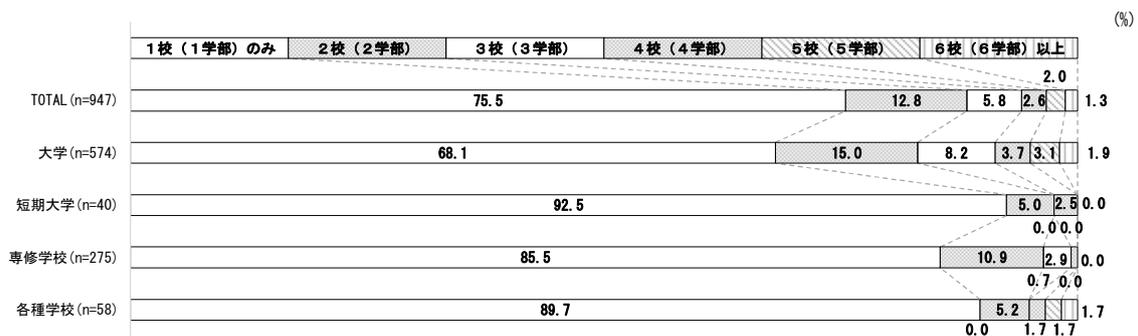


【問 19】 現在の進学先を含めて、いくつの学校（学部）を受験しましたか。

受験学校学部数については、「1校（1学部）のみ」が75.5%と最も多く、次いで「2校（2学部）」が12.8%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「2校（2学部）」以上の割合が他の学校種類に比べて多く、短期大学・専修学校・各種学校では「1校（1学部）のみ」の割合が多くなっている。

図 3-51 受験学校学部数（単一回答）／学校の種類別



【問 20】 受験や入学に関して、どれくらいの費用がかかりましたか。

受験や入学にかかった費用の平均値は、それぞれ以下の通りである。各項目の合計値としては、640.3 千円が平均値となっている。

学校の種類別にみると、大学が 725.4 千円と最も高くなっており、「塾・予備校、通信教育にかかった費用」「受験料」の費用が比較的高くなっている。

また奨学金利用の有無別にみると、奨学金を利用している場合は受験や入学にかかる費用が高くなる傾向にある。

図 3-52 受験や入学にかかった費用

項目	平均額（千円）
受験の教材（参考書等）にかかった費用	22.9
塾・予備校、通信教育にかかった費用	44.3
受験料	44.0
受験するためにかかった交通費・宿泊費	4.6
入学金	315.0
大学生活で必要になるパソコン	98.5
大学生活で必要になる電話機（携帯電話・スマートフォンを含む）	49.1
通学用の自転車・原動機付き自転車	16.0
入学式用の衣類・靴	45.9
合計（n=947）	640.3

図 3-53 受験や入学に関する費用（複数回答）／学校の種類別

	n=	平均値	受験の教材	塾・予備	受験料	受験するた	入学金	大学生活で	大学生活で	通学用の自	入学式用の	(千円)
			にかかった費用	校・通信教育にかかった費用		めににかかった交通費・宿泊費		必要になるパソコン	必要になる電話機（携帯電話・スマートフォンを含む）	転車・原動機付き自転車	衣類・靴	
TOTAL	947	640.3	22.9	44.3	44.0	4.6	315.0	98.5	49.1	16.0	45.9	
大学	574	725.4	18.2	63.6	53.8	5.9	347.7	118.3	55.9	18.7	43.5	
短期大学	40	535.8	16.4	0.5	20.5	2.6	314.7	73.0	47.0	18.0	43.2	
専修学校	275	510.7	34.7	18.4	33.4	2.8	258.6	65.3	37.2	11.9	49.0	
各種学校	58	484.2	18.6	6.2	14.2	1.8	259.5	77.5	39.8	0.7	59.3	

図 3-54 受験や入学に関する費用（複数回答）／奨学金利用の有無別

	n=	平均	受験の教材	塾・予備	受験料	受験するた	入学金	大学生活で	大学生活で	通学用の自	入学式用の	(千円)
			（参考書等）にかかった費用	校、通信教育にかかった費用		めににかかった交通費・宿泊費		必要になるパソコン	必要になる電話機（携帯電話・スマートフォンを含む）	転車・原動機付き自転車	衣類・靴	
TOTAL	947	640.3	22.9	44.3	44.0	4.6	315.0	98.5	49.1	16.0	45.9	
奨学金等を利用している	903	643.6	23.1	45.4	45.3	4.6	313.7	99.7	49.5	16.1	46.1	
奨学金等を利用していない	44	573.1	20.2	20.7	18.0	3.4	342.3	74.4	40.3	12.8	40.9	

【問 21】 受験や入学に要する費用は、どのように準備しましたか。(いくつでも)

受験や入学に要する費用の準備方法については、「奨学金を利用した」が59.3%と最も多く、次いで「家庭（親等）と自分で用意した」が35.1%、「生活福祉資金（就学支度費）を利用した」が27.5%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「家庭（親等）と自分で用意した」、各種学校では「すべて自分がアルバイト等をして用意した」割合が高くなっている。

大学進学時の生活保護費減額の影響別にみると、大いに影響するほど、「奨学金を利用した」の割合が高くなっている。

「その他」としては、「祖父母などの親族、知人から借りた」といった意見が多くみられた。このほかに、「社会福祉協議会」、「母子福祉資金」といった意見もみられた。

図 3-55 受験入学費用準備方法（複数回答）／学校の種類別

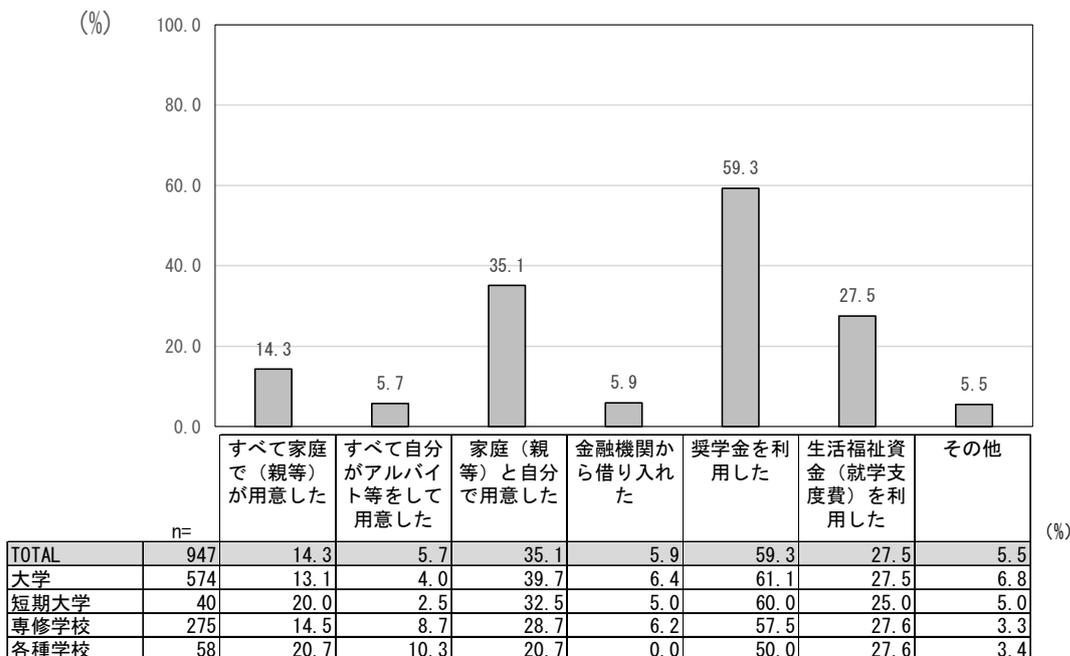


図 3-56 受験入学費用準備方法（複数回答）／大学進学時の生活保護費減額の影響別

	n=	すべて家庭で（親等）が用意した	すべて自分がアルバイト等をして用意した	家庭（親等）と自分で用意した	金融機関から借り入れた	奨学金を利用した	生活福祉資金（就学支度費）を利用した	その他
TOTAL	947	14.3	5.7	35.1	5.9	59.3	27.5	5.5
大いに影響した	359	8.6	6.4	34.3	7.0	65.2	32.3	7.0
少し影響した	233	15.5	5.6	39.1	5.2	58.4	27.0	3.4
あまり影響していない	114	17.5	4.4	36.0	7.9	55.3	22.8	7.0
全く影響していない	63	25.4	7.9	34.9	1.6	42.9	31.7	7.9
わからない	164	18.3	4.9	29.9	4.3	56.7	20.1	2.4
その他	14	14.3	0.0	42.9	14.3	64.3	14.3	14.3

進学に関する家族の意向別にみると、家族の意向に関わらず、「奨学金を利用した」の割合が高くなっている。また、家族が支援・応援してくれた場合は「すべて家庭で（親等）が用意した」、特に支援・応援がなかった場合は「すべて自分がアルバイト等をして用意した」「生活福祉資金（就学支度費）を利用した」割合が高くなっている。

図 3-57 受験入学費用準備方法（複数回答）／進学に関する家族の意向別

	n=	すべて家庭で（親等）が用意した	すべて自分がアルバイト等をして用意した	家庭（親等）と自分で用意した	金融機関から借り入れた	奨学金を利用した	生活福祉資金（就学支度費）を利用した	その他	(%)
TOTAL	947	14.3	5.7	35.1	5.9	59.3	27.5	5.5	
自分（ご本人）の希望を尊重し、支援・応援してくれた	809	15.2	4.1	35.4	5.4	60.3	25.7	5.1	
自分（ご本人）の希望は尊重してくれたが、特に支援・応援はしてくれなかった	97	8.2	14.4	37.1	10.3	51.5	39.2	6.2	
家族は、自分（ご本人）の進学に特に関心はないようだった	29	3.4	17.2	24.1	6.9	65.5	34.5	13.8	
その他	12	25.0	16.7	25.0	0.0	41.7	33.3	8.3	

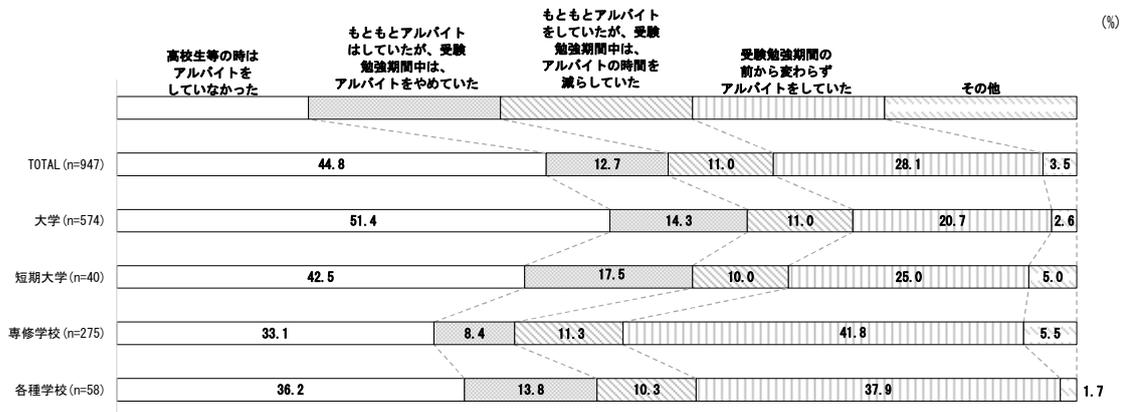
【問 22】 受験勉強をしている頃、アルバイトはしていましたか。

受験勉強をしている頃のアルバイトの有無については、「高校生等の時はアルバイトをしていなかった」が44.8%と最も多く、次いで「受験勉強期間の前から変わらずアルバイトをしていた」が28.1%、「もともとアルバイトはしていたが、受験勉強期間中は、アルバイトをやめていた」が12.7%となっている。

学校の種類別にみると、大学は「高校生等の時はアルバイトをしていなかった」、専修学校では「受験勉強期間の前から変わらずアルバイトをしていた」割合が高くなっている。

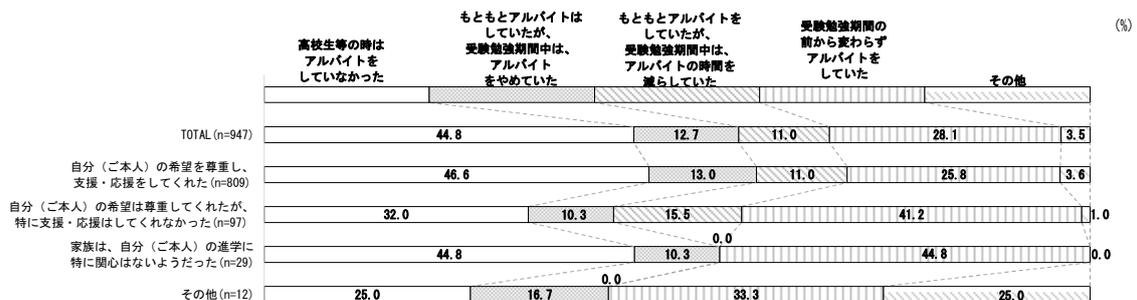
「その他」としては、「受験が終わってからアルバイトを始めた」といった意見が多くみられた。このほかに、「コロナ禍でアルバイトができなかった」との意見もみられた。

図 3-58 受験勉強時アルバイト有無（単一回答）／学校の種類別



進学に関する家族の意向別にみると、家族が支援・応援してくれた場合や特に関心が高かった場合は「高校生等の時はアルバイトをしていなかった」、特に支援・応援が高かった場合や特に関心が高かった場合は「受験勉強期間の前から変わらずアルバイトをしていた」の割合が高くなっている。

図 3-59 受験勉強時アルバイト有無（単一回答）／進学に関する家族の意向別



【問 23】 高校等に通っている頃のアルバイト収入の主な使い道は何でしたか。(いくつでも)

アルバイト収入の主な使い道については、「遊興費、自らのお小遣い」が32.8%と最も多く、次いで「進学のための費用」が31.9%となっている。

学校の種類別にみると、専修学校では「遊興費、自らのお小遣い」、各種学校では「私立高校の授業料のための費用」の割合が高くなっている。

大学進学時の生活保護費減額の影響別にみると、大いに影響する場合は、「進学のための費用」の割合が高くなっている。

「その他」としては、「資格の習得費用」、「携帯電話代」などの意見が多くみられた。

図 3-60 アルバイト収入の主な使い道（複数回答）／学校の種類別

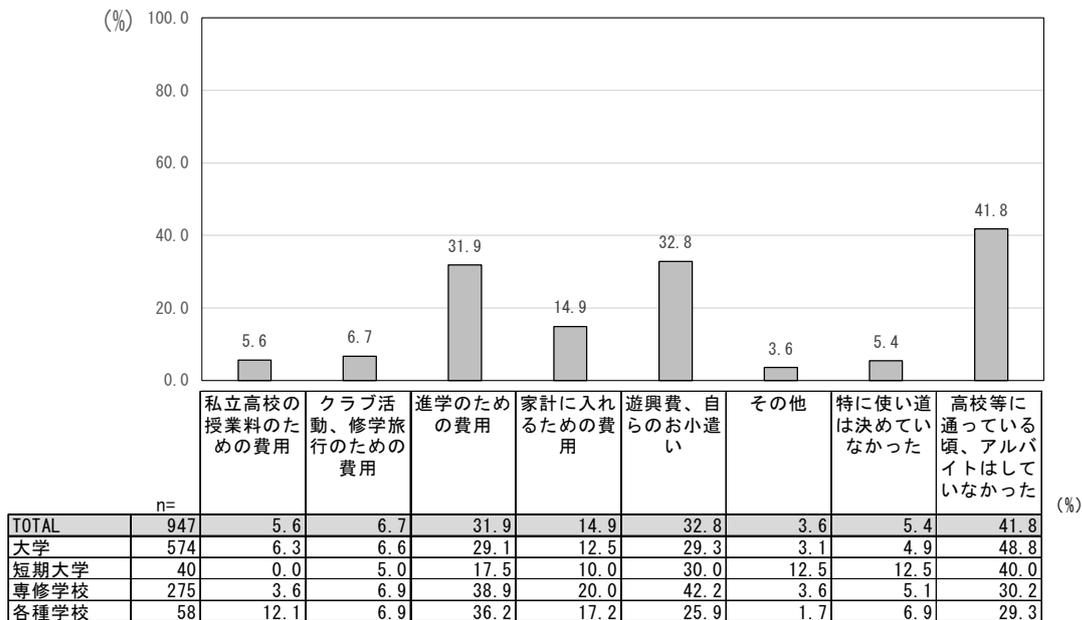


図 3-61 アルバイト収入の主な使い道（複数回答）／大学進学時の生活保護費減額の影響別

生活保護費減額の影響別	私立高校の授業料のための費用	クラブ活動、修学旅行のための費用	進学のための費用	家計に入れるための費用	遊興費、自らのお小遣い	その他	特に使い道は決めていなかった	高校等に通っている頃、アルバイトはしていなかった
TOTAL	5.6	6.7	31.9	14.9	32.8	3.6	5.4	41.8
大いに影響した	6.1	7.0	37.3	18.1	35.7	3.9	4.5	37.9
少し影響した	4.3	7.7	35.2	18.0	33.0	3.9	4.7	40.8
あまり影響していない	6.1	4.4	25.4	8.8	26.3	1.8	3.5	52.6
全く影響していない	3.2	4.8	33.3	7.9	39.7	3.2	11.1	38.1
わからない	7.3	7.3	19.5	11.0	28.0	3.7	7.3	45.1
その他	0.0	0.0	28.6	7.1	35.7	7.1	7.1	50.0

【問 24】 受験勉強をしている頃、家族の状況（傷病や就労等）を理由に、家事、家族の介護・看護をしていましたか。（いくつでも）

受験勉強時の家事・介護・看護の有無については、「家事を手伝っていた」が47.9%と最も多く、次いで「兄弟姉妹の世話をしていた」が10.1%であるほか、「いずれもしていなかった」が43.6%となっている。

進学に関する家族の意向別にみると、特に関心がなかった場合は「自分が中心となって家事をしていた」の割合が高くなっている。

図 3-62 受験勉強時の家事・介護・看護の有無（複数回答）／学校の種類別

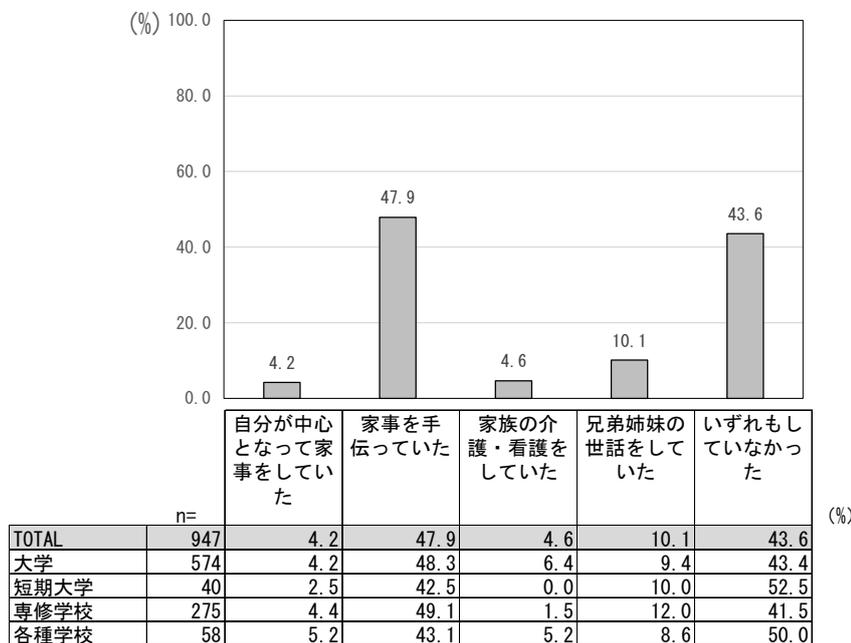


図 3-63 受験勉強時の家事・介護・看護の有無（複数回答）／進学に関する家族の意向別

	n=	自分が中心となって家事をしていた	家事を手伝っていた	家族の介護・看護をしていた	兄弟姉妹の世話をしていた	いずれもしていなかった
TOTAL	947	4.2	47.9	4.6	10.1	43.6
自分（ご本人）の希望を尊重し、支援・応援してくれた	809	3.8	48.5	4.8	9.6	43.8
自分（ご本人）の希望は尊重してくれたが、特に支援・応援はしてくれなかった	97	5.2	46.4	4.1	12.4	42.3
家族は、自分（ご本人）の進学に特に関心はないようだった	29	13.8	37.9	3.4	13.8	44.8
その他	12	0.0	50.0	0.0	16.7	41.7

3-3. 現在の生活状況について

(1) 経済的な状況について

【問 25】 現在、出身家庭から学費・生活費の援助を受けていますか。

就学費用援助の有無については、「受けていない」が74.6%、「受けている」が25.4%となっている。

進学に関する家族の意向別にみると、特に支援・応援がなかった場合や特に関心がなかった場合は「受けていない」の割合が高くなっている。

出身家庭から就学費用援助を受けている場合の金額については、平均で240.3千円となっている。

図 3-64 就学費用援助の有無（単一回答）／学校の種類別

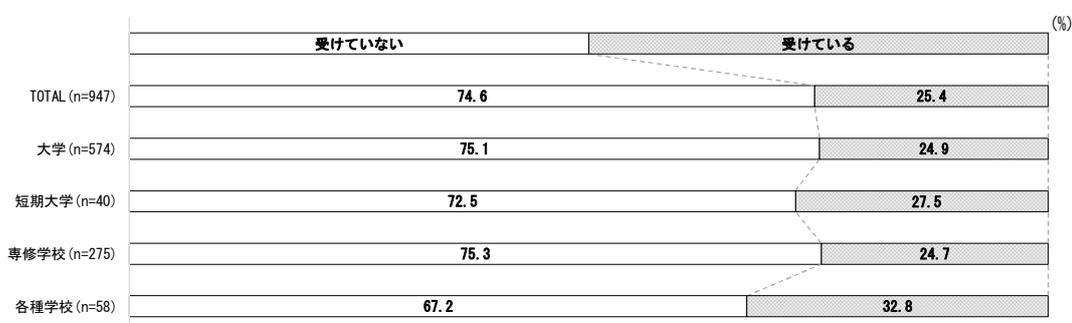


図 3-65 就学費用援助の有無（単一回答）／進学に関する家族の意向別

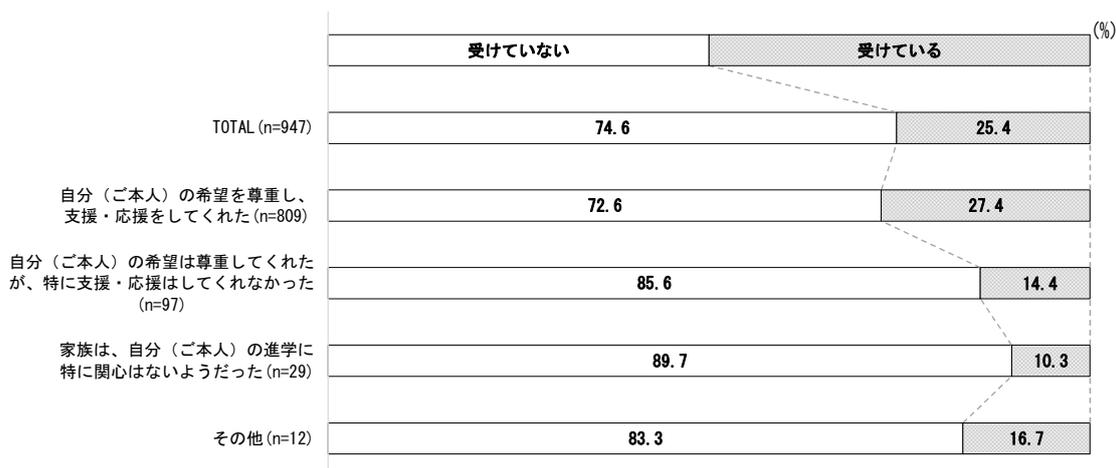


図 3-66 就学費用援助の有無（単一回答）／奨学金利用の有無別

	受けていない	受けている
TOTAL (n=947)	74.6	25.4
奨学金等を利用している (n=903)	74.5	25.5
奨学金等を利用していない (n=44)	75.0	25.0

図 3-67 就学費用援助の金額（年間）／学校の種類別

	5万円未満	5~10万円未満	10~50万円未満	50~100万円未満	100万円以上
TOTAL (n=241)	28.2	13.3	40.7	12.9	5.0
大学 (n=143)	28.0	11.2	42.0	12.6	6.3
短期大学 (n=11)	27.3	36.4	18.2	18.2	0.0
専修学校 (n=68)	27.9	11.8	45.6	10.3	4.4
各種学校 (n=19)	31.6	21.1	26.3	21.1	0.0

【問 26】 奨学金等を利用していますか。

奨学金の利用状況については、全体で見ると「奨学金等を利用している」が95.4%、「奨学金等を利用していない」が4.6%となっている。

利用している奨学金をみると、「日本学生支援機構の給付型奨学金」が89.9%と最も多く、次いで「日本学生支援機構の貸与型奨学金」が51.8%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「日本学生支援機構の給付型奨学金」、専修学校では「日本学生支援機構の貸与型奨学金」の割合が高くなっている。

図 3-68 奨学金利用の有無（単一回答）／学校の種類別

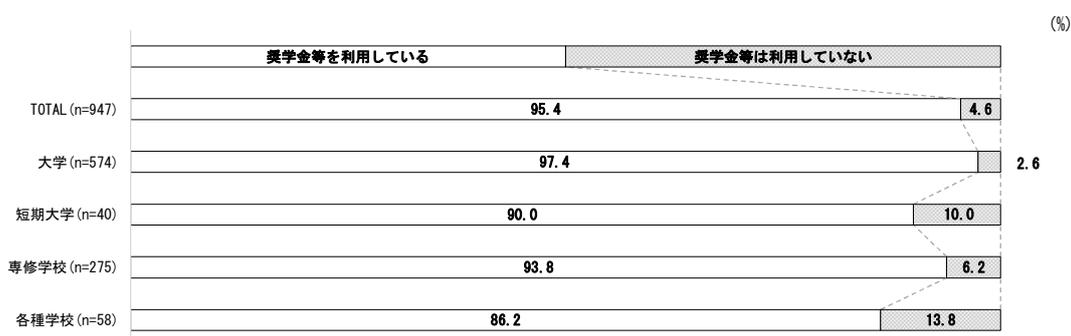
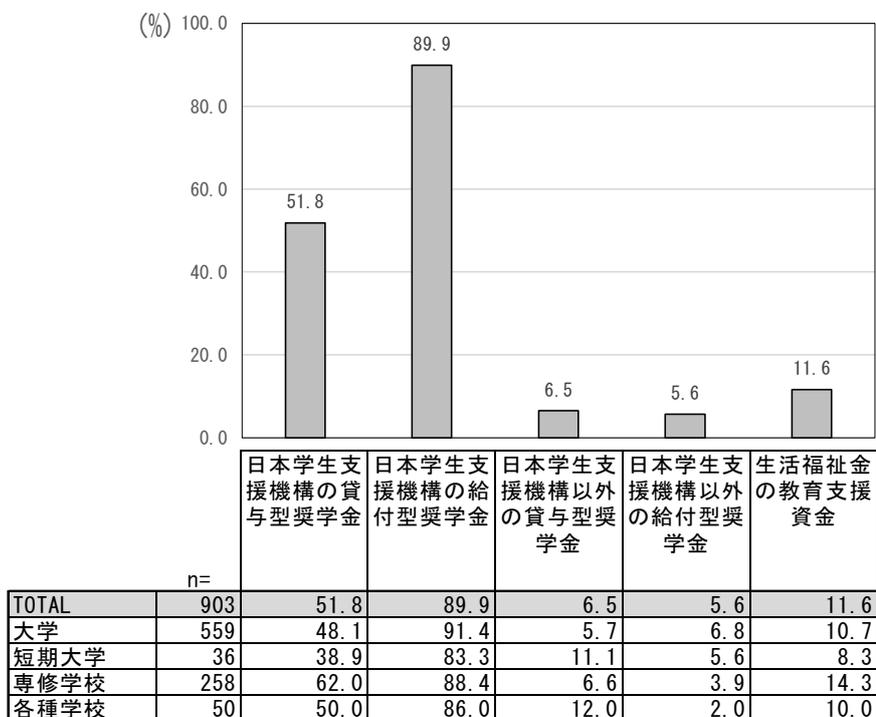


図 3-69 利用している奨学金（複数回答）／学校の種類別



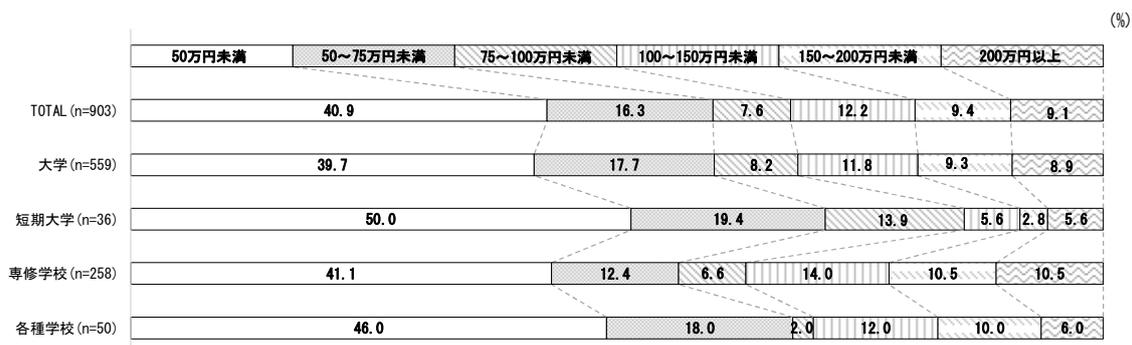
利用している奨学金等の年間受給額は、それぞれ平均額として、「日本学生支援機構の

貸与型奨学金」が 383.6 千円、「日本学生支援機構の給付型奨学金」が 321.8 千円、「日本学生支援機構以外の貸与型奨学金」が 46.9 千円、「日本学生支援機構以外の給付型奨学金」が 24.8 千円、「生活福祉金の教育支援資金」が 93.0 千円となっている。

図 3-70 利用している奨学金年間受給額（平均）／学校の種類別

	n=	日本学生支援機構の貸与型奨学金	日本学生支援機構の給付型奨学金	日本学生支援機構以外の貸与型奨学金	日本学生支援機構以外の給付型奨学金	生活福祉金の教育支援資金	(千円)
TOTAL	903	383.6	321.8	46.9	24.8	93.0	
大学	559	386.8	338.8	43.6	30.5	81.4	
短期大学	36	138.3	224.9	123.6	16.7	42.5	
専修学校	258	429.5	306.1	33.9	16.9	124.3	
各種学校	50	287.0	282.6	96.0	7.4	96.4	

図 3-71 利用している奨学金年間受給額（合計）／学校の種類別



【問 27】 大学等に納付する授業料や通学費等について、年間必要となる額について記入してください。（半角数字でご記入ください）

大学等に納付する年間必要額については、それぞれ平均額として、授業料が 609.5 千円、その他の学校納付金が 135.0 千円、修学費が 78.9 千円、通学費が 85.5 千円、合計 908.9 千円となっている。

図 3-72 大学等に納付する年間必要金額（平均）

項目	平均額（千円）
授業料 （出身家庭が支払った授業料を含む）	609.5
その他の学校納付金 （入学時の特別納付金を除く）	135.0
修学費 （教科書・図書代、文具購入費等を含む）	78.9
通学費	85.5
合計（n=947）	908.9

図 3-73 大学等に納付する年間必要金額（合計）／学校の種類別

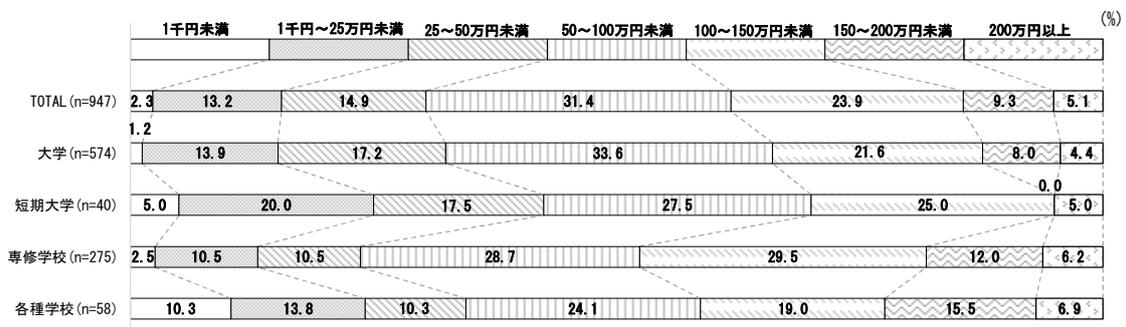
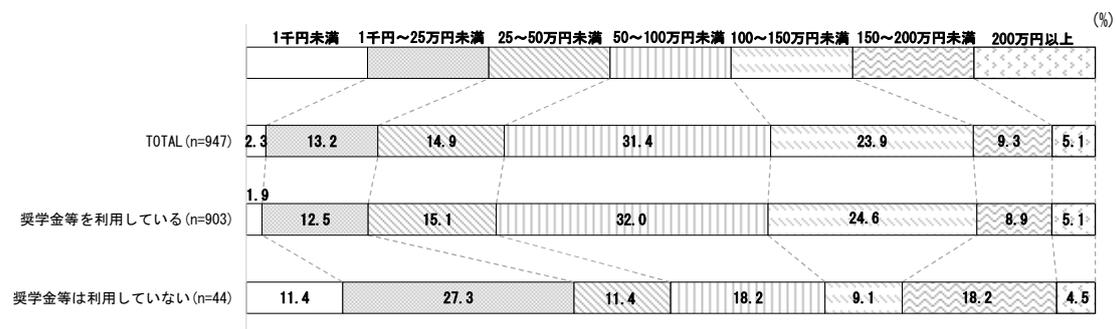


図 3-74 大学等に納付する年間必要金額（平均）／奨学金利用の有無別

	n=	授業料 （出身家庭 が支払った 授業料を含 む）	その他の 学校納付金 （入学時の 特別納付金 を除く）	修学費 （教科書・ 図書代、文 具購入費等 を含む）	通学費	(千円)
TOTAL	947	609.5	135.0	78.9	85.5	
奨学金等を利用している	903	614.3	136.7	79.7	86.9	
奨学金等を利用していない	44	509.8	99.8	62.4	57.3	

図 3-75 大学等に納付する年間必要金額（合計）／奨学金利用の有無別

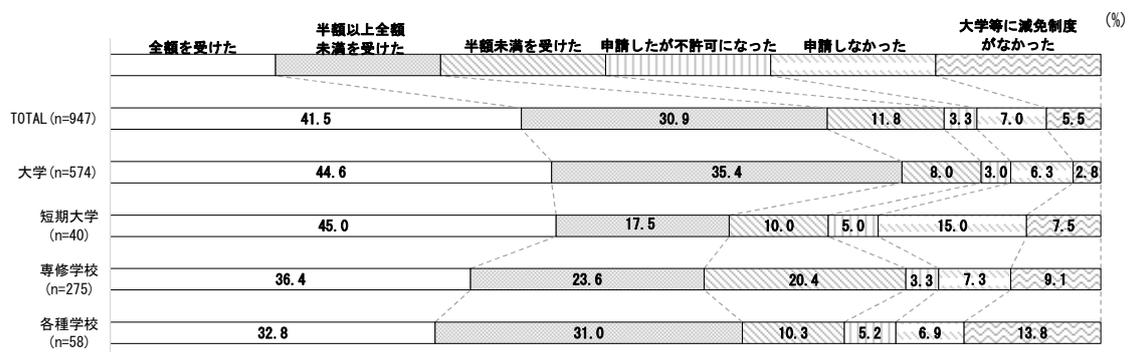


【問 28】 大学等の授業料減免制度を受けていますか。令和5年度前期分についてお答えください。

令和5年度授業料の減免制度の利用については、「全額を受けた」が41.5%と最も多く、次いで「半額以上全額未満を受けた」が30.9%、「半額未満を受けた」が11.8%となっている。また「大学等に減免制度がなかった」割合は5.5%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「半額以上全額未満を受けた」、短期大学では「申請しなかった」、専修学校では「半額未満を受けた」割合が高くなっている。

図 3-76 令和5年度前期授業料減免制度の受用有無（単一回答）／学校の種類別



【問 29】この1年間、病気(風邪を含む)やけがをした場合、医療機関を受診しましたか。

医療機関の受診の有無については、「必要な場合はその都度受診した」が50.5%と最も多く、次いで「経済的な理由で、出来るだけ受診を控えた」が28.1%、「病気やけがをしていない」が17.1%となっている。

進学に関する家族の意向別にみると、特に支援・応援をしてくれなかった場合は「経済的な理由で、出来るだけ受診を控えた」の割合が高くなっている。

図 3-77 医療機関受診の有無（単一回答）／学校の種類別

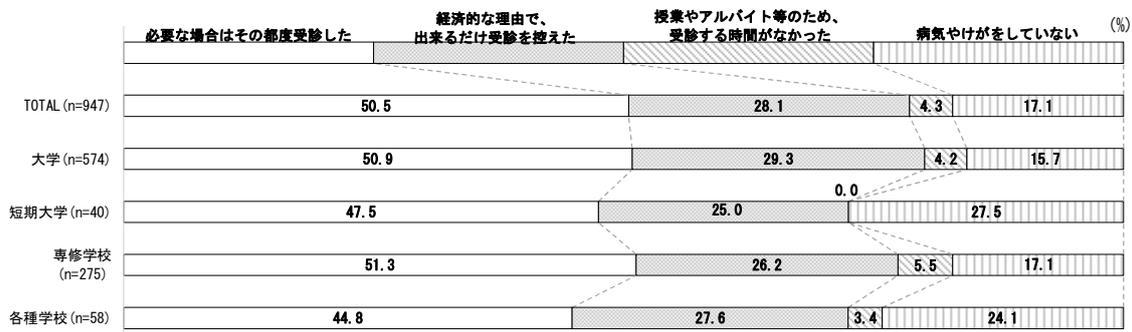
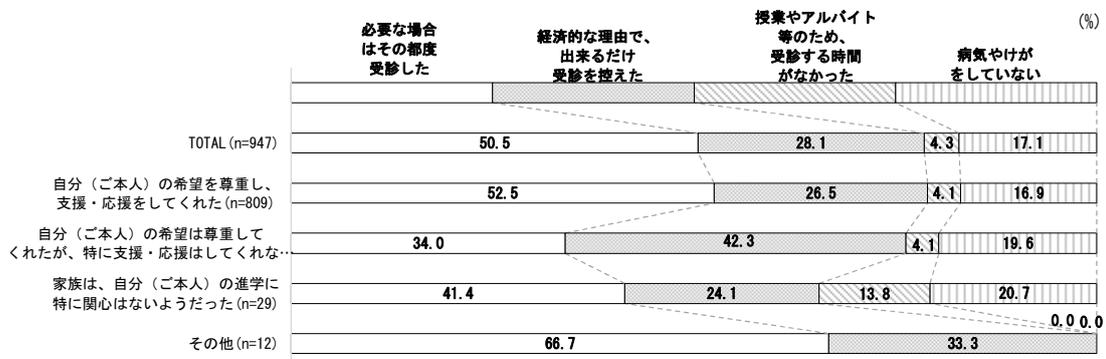


図 3-78 医療機関受診の有無（単一回答）／進学に関する家族の意向別



【問 30】 20 歳以上の方のみにお聞きします。国民年金保険料を納付していますか。

国民年金保険料の納付の有無については、「学生納付特例制度を利用している」が 67.2%と最も多く、次いで「納付している」が 17.1%、「納付していない」が 8.1%となっている。

奨学金利用の有無別にみると、奨学金等を利用している人は「学生納付特例制度を利用している」割合が高くなっている。

図 3-79 国民年金保険料納付の有無（単一回答）／学校の種類別

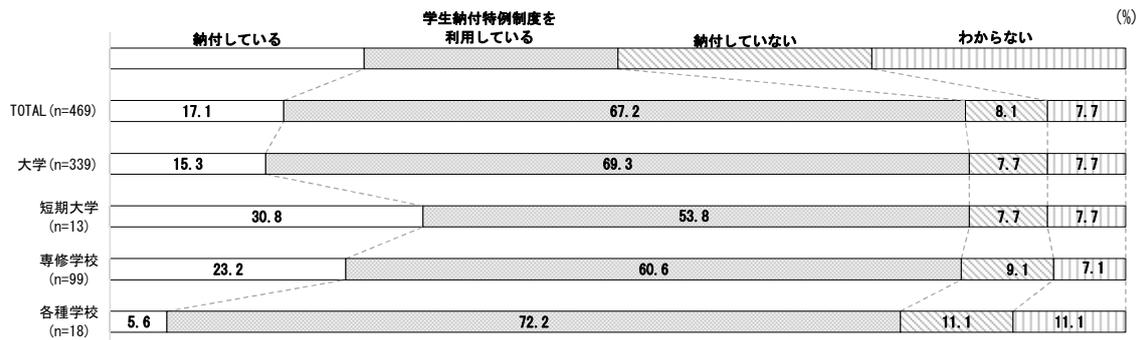
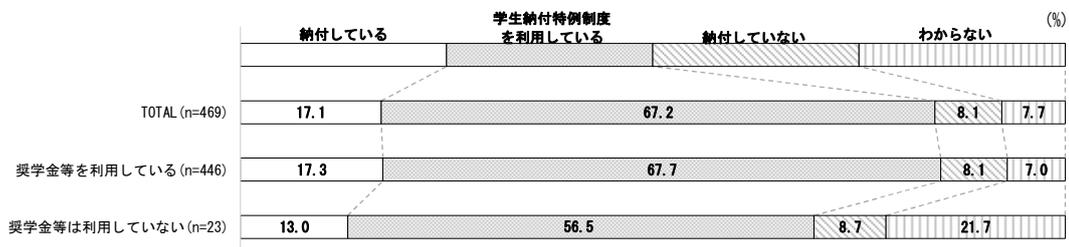


図 3-80 国民年金保険料納付の有無（単一回答）／奨学金利用の有無別

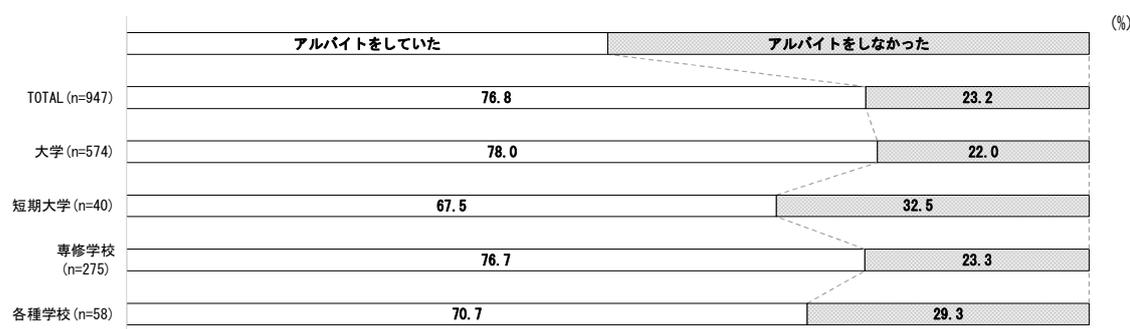


(2) アルバイトの状況について

**【問 31】 最近 1 年間、授業期間中や長期休暇中にアルバイトをしましたか。
アルバイトをした方は、1 日あたりの平均的な労働時間と 1 か月あたりの平均的な就
労日数、1 か月あたりの収入額をお答えください。**

アルバイトの状況については、「アルバイトをしていた」が 76.8%、「アルバイトをしな
かった」が 23.2%となっている。

図 3-81 アルバイトの有無（単一回答）／学校の種類別



アルバイトの状況について、授業期間（平日）では、76.8%がアルバイトをしており、平均 4.3 時間／日、平均 9.3 日となっている。授業期間（土日）では、78.9%がアルバイトをしており、平均 5.8 時間／日、平均 5.6 日となっている。長期休暇中では、81.0%がアルバイトをしており、平均 5.9 時間／日、平均 13.1 日となっている。

1 か月あたりの平均収入は、授業期間（平日）では 65.6 千円、授業期間（土日）では 64.5 千円、長期休暇中では 63.3 千円となっている。

図 3-82 アルバイトの有無（単一回答）／授業期間・長期休暇中別

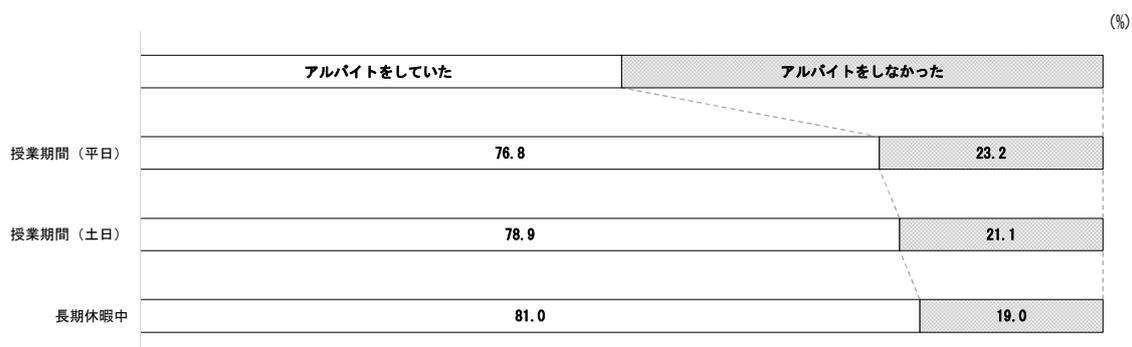


図 3-83 1日あたりの平均労働時間／授業期間・長期休暇中別

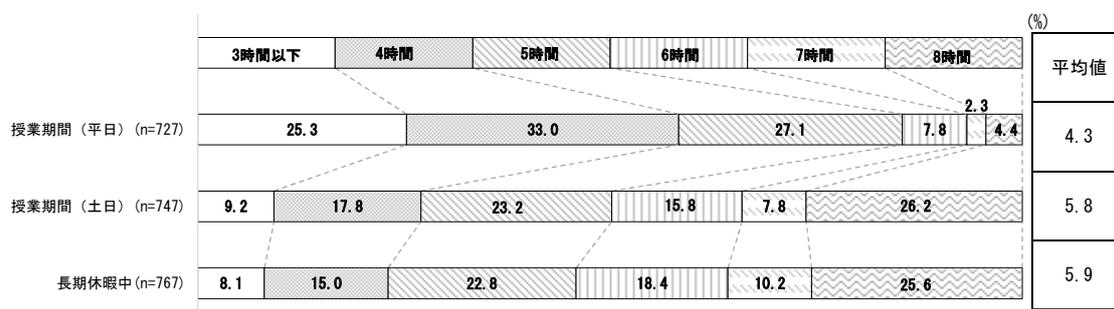


図 3-84 1か月あたりの平均就労日数／授業期間・長期休暇中別

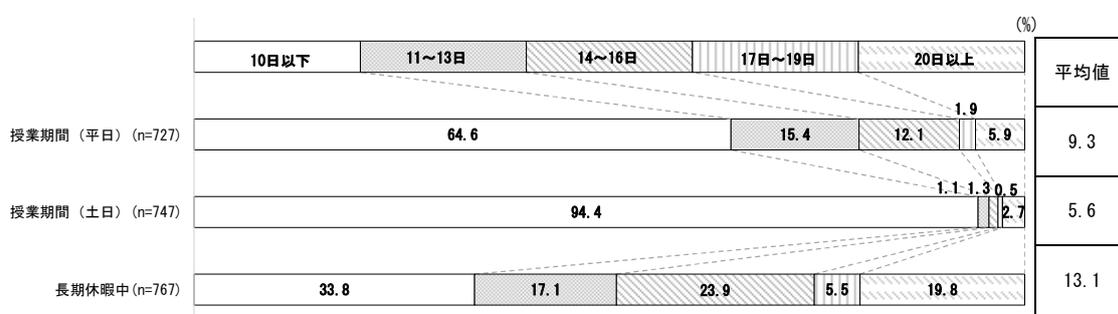
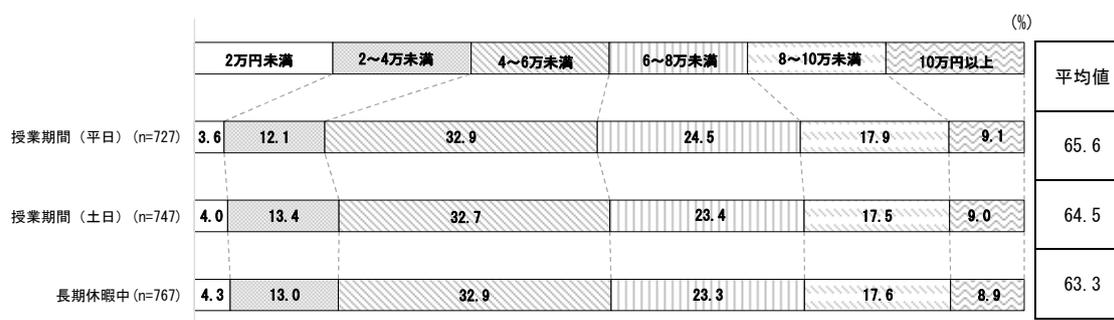


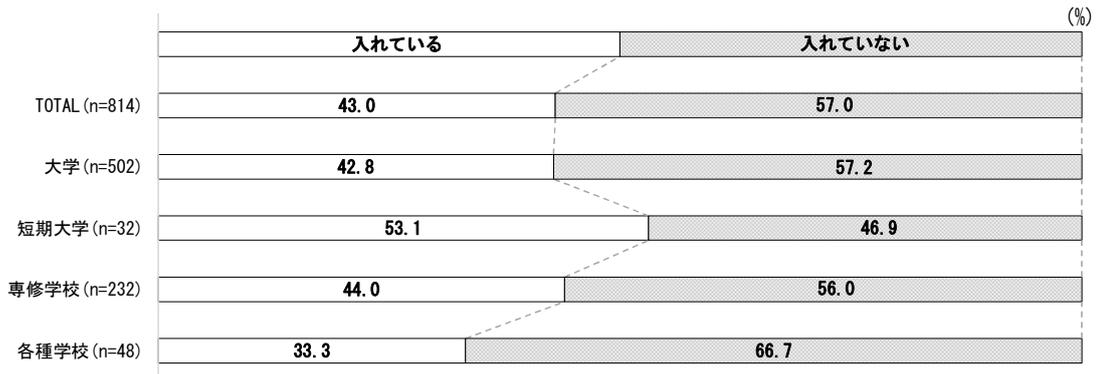
図 3-85 1か月あたりの平均収入／授業期間・長期休暇中別



【問 32】 アルバイトをしている方にお聞きします。自分のアルバイト収入の一部を生活費として家庭に入れていきますか。

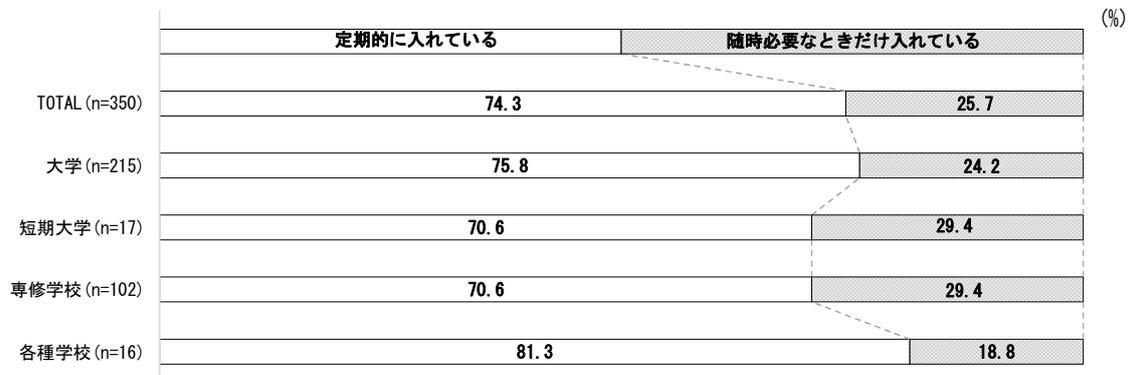
アルバイト収入の生活費としての家庭への提供有無については、「入れている」が43.0%、「入っていない」が57.0%となっている。

図 3-86 アルバイト収入の家庭への提供有無／学校の種類別



アルバイト収入の家庭への提供頻度については、「定期的に入れている」が74.3%、「随時必要なときだけ入れている」が25.7%となっている。

図 3-87 アルバイト収入の家庭への提供頻度／学校の種類別



1 か月あたりの生活費として家庭に入れているアルバイト収入の平均金額は 22.4 千円

となっている。

進学に関する家族の意向別にみると、家族が支援・応援してくれた場合は22.8千円で最も高く、次に特に支援・応援をしなかった場合は21.9千円となっている。

図 3-88 生活費として家庭に入れている金額／学校の種類別

	n=	平均(千円)
TOTAL	350	22.4
大学	215	22.0
短期大学	17	19.7
専修学校	102	23.8
各種学校	16	21.9

図 3-89 生活費として家庭に入れている金額／進学に関する家族の意向別

	n=	平均(千円)
TOTAL	350	22.4
自分(ご本人)の希望を尊重し、支援・応援してくれた	290	22.8
自分(ご本人)の希望は尊重してくれたが、特に支援・応援はしてくれなかった	43	21.9
家族は、自分(ご本人)の進学に関心はないようだった	14	18.9
その他	3	11.7

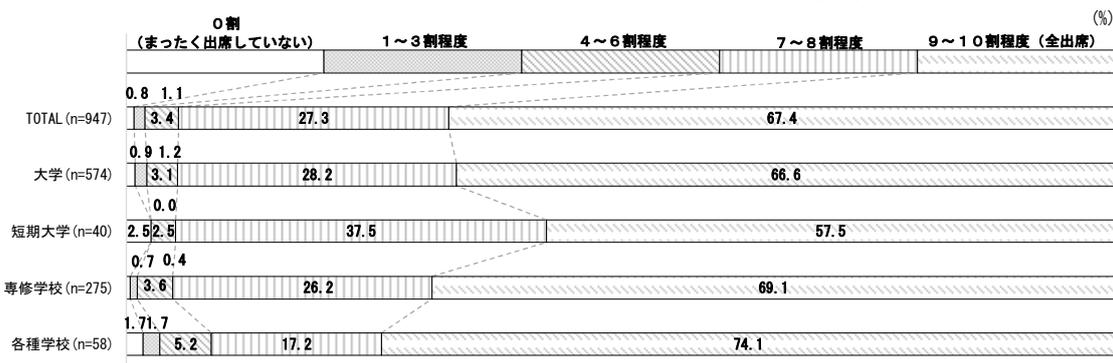
(3) 学生生活について

【問 33】 学校の授業に平均してどれくらいの割合で出席していますか。

授業出席の割合については、「9～10割（全出席）」が67.4%と最も多く、次いで「7～8割程度」が27.3%となっている。

学校の種類別にみると、短期大学では「7～8割程度」、専修学校、各種学校では「9～10割（全出席）」の割合が高くなっている。

図 3-90 授業出席の割合（単一回答）／学校の種類別



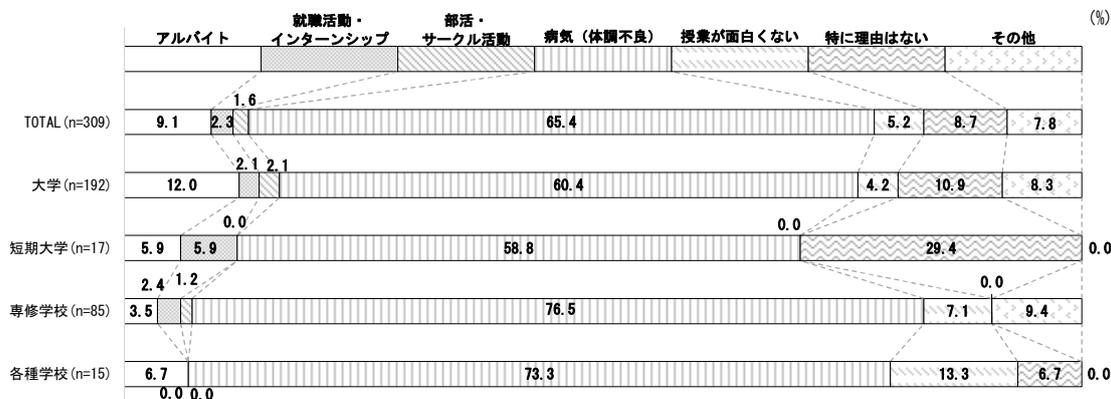
【問 34】 授業に出席しなかったことがある方にお聞きします。授業に出席しなかった主な理由は何ですか。

授業欠席の主な理由は、「病気（体調不良）」が65.4%と最も多く、次いで「アルバイト」が9.1%となっている。

学校の種類別にみると、大学では「アルバイト」、専修学校・各種学校では「病気（体調不良）」の割合が高くなっている。

「その他」としては、「家族の看護・介護」、「精神的な理由」などの意見がみられた。

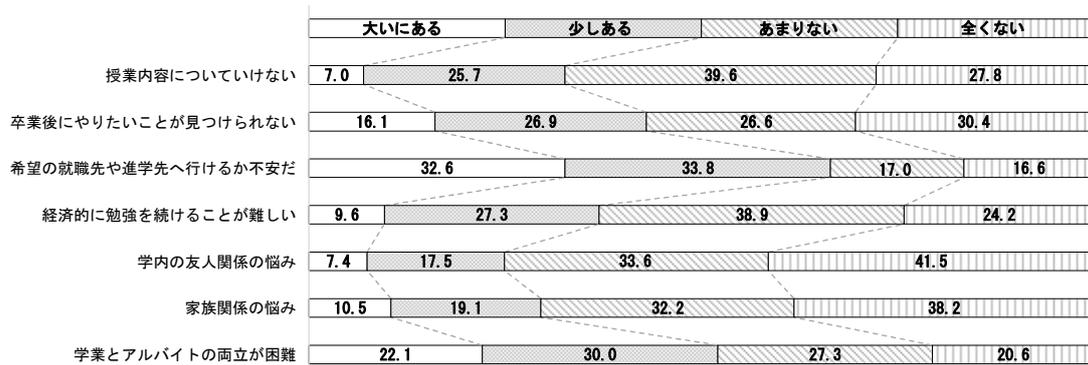
図 3-91 授業欠席の主な理由（単一回答）／学校の種類別



【問 35】 学生生活について、次のような悩みや不安はありますか。

学生生活に関する悩みや不安について、不安が「大いにある」割合が高いのは、「希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ」が32.6%と最も多く、次いで「学業とアルバイトの両立が困難」が22.1%、「卒業後にやりたいことが見つけれられない」が16.1%となっている。

図 3-92 学生生活に関する悩みや不安（各項目で単一回答）



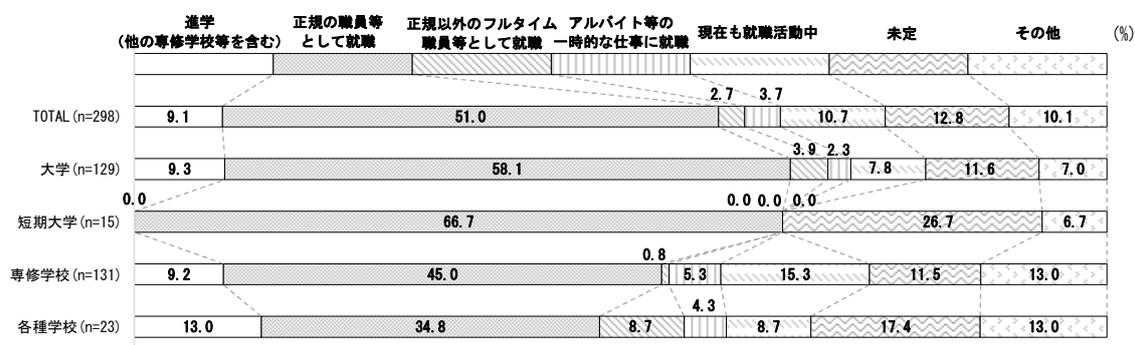
3-4. 卒業後の見込みについて

【問 36】今年度卒業見込みの方にお聞きします。11月1日現在の卒業後進路をお答えください。

卒業後の進路については、「正規の職員等として就職」が51.0%と最も多く、次いで「未定」が12.8%、「現在も就職活動中」が10.7%となっている。

学校の種類別にみると、大学、短期大学では「正規の職員等として就職」の割合が高くなっている。

図 3-93 卒業後の進路（単一回答）／学校の種類別



【問 37】 今年度卒業見込みの方にお聞きします。卒業後は、出身家庭で親と同居しますか。

卒業後の親との同居については、「同居する予定」が26.5%、「同居しない予定（転出する予定）」が43.0%となっている。

学校の種類別にみると、大学や各種学校では「同居しない予定（転出する予定）」の割合が他の学校種類と比べて高くなっている。

また、進学に関する家族の意向別にみると、特に支援・応援がなかった場合や特に関心がなかった場合は「同居しない予定（転出する予定）」の割合が高くなっている。

図 3-94 卒業後の親との同居有無（単一回答）／学校の種類別

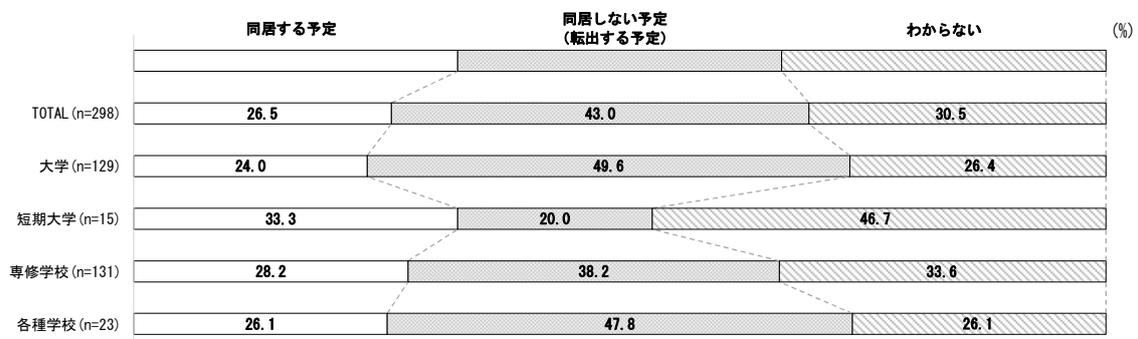
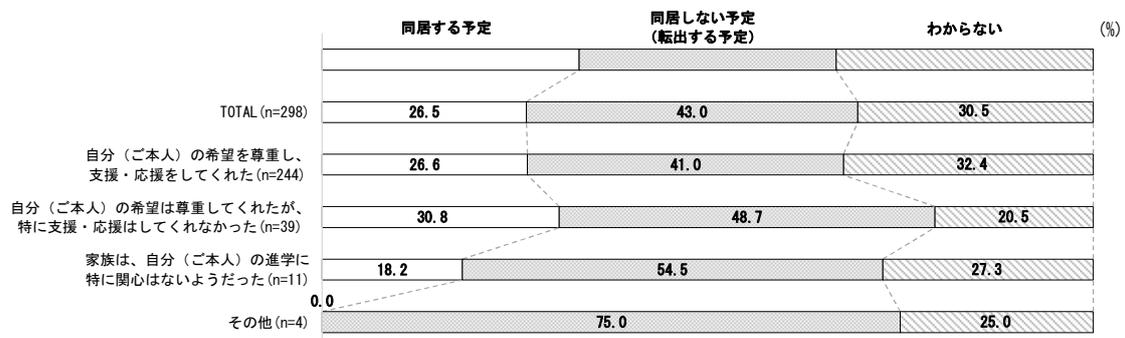


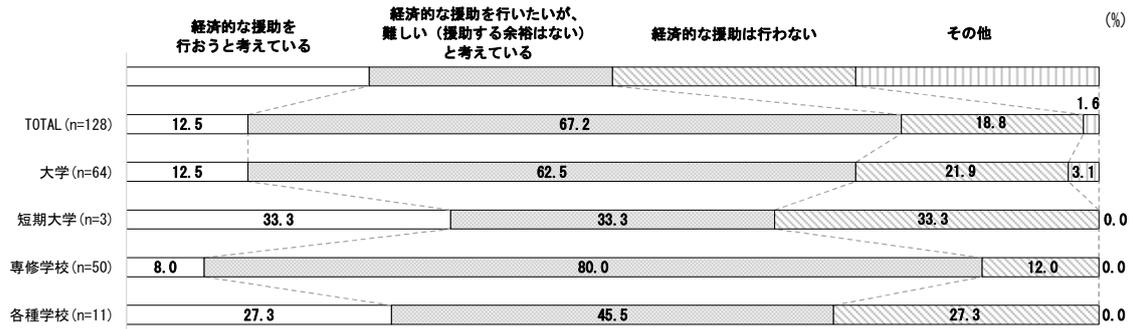
図 3-95 卒業後の親との同居有無（単一回答）／進学に関する家族の意向別



【問 38】同居しない予定（転出する予定）の方にお聞きします。転出後、出身家庭に経済的な援助を行おうと考えていますか。

転出後の出身家庭への援助については、「経済的な援助を行いたいが、難しい（援助する余裕はない）と考えている」が67.2%と最も多く、次いで「経済的な援助は行わない」が18.8%、「経済的な援助を行おうと考えている」が12.5%となっている。

図 3-96 転出後の出身家庭への援助の有無（単一回答）／学校の種類別



4. 前回調査結果との比較

4. 前回調査結果との比較

4-1. 基本属性

回答者の基本属性は、前回調査と比較して性別、同居している家族、現在通っている学校の種類・学年、学部（学科）・専門の構成割合は、概ね同様の傾向となっており、大きな変化はみられない。

図 4-1 <前回調査比較>回答者の性別

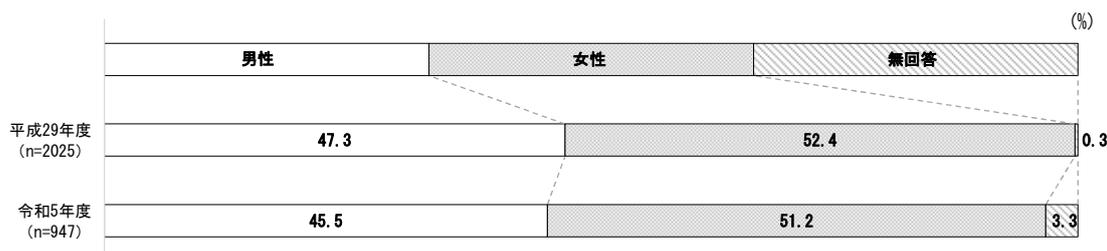


図 4-2 <前回調査比較>回答者の年齢

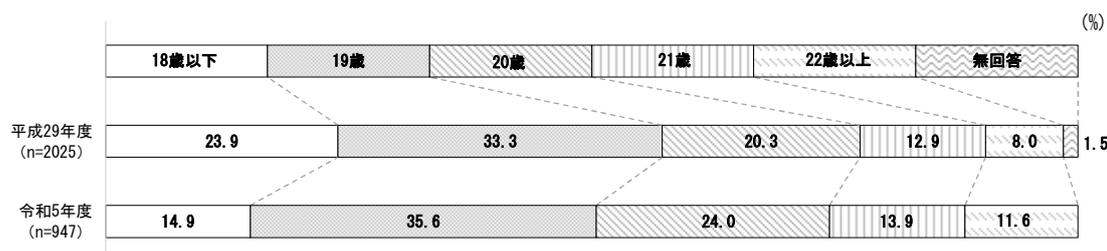


図 4-3 <前回調査比較>家族続柄

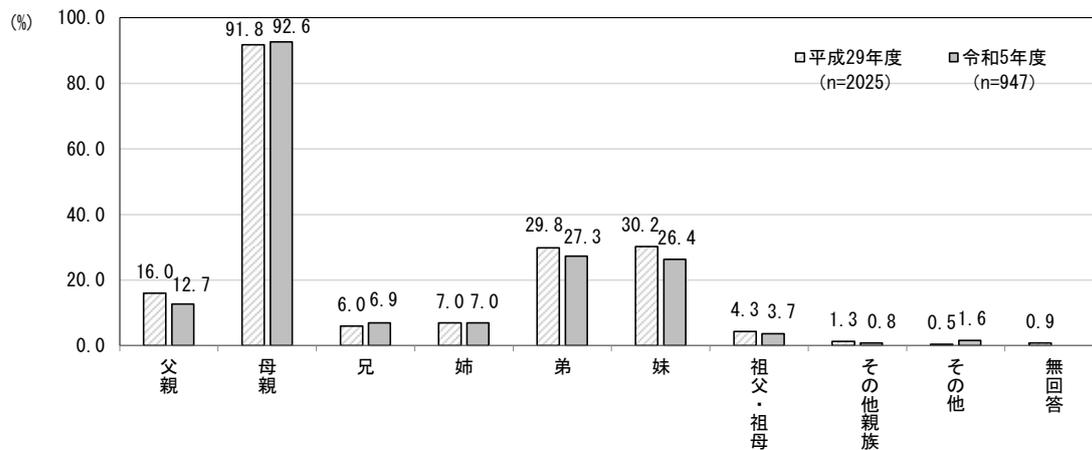


図 4-4 <前回調査比較>通っている学校種類

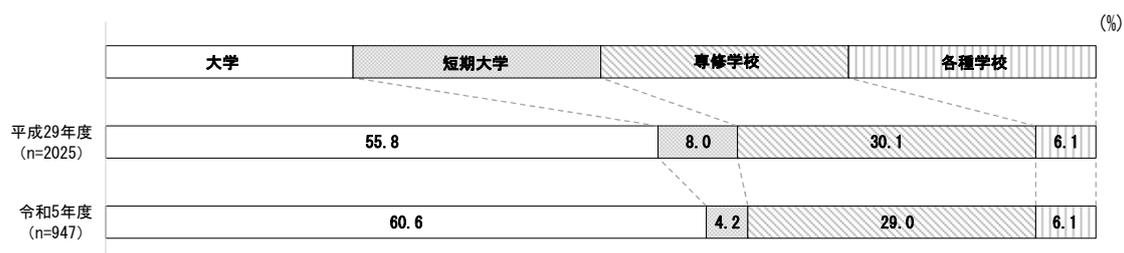


図 4-5 <前回調査比較>通っている学校での学年

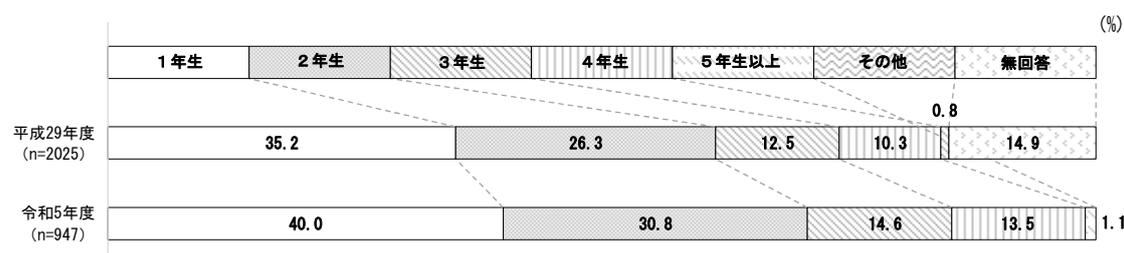


図 4-6 <前回調査比較>通っている大学・短期大学の学部（学科）

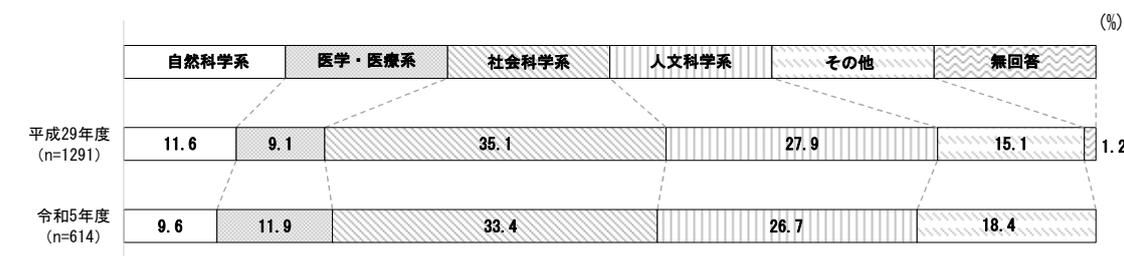
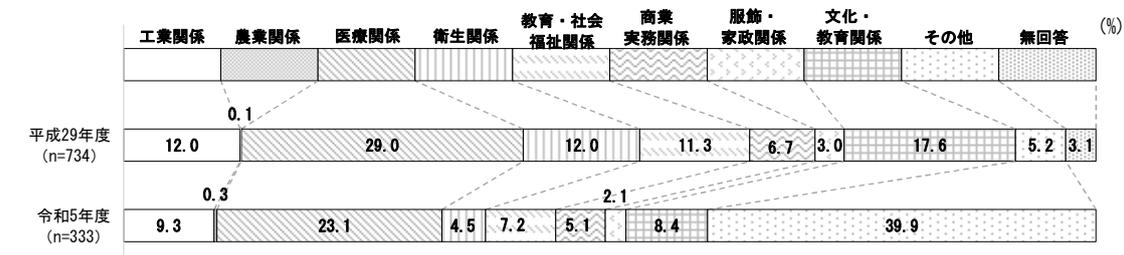


図 4-7 <前回調査比較>通っている専修学校等の専門別



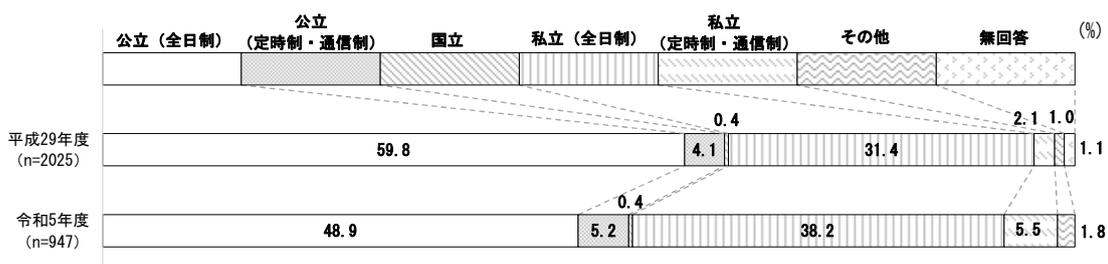
4-2. 現在の学校に通う前について

(1) 高校等への進学について

【問5】あなたが通っていた高校等は、次のうちどれにあてはまりますか。

通っていた高校の種類については、「公立（全日制）」が10.9ポイント減少し、「私立（全日制）」が6.8ポイント増加している。

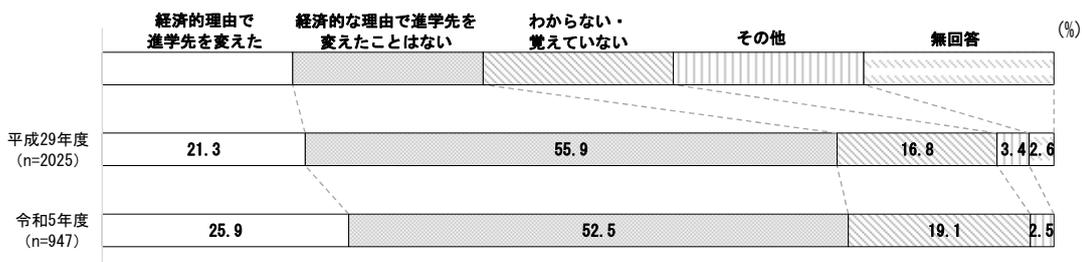
図4-8 <前回調査比較>通っていた高校の種類別



【問6】進学する高校等を決める際、経済的な理由で志望校を変えなければならなかったことがありますか。

進学する高校等を決める際に、経済的な理由で進学先を変えた経験の有無の割合に大きな変化はみられない。

図4-9 <前回調査比較>志望校変更理由

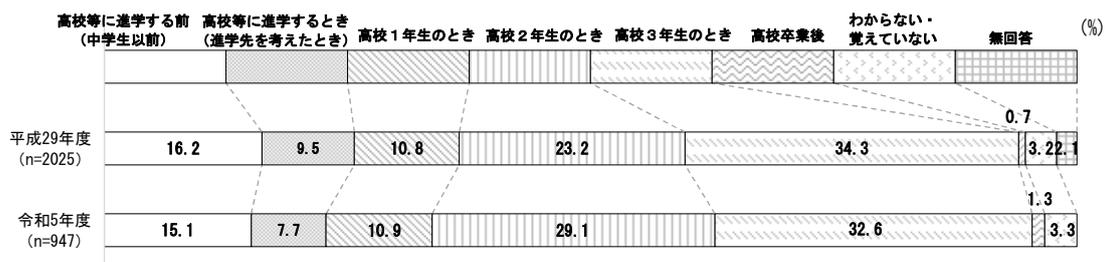


(2) 大学等への進学について

【問7】大学等への進学を、具体的に考え始めたのはいつ頃ですか。

大学等への進学検討時期については、概ね同様の傾向にあるが、「高校2年生のとき」が5.9ポイント増加している。

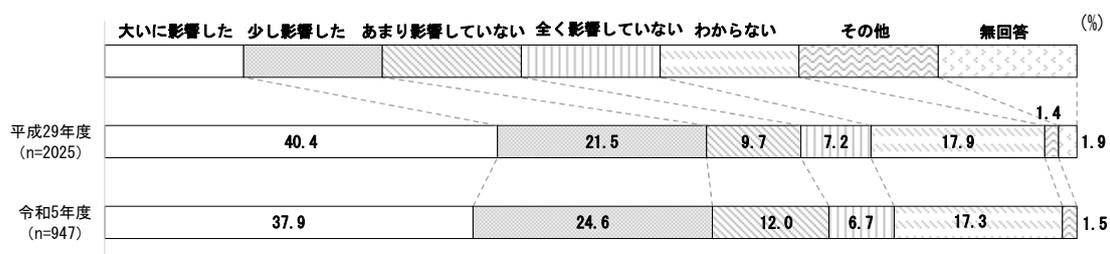
図4-10 <前回調査比較>進学検討時期



【問8】あなたが大学等に進学すると、出身家庭に支給される生活保護費が減額される、ということが進学するかを考える際に影響しましたか。

大学進学時の生活保護費減額の影響については、概ね同様の傾向となっており、大きな変化はみられない。

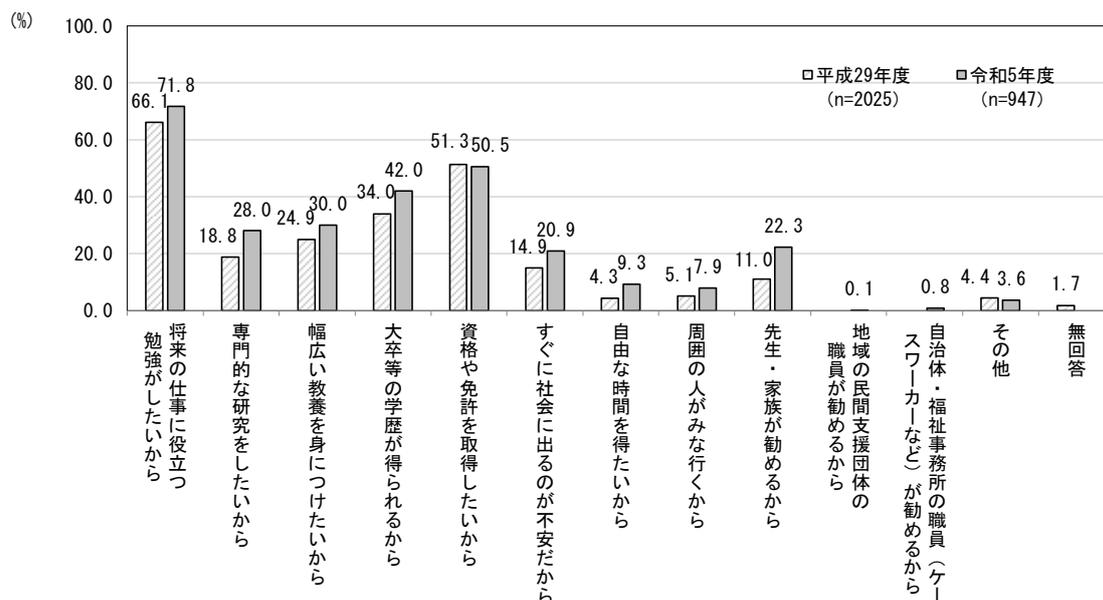
図4-11 <前回調査比較>大学進学時の生活保護費減額の影響



【問9】大学等に進学することを決めたのは、どのような理由からですか。(いくつでも)

大学等への進学を決めた理由については、上位3つの順位に変動はないが、「将来の仕事に役立つ勉強がしたいから」が5.7ポイント、「専門的な研究をしたいから」が9.2ポイント、「幅広い教養を身につけたいから」が5.1ポイント、「大卒等の学歴が得られるから」が8.0ポイント増加している。

図 4-12 <前回調査比較>進学先決定理由

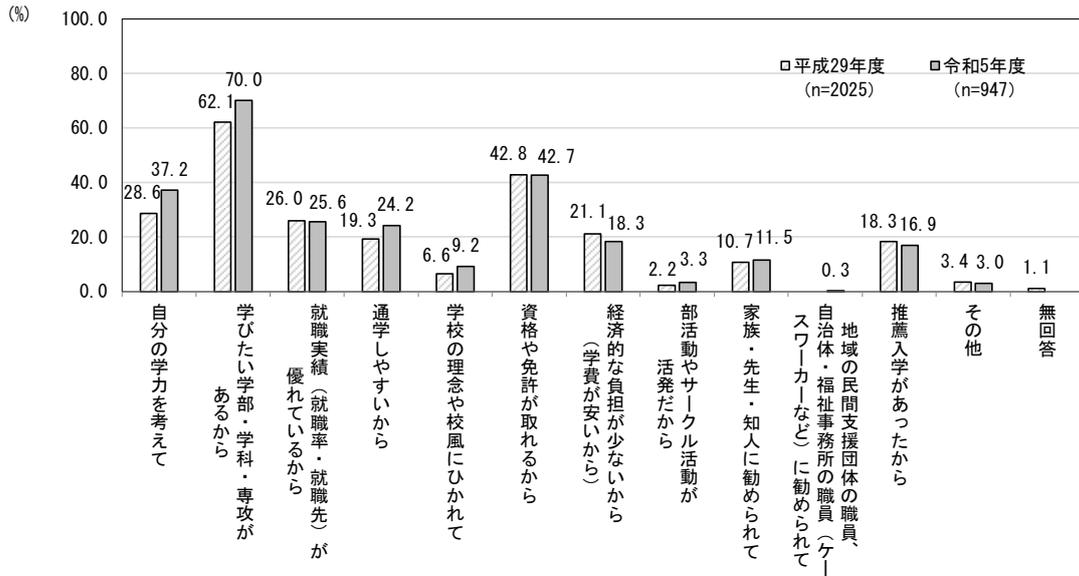


※「先生・家族が勧めるから」は、今回調査では「先生が勧めるから」「家族が勧めるから」に選択肢を分割しているが、ここでは前回調査との比較のために合算している。

【問 10】現在の進学先を選んだのは、どのような理由からですか。(いくつでも)

現在の進学先を選んだ理由については、上位3つの順位に変動はないが、「自分の学力を考えて」が8.6ポイント、「学びたい学部・学科・専攻があるから」が7.9ポイント増加している。

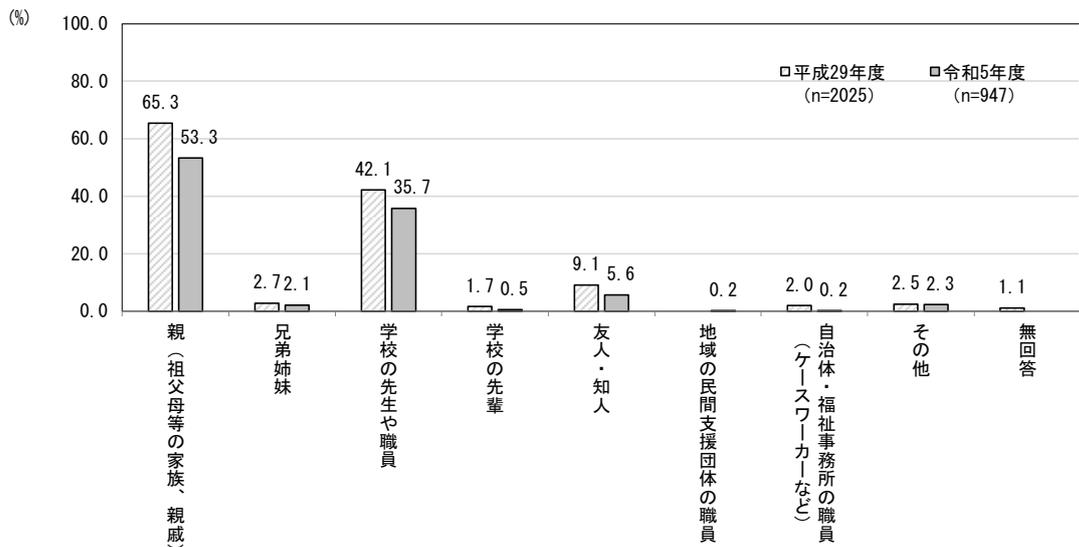
図 4-13 <前回調査比較>進学先志望理由



【問 11】進路に関する相談は、主に誰に対して行っていましたか。

主な進路相談者については、概ね同様の傾向にあるが、「親(祖父母等の家族、親戚)」が12.0ポイント、「学校の先生や職員」が6.4ポイント減少している。

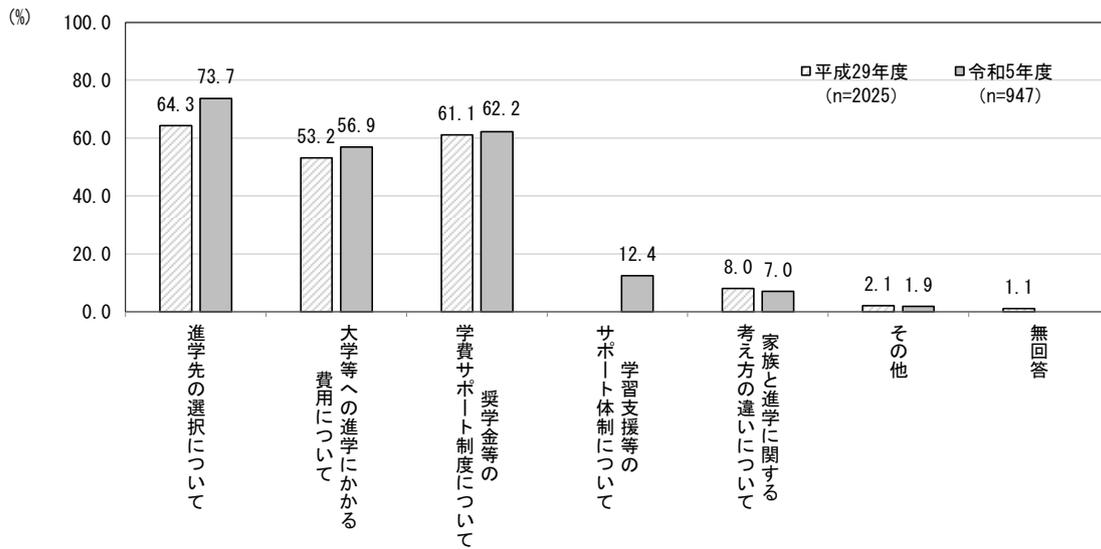
図 4-14 <前回調査比較>主な進路相談者



【問 12】 進路に関して、どのようなことを相談していましたか。(いくつでも)

進路についての相談内容については、上位3つの順位に変動はないが、「進学先の選択について」が9.4ポイント増加している。

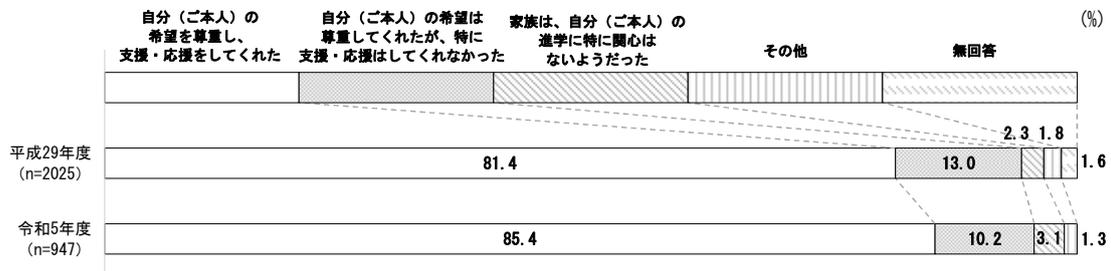
図 4-15 <前回調査比較>進路相談内容



【問 13】 大学等への進学について、ご家族はどのようなお考えでしたか。

進学に関する家族の意向については、「自分の希望を尊重し、支援・応援をしてくれた」の割合が微増、「自分の希望を尊重してくれただが、特に支援・応援はしてくれなかった」の割合が微減となっている。

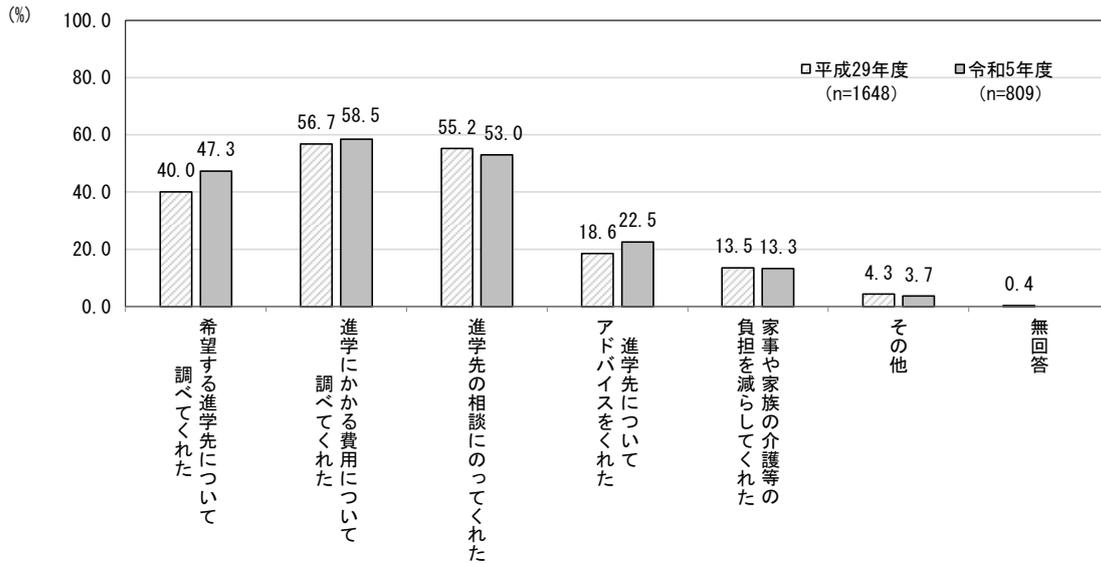
図 4-16 <前回調査比較>進学に関する家族の意向



【問 14】 ご家族が支援・応援をしてくれた方にお聞きします。大学等への進学について、ご家族からはどのような支援・応援がありましたか。(いくつでも)

進学に関する家族からの支援・応援については、上位3つの順位に変動はないが、「希望する進学先について調べてくれた」が7.3ポイント増加している。

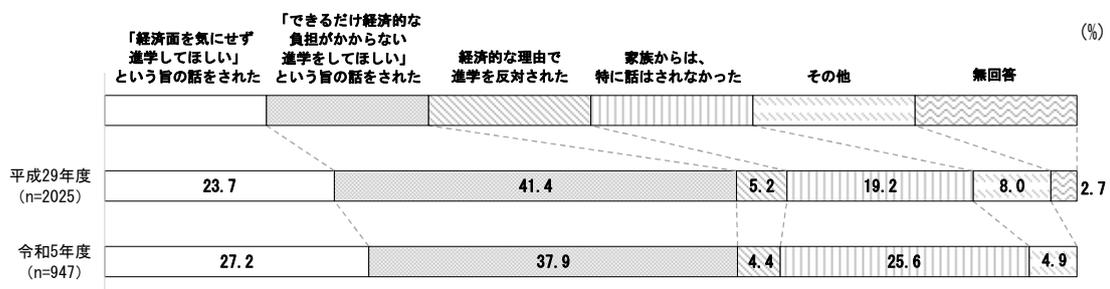
図 4-17 <前回調査比較>進学に関する家族支援



【問 15】 大学等への進学について、ご家族から経済面に関する話をされましたか。

進学に関する経済的な説明については、概ね同様の傾向にあるが、「家族からは、特に話はされなかった」が6.4ポイント増加している。

図 4-18 <前回調査比較>進学に関する経済的な説明

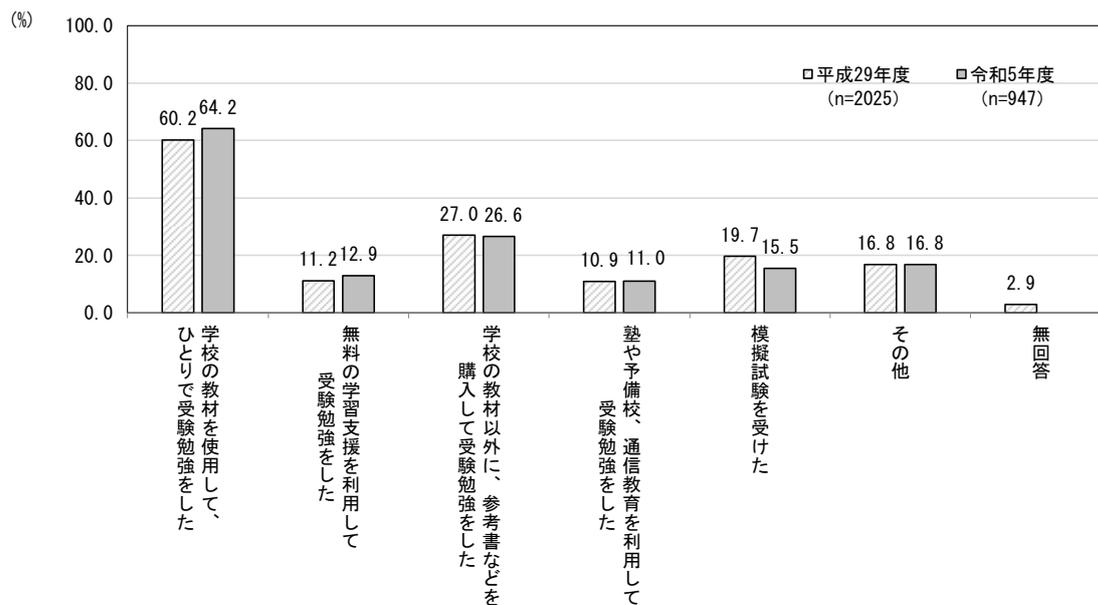


(3) 受験に関することについて

【問 16】 受験勉強はどのように進めましたか。(いくつでも)

受験勉強の進め方については、上位3つの順位に変動はなく、大きな変化はみられない。

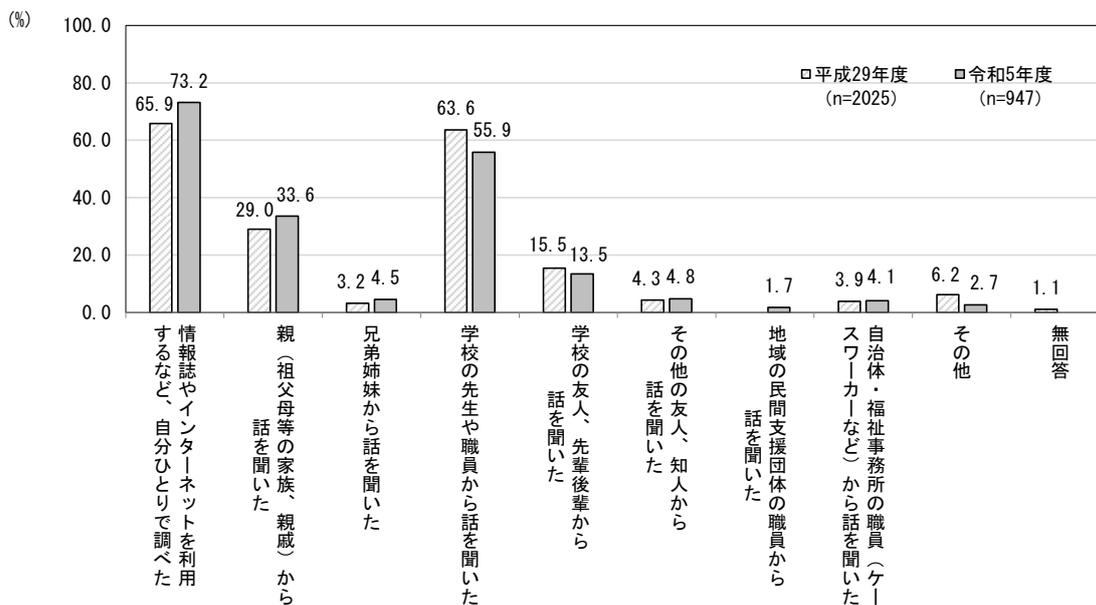
図 4-19 <前回調査比較> 受験勉強の進め方



【問 17】進学にかかる費用や受験・進学先に関して、どのようにして情報を入手しましたか。(いくつでも)

進学に関する情報収集方法については、上位3つの順位に変動はないが、「情報誌やインターネットを利用するなど、自分ひとりで調べた」が7.3ポイント、「親から話を聞いた」が4.6ポイント増加し、「学校の先生や職員から話を聞いた」が7.7ポイント減少している。

図 4-20 <前回調査比較>進学に関する情報収集方法

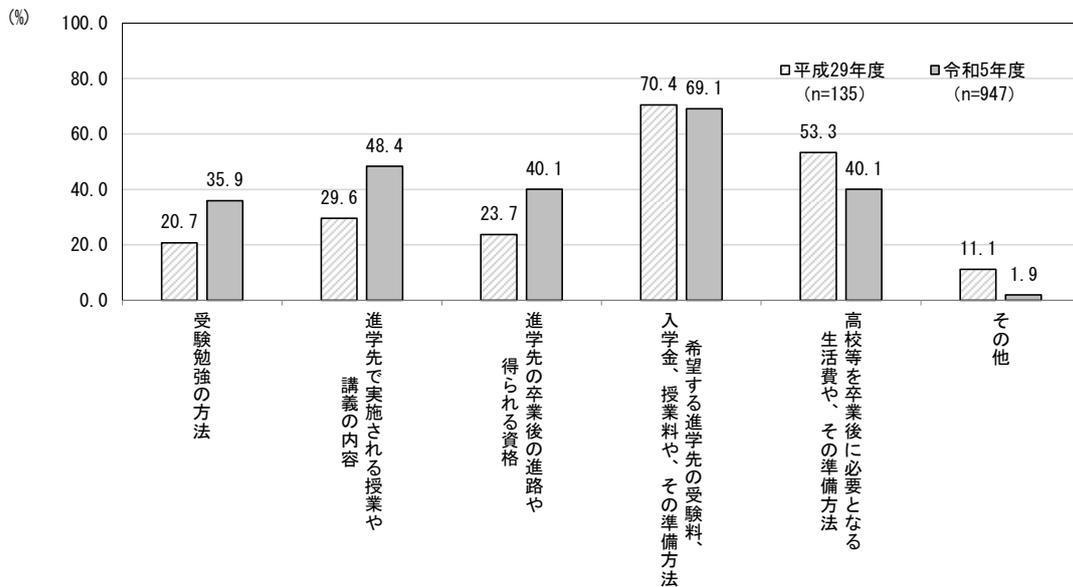


【問 18】 進学にかかる費用や受験・進学先に関して、どのような情報が得られるとよかったですか。(いくつでも)

進学に関する希望情報については、「希望する進学先の受験料、入学金、授業料や、その準備方法」「進学先で実施される授業や講義の内容」「進学先の卒業後の進路や得られる資格」および「高校等を卒業後に必要となる生活費や、その準備方法」の順となっている。前回調査では、「希望する進学先の受験料、入学金、授業料や、その準備方法」「高校等を卒業後に必要となる生活費や、その準備方法」「進学先で実施される授業や講義の内容」の順であった。

特に、「受験勉強の方法」「進学先で実施される授業や講義の内容」「進学先の卒業後の進路や得られる資格」は、それぞれ 15.0 ポイント以上増加している。

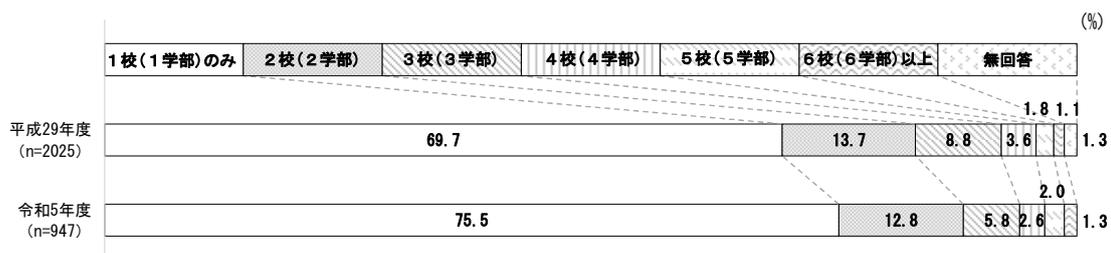
図 4-21 <前回調査比較> 進学に関する希望情報



【問 19】 現在の進学先を含めて、いくつの学校（学部）を受験しましたか。

受験学校学部数については、概ね同様の傾向にあるが、「1校（1学部）のみ」が 5.8 ポイント増加している。

図 4-22 <前回調査比較> 受験学校学部数

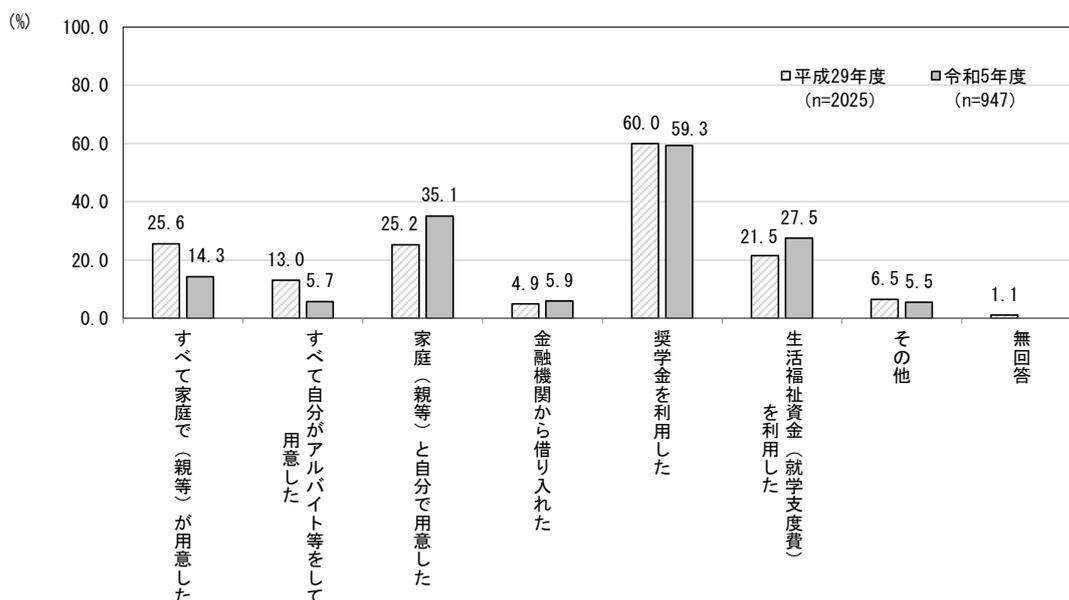


【問 21】 受験や入学に要する費用は、どのように準備しましたか。(いくつでも)

受験や入学に要する費用の準備方法については、「奨学金を利用した」「家庭（親等）と自分で用意した」「生活福祉資金（就学支度費）を利用した」の順となっている。前回調査では、「奨学金を利用した」「すべて家庭で（親等）が用意した」「家庭（親等）と自分で用意した」の順であった。

特に、「すべて家庭で（親等）が用意した」「すべて自分がアルバイト等をして用意した」がそれぞれ 5.0 ポイント以上減少し、「家庭（親等）と自分で用意した」「生活福祉資金（就学支度費）を利用した」がそれぞれ 5.0 ポイント以上増加している。

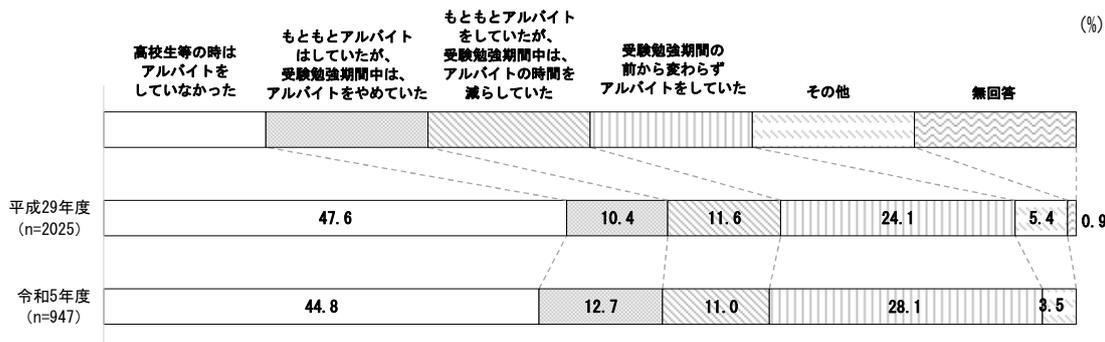
図 4-23 <前回調査比較> 受験入学費用準備方法



【問 22】 受験勉強をしている頃、アルバイトはしていましたか。

受験勉強をしている頃のアルバイトの有無については、概ね同様の傾向となっており、大きな変化はみられない。

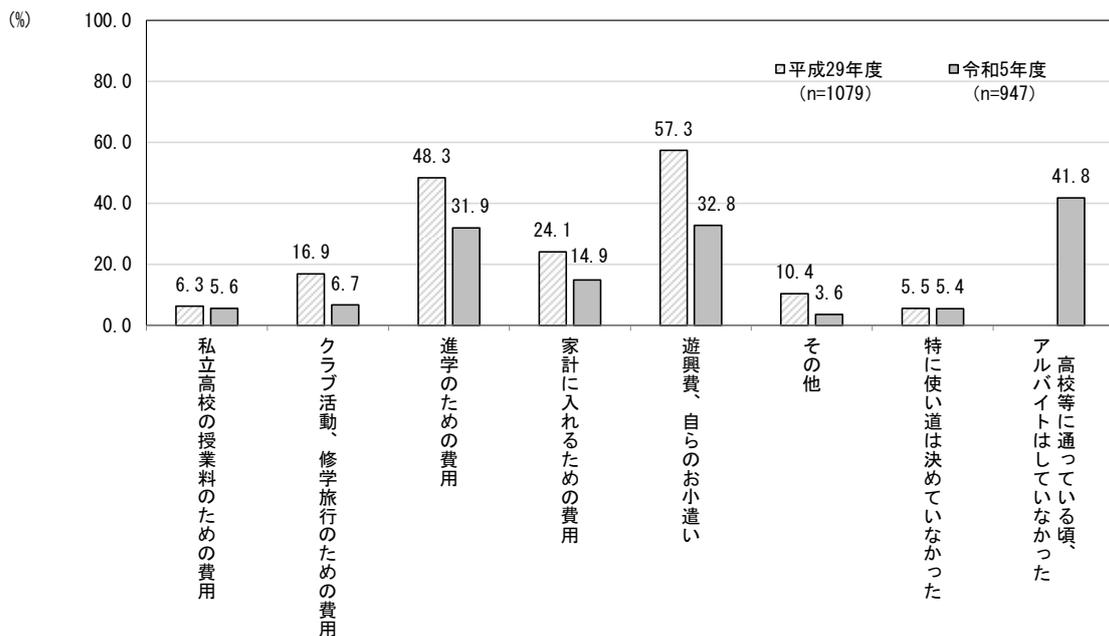
図 4-24 <前回調査比較> 受験勉強時アルバイト有無（単一回答）



【問 23】 高校等に通っている頃のアルバイト収入の主な使い道は何でしたか。(いくつでも)

アルバイト収入の主な使い道については、上位3つの順位に変動はないが、「クラブ活動、修学旅行のための費用」「進学のための費用」「家計に入れるための費用」「遊興費、自らのお小遣い」のいずれも10ポイント以上減少している。

図 4-25 <前回調査比較>アルバイト収入の主な使い道

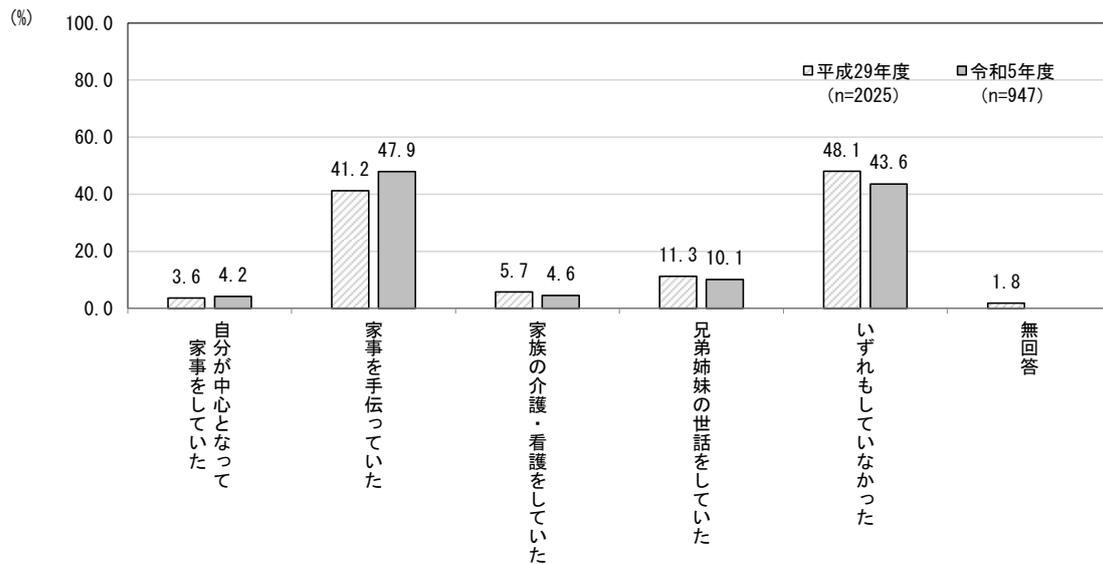


※本設問は、今回調査では「高校等に通っている頃、アルバイトはしていなかった」を含めた選択肢で全員に質問している。前回調査ではアルバイトをしているのみを対象に質問している。

【問 24】 受験勉強をしている頃、家族の状況（傷病や就労等）を理由に、家事、家族の介護・看護をしていましたか。（いくつでも）

受験勉強時の家事・介護・看護の有無については、上位3つの順位に変動はないが、「家事を手伝っていた」が6.7ポイント増加している。「いずれもしていなかった」は4.5ポイント減少している。

図 4-26 <前回調査比較> 受験勉強時の家事・介護・看護の有無



4-3. 現在の生活状況について

(1) 経済的な状況について

【問 25】 現在、出身家庭から学費・生活費の援助を受けていますか。

就学費用援助の有無については、「受けていない」が4.0ポイント減少し、「受けている」が9.6ポイント増加している。

図 4-27 <前回調査比較> 就学費用援助の有無

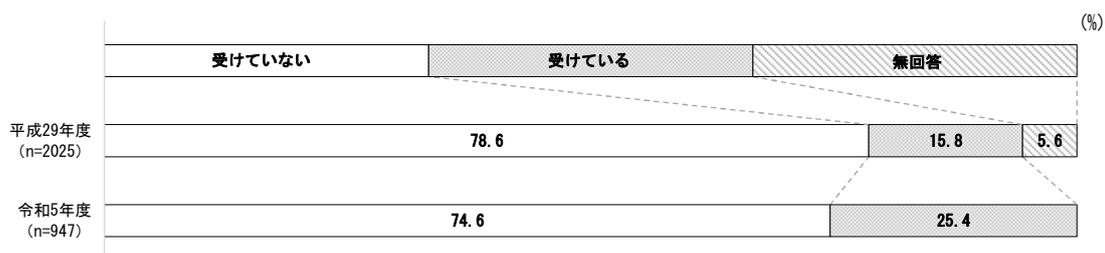
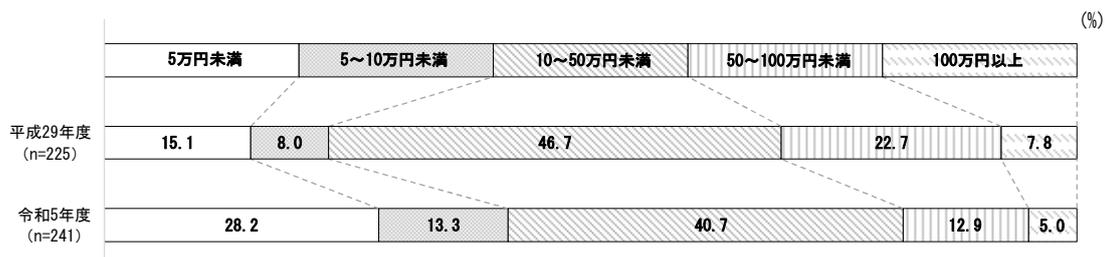


図 4-28 <前回調査比較> 就学費用援助の金額（年間）



【問 26】 奨学金等を利用していますか。

奨学金の利用状況については、「奨学金等を利用している」が 8.9 ポイント増加し、「奨学金等を利用していない」が 4.8 ポイント減少している。

利用している奨学金をみると、「日本学生支援機構の給付型奨学金」が 87.4 ポイント増加し、「日本学生支援機構の貸与型奨学金」は 12.7 ポイント減少しているが、日本学生支援機構の奨学金利用が多くなっている。

図 4-29 <前回調査比較> 奨学金利用の有無

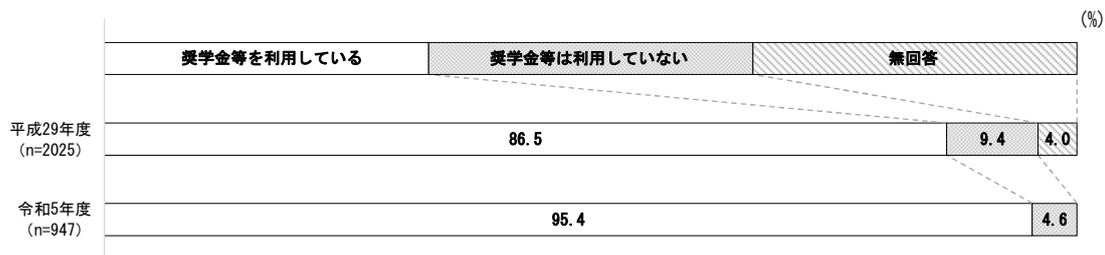


図 4-30 <前回調査比較> 利用している奨学金

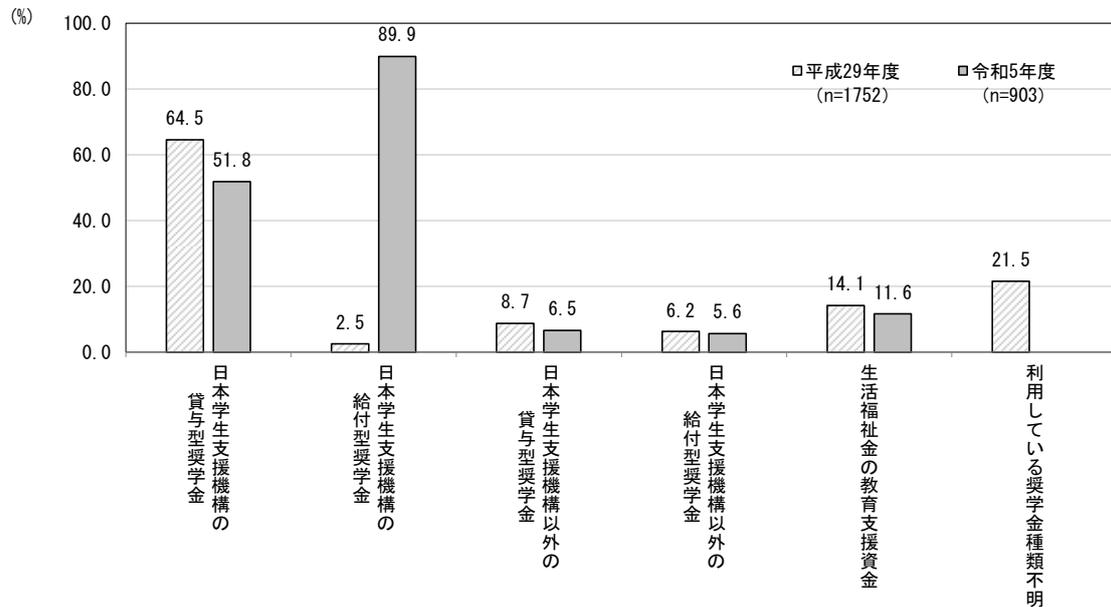
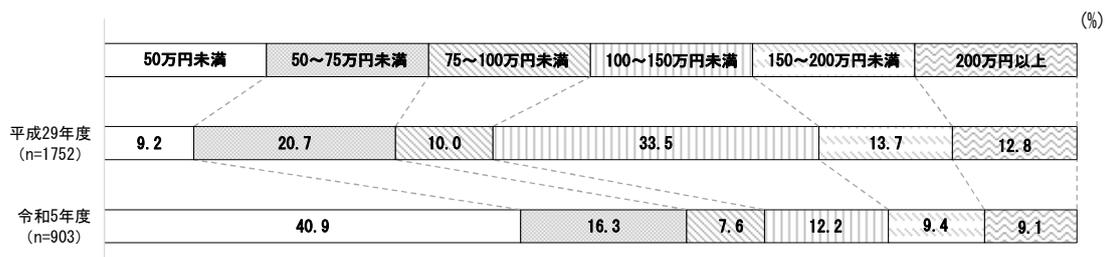


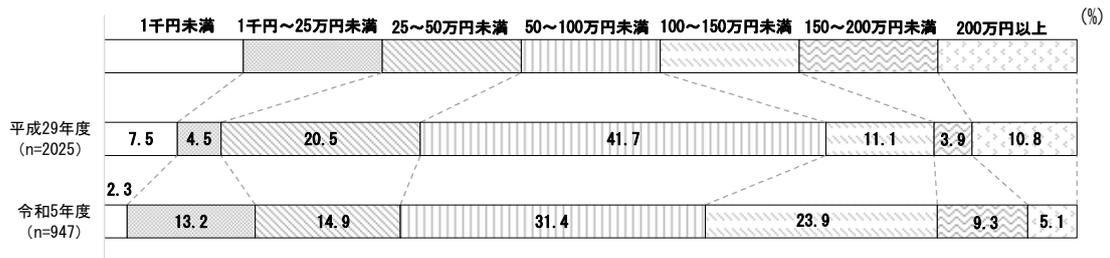
図 4-31 <前回調査比較> 利用している奨学金年間受給額 (合計)



【問 27】 大学等に納付する授業料や通学費等について、年間必要となる額について記入してください。（半角数字でご記入ください）

大学等に納付する年間必要額については、「50～100万円未満」「100～150万円未満」の割合が多くなっている。

図 4-32 <前回調査比較>大学等に納付する年間必要金額（合計）

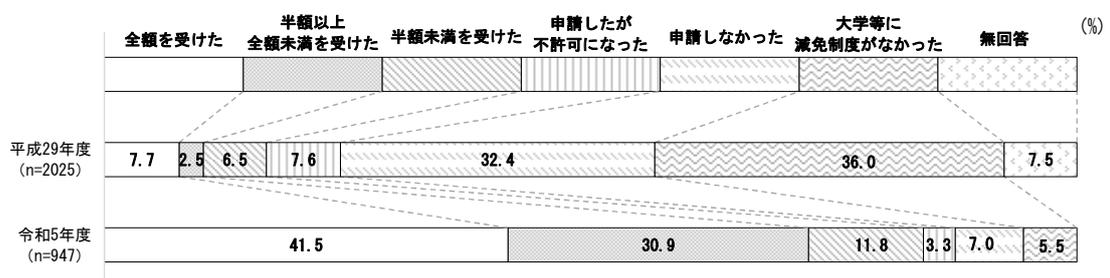


【問 28】 大学等の授業料減免制度を受けていますか。令和5年度前期分についてお答えください。

令和5年度授業料の減免制度の利用については、「全額を受けた」が33.8ポイント、「半額以上全額未満を受けた」が28.4ポイント、「半額未満を受けた」が5.3ポイント増加している。また、「申請しなかった」が25.4ポイント「大学等に減免制度がなかった」が30.5ポイント減少している。

半額以上を受けた割合でみると、今回調査では72.4%、前回調査では10.2%と62.2ポイント増加している。

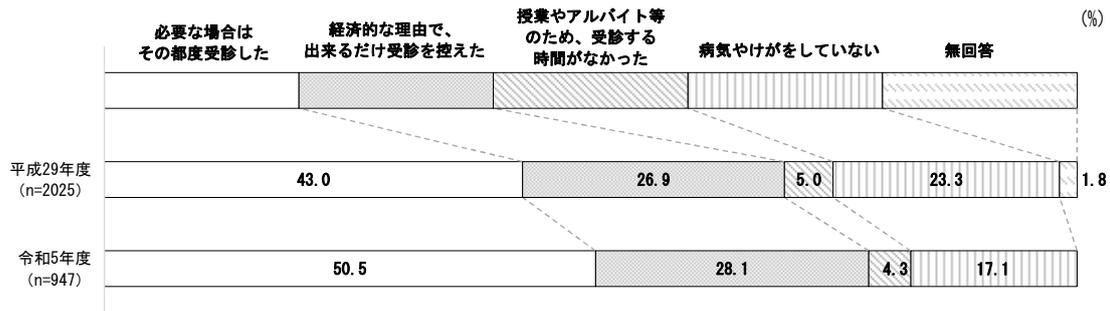
図 4-33 <前回調査比較>令和5年度前期授業料減免制度の受用有無



【問 29】 この 1 年間、病気(風邪を含む)やけがをした場合、医療機関を受診しましたか。

医療機関の受診の有無については、概ね同様の傾向にあるが、「必要な場合はその都度受診した」が 7.5 ポイント増加している。

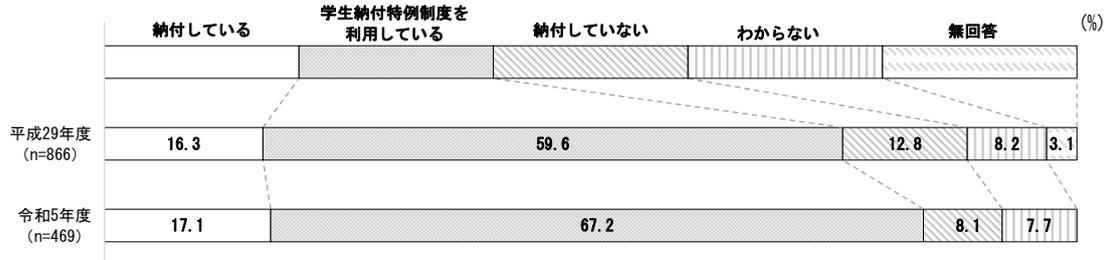
図 4-34 <前回調査比較>医療機関受診の有無



【問 30】 20 歳以上の方のみにお聞きします。国民年金保険料を納付していますか。

国民年金保険料の納付の有無については、「学生納付特例制度を利用している」が 7.6 ポイント増加している。

図 4-35 <前回調査比較>国民年金保険料納付の有無



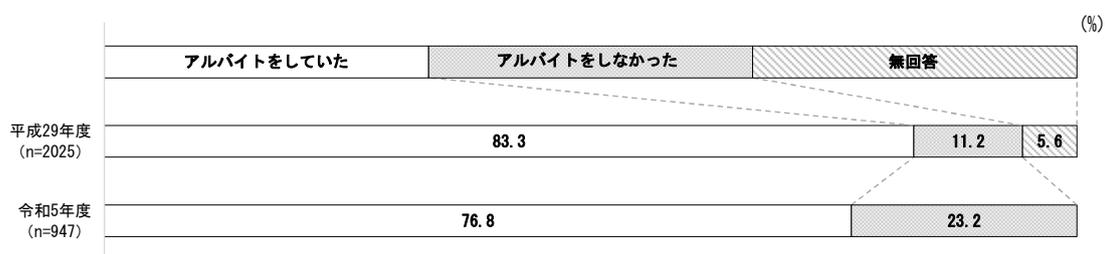
(2) アルバイトの状況について

**【問 31】 最近 1 年間、授業期間中や長期休暇中にアルバイトをしましたか。
アルバイトをした方は、1 日あたりの平均的な労働時間と 1 か月あたりの平均的な就
労日数、1 か月あたりの収入額をお答えください。**

アルバイトの状況については、「アルバイトをしていた」が 6.5 ポイント減少し、「アルバイトをしなかった」が 12.0 ポイント増加している。

授業期間・長期休暇中の平均的な労働状況については、概ね同様の傾向となっている。1 か月あたりの平均収入は、今回調査では 6 万 5 千円程度、前回調査では 6 万円程度であった。

図 4-36 <前回調査比較>アルバイトの有無



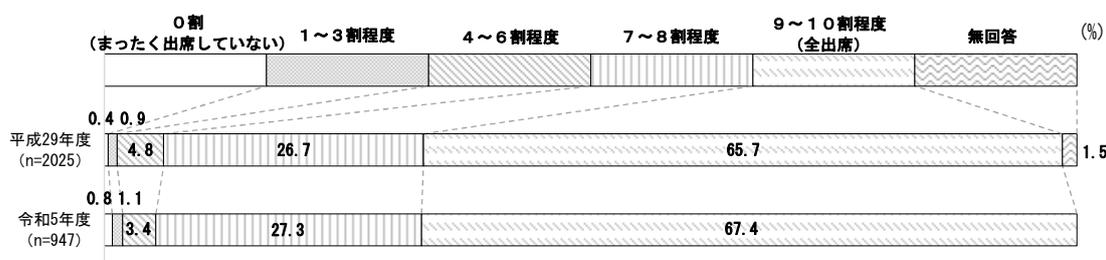
		授業期間 (平日)	授業期間 (休日)	長期休暇中
平均労働時間／日	平成 29 年度	4.4 時間	6.1 時間	6.2 時間
	令和 5 年度	4.3 時間	5.8 時間	5.9 時間
平均就労日数／月	平成 29 年度	10.2 日	5.5 日	15.3 日
	令和 5 年度	9.3 日	5.6 日	13.1 日

(3) 学生生活について

【問 33】 学校の授業に平均してどれくらいの割合で出席していますか。

授業出席の割合については、概ね同様の傾向となっており、大きな変化はみられない。

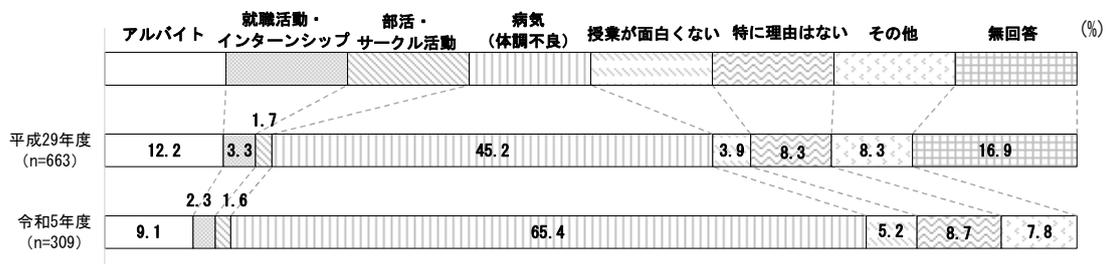
図 4-37 <前回調査比較> 授業出席の割合



【問 34】 授業に出席しなかったことがある方にお聞きします。授業に出席しなかった主な理由は何ですか。

授業欠席の主な理由は、「病気（体調不良）」が 20.2 ポイント増加している。

図 4-38 <前回調査比較> 授業欠席の主な理由

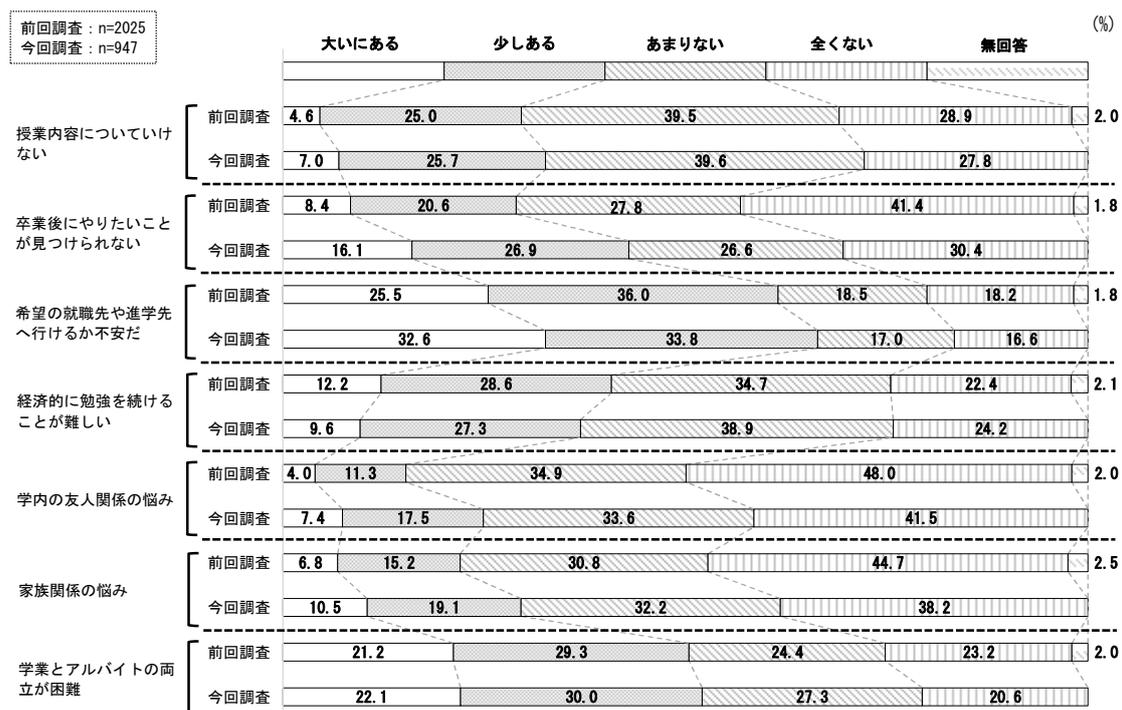


【問 35】 学生生活について、次のような悩みや不安はありますか。

学生生活に関する悩みや不安について、不安が「大いにある」割合が高いのは、「希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ」「学業とアルバイトの両立が困難」「卒業後にやりたいことが見つけられない」の順となっている。前回調査では、「希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ」「学業とアルバイトの両立が困難」「経済的に勉強を続けることが難しい」の順であった。

特に、「卒業後にやりたいことが見つけられない」では、「大いにある」「少しある」がそれぞれ5.0ポイント以上増加しており、「全くない」が減少している。「希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ」では、「大いにある」が5.0ポイント以上増加している。「学内の友人関係の悩み」では、「少しある」が5.0ポイント以上増加しており、「全くない」が減少している。

図 4-39 <前回調査比較>学生生活に関する悩みや不安

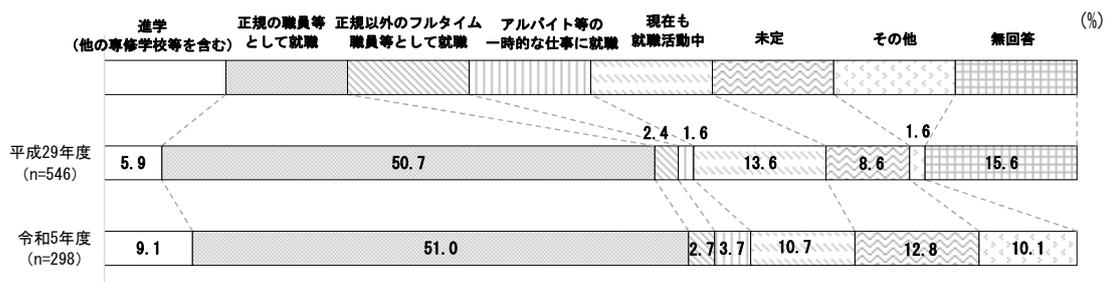


4-4. 卒業後の見込みについて

【問 36】 今年度卒業見込みの方にお聞きします。11月1日現在の卒業後進路をお答えください。

卒業後の進路については、概ね同様の傾向となっており、大きな変化はみられない。

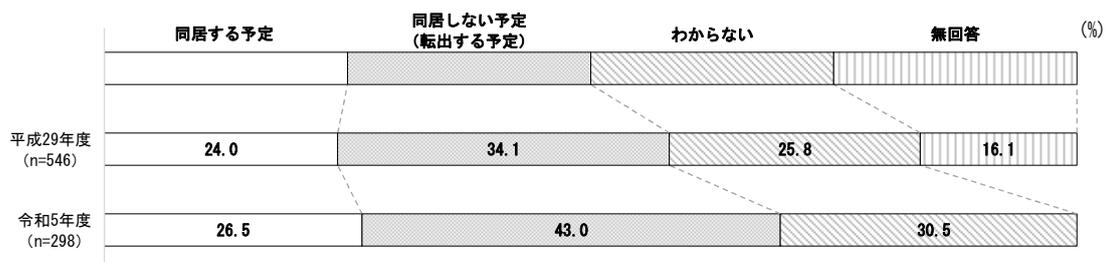
図 4-40 <前回調査比較>卒業後の進路



【問 37】 今年度卒業見込みの方にお聞きします。卒業後は、出身家庭で親と同居しますか。

卒業後の親との同居については、「同居する予定」が2.5ポイント増加し、「同居しない予定（転出する予定）」が8.9ポイント増加している。

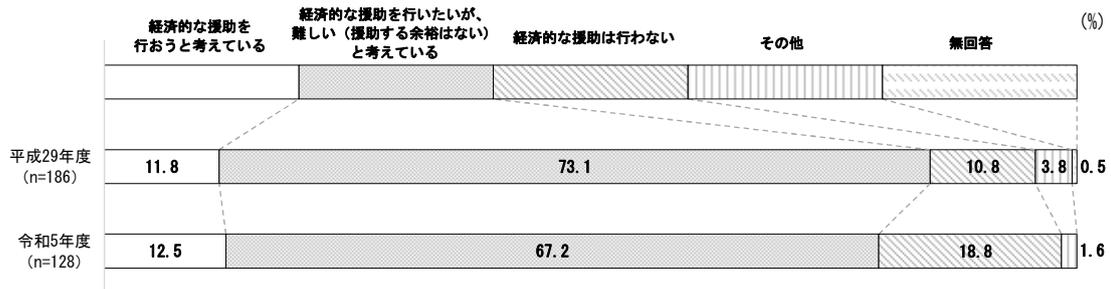
図 4-41 <前回調査比較>卒業後の親との同居有無



【問 38】同居しない予定（転出する予定）の方にお聞きします。転出後、出身家庭に経済的な援助を行おうと考えていますか。

転出後の出身家庭への援助については、「経済的な援助を行いたいが、難しい（援助する余裕はない）」が5.9ポイント減少し、「経済的な援助は行わない」が8.0ポイント増加している。

図 4-42 <前回調査比較> 転出後の出身家庭への援助の有無



5. 資料編

5. 資料編

5-1. 調査票

学生生活に関する実態調査	
<p>1. 回答は以下のようにお願いします。 調査対象となる皆さまのご回答が、今後の生活保護世帯の子ども達の大学等への進学を含めた自立支援を検討する上で、必要不可欠な基礎資料となりますので、何卒最後までご回答頂きますようお願いいたします。</p> <p>【1】選択肢として回答が用意されている場合は、該当するものを選んでください。 【2】質問によって選択肢をひとつだけ選ぶものと、複数選ぶものがあります。 【3】選択肢が用意されていない質問は、回答欄に具体的な内容を入力してください。 【4】回答を始めたら、最後の質問までなるべく一度に答えてください。 【5】前の画面に戻る操作をすると、回答が消える場合があります。 【6】回答が消えたら、識別IDを使ってログイン直してから回答し直してください。</p> <p>2. この調査は、厚生労働省から委託を受けた（株）富士通総研が行います。 3. 調査に不明・不安な点があれば、回答依頼ハガキに記載してある問合せ窓口（◆お問合せ先）に連絡してください。</p>	
Q1	あなたの性別をお答えください。
	1 男性 2 女性 3 回答しない
Q1-1	あなたの年齢をお答えください。
	1 年齢（令和5年4月1日現在）[○○]歳
Q2	現在、同居しているご家族について、あなたから見た続柄をお答えください。（いくつでも）
	1 父親 2 母親 3 兄 4 姉 5 弟 6 妹 7 祖父・祖母 8 その他親族 9 その他：[○○]
Q2-1	前問でお答えの以下のご家族について、それぞれ何人いらっしゃいますか。
	1 兄[○○]人 2 姉[○○]人 3 弟[○○]人 4 妹[○○]人 5 祖父・祖母[○○]人 6 その他親族[○○]人
Q3-1	現在通っている学校の種類と、あなたの学年をお答えください。【学校の種類】
	見出し 学校の種類 1 大学 2 短期大学 3 専修学校 4 各種学校

Q3-2	現在通っている学校の種類と、あなたの学年をお答えください。【学年】	
	見出し	学年 1 1年生 2 2年生 3 3年生 4 4年生 5 5年生以上
Q4-1	現在通っている学校の学部（学科）をお答えください。	
	見出し	<大学・短期大学> 学部（学科） 1 自然科学系（理学部、農学部・獣医・畜産系学部、水産学部、工学部等） 2 医学・医療系（医学部、歯学部、薬学部、看護学部、栄養学部等） 3 社会科学系（法学部、経済学部・経営学部・商学部、国際関係学部、社会学部・社会福祉学部等） 4 人文科学系（文学部、外国語学部、人文学部・教養学部・人間科学部、教育学部等） 5 その他：[○○]
Q4-2	現在通っている学校の専門をお答えください。	
	見出し	<専修学校等> 専門 1 工業関係 2 農業関係 3 医療関係 4 衛生関係 5 教育・社会福祉関係 6 商業実務関係 7 服飾・家政関係 8 文化・教育関係 9 その他：[○○]
Q5-1	あなたが通っていた高校等は、次のうちどれにあてはまりますか。【学校の種類】	
	見出し	学校の種類 1 公立（全日制） 2 公立（定時制・通信制） 3 国立 4 私立（全日制） 5 私立（定時制・通信制） 6 その他：[○○]
Q5-2	あなたが通っていた高校等は、次のうちどれにあてはまりますか。【学科】	
	見出し	学科 1 普通科 2 工業科 3 商業科 4 総合学科 5 農業科 6 家庭科 7 その他：[○○]

Q6	進学する高校等を決める際、経済的な理由で志望校を変えなければならなかったことがありますか。
	<ul style="list-style-type: none"> 1 経済的理由で進学先を変えた 2 経済的な理由で進学先を変えたことはない 3 わからない・覚えていない 4 その他：[○○]
Q7	大学等への進学を、具体的に考え始めたのはいつ頃ですか。
	<ul style="list-style-type: none"> 1 高校等に進学する前（中学生以前） 2 高校等に進学するとき（進学先を考えたとき） 3 高校 1 年生のとき 4 高校 2 年生のとき 5 高校 3 年生のとき 6 高校卒業後 7 わからない・覚えていない
Q8	あなたが大学等に進学すると、出身家庭に支給される生活保護費が減額される、ということが進学するかを考える際に影響しましたか。
	<ul style="list-style-type: none"> 1 大いに影響した 2 少し影響した 3 あまり影響していない 4 全く影響していない 5 わからない 6 その他：[○○]
Q9	大学等に進学することを決めたのは、どのような理由からですか。（いくつでも）
	<ul style="list-style-type: none"> 1 将来の仕事に役立つ勉強がしたいから 2 専門的な研究をしたいから 3 幅広い教養を身につけたいから 4 大卒等の学歴が得られるから 5 資格や免許を取得したいから 6 すぐに社会に出るのが不安だから 7 自由な時間を得たいから 8 周囲の人がみな行くから 9 先生が勧めるから 10 家族が勧めるから 11 地域の民間支援団体の職員が勧めるから 12 自治体・福祉事務所の職員（ケースワーカーなど）が勧めるから 13 その他：[○○]
Q10	現在の進学先を選んだのは、どのような理由からですか。（いくつでも）
	<ul style="list-style-type: none"> 1 自分の学力を考えて 2 学びたい学部・学科・専攻があるから 3 就職実績（就職率・就職先）が優れているから 4 通学しやすいから 5 学校の理念や校風にひかれて 6 資格や免許が取れるから 7 経済的な負担が少ないから（学費が安いから） 8 部活動やサークル活動が活発だから 9 家族・先生・知人に勧められて 10 地域の民間支援団体の職員、自治体・福祉事務所の職員（ケースワーカーなど） 11 推薦入学があったから 12 その他：[○○]

Q11	進路に関する相談は、主に誰に対して行っていましたか。
	<ul style="list-style-type: none"> 1 親（祖父母等の家族、親戚） 2 兄弟姉妹 3 学校の先生や職員 4 学校の先輩 5 友人・知人 6 地域の民間支援団体の職員 7 自治体・福祉事務所の職員（ケースワーカーなど） 8 その他：[○○]
Q12	進路に関して、どのようなことを相談していましたか。（いくつでも）
	<ul style="list-style-type: none"> 1 進学先の選択について 2 大学等への進学にかかる費用について 3 奨学金等の学費サポート制度について 4 学習支援等のサポート体制について 5 家族と進学に関する考え方の違いについて 6 その他：[○○]
Q13	大学等への進学について、ご家族はどのようなお考えでしたか。
	<ul style="list-style-type: none"> 1 自分（ご本人）の希望を尊重し、支援・応援してくれた 2 自分（ご本人）の希望は尊重してくれたが、特に支援・応援はしてくれなかった 3 家族は、自分（ご本人）の進学に特に関心はないようだった 4 その他：[○○]
Q14	ご家族が支援・応援してくれた方にお聞きます。 大学等への進学について、ご家族からはどのような支援・応援がありましたか。（いくつでも）
	<ul style="list-style-type: none"> 1 希望する進学先について調べてくれた 2 進学にかかる費用について調べてくれた 3 進学先の相談にのってくれた 4 進学先についてアドバイスをくれた 5 家事や家族の介護等の負担を減らしてくれた 6 その他：[○○]
Q15	大学等への進学について、ご家族から経済面に関する話をされましたか。
	<ul style="list-style-type: none"> 1 「経済面を気にせず進学してほしい」という旨の話をされた 2 「できるだけ経済的な負担がかからない進学してほしい」という旨の話をされた 3 経済的な理由で進学を反対された（「進学をあきらめてほしい」という旨の話をされた） 4 家族からは、特に話はされなかった 5 その他：[○○]

Q16	受験勉強はどのように進めましたか。(いくつでも)
	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校の教材を使用して、ひとりで受験勉強をした 2 無料の学習支援を利用して受験勉強をした 3 学校の教材以外に、参考書などを購入して受験勉強をした 4 塾や予備校、通信教育を利用して受験勉強をした 5 模擬試験を受けた 6 その他：[<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>]
Q16-1	無料の学習支援を利用して受験勉強をした方にお聞きます。 どのような方法を主に利用しましたか。
	<ol style="list-style-type: none"> 1 自治体等の行政サービス 2 地域の民間支援サービス 3 インターネットサービス（オンライン配信、YouTube等） 4 その他：[<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>]
Q17	進学にかかる費用や受験・進学先に関して、どのようにして情報を入手しましたか。(いくつでも)
	<ol style="list-style-type: none"> 1 情報誌やインターネットを利用するなど、自分ひとりで調べた 2 親（祖父母等の家族、親戚）から話を聞いた 3 兄弟姉妹から話を聞いた 4 学校の先生や職員から話を聞いた 5 学校の友人、先輩後輩から話を聞いた 6 その他の友人、知人から話を聞いた 7 地域の民間支援団体の職員から話を聞いた 8 自治体・福祉事務所の職員（ケースワーカーなど）から話を聞いた 9 その他：[<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>]
Q18	進学にかかる費用や受験・進学先に関して、どのような情報が得られるとよかったですか。(いくつでも)
	<ol style="list-style-type: none"> 1 受験勉強の方法 2 進学先で実施される授業や講義の内容 3 進学先の卒業後の進路や得られる資格 4 希望する進学先の受験料、入学金、授業料や、その準備方法 5 高校等を卒業後に必要となる生活費や、その準備方法 6 その他：[<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>]
Q19	現在の進学先を含めて、いくつの学校（学部）を受験しましたか。 ※ 1校で複数学部を受験した場合は、受験した学部数をお答えください。
	<ol style="list-style-type: none"> 1 1校（1学部）のみ 2 2校（2学部） 3 3校（3学部） 4 4校（4学部） 5 5校（5学部） 6 6校（6学部）以上

Q20	受験や入学に関して、どれくらいの費用がかかりましたか。
	<ol style="list-style-type: none"> 1 受験の教材（参考書等）にかかった費用 約[○○]円 2 塾・予備校、通信教育にかかった費用 約[○○]円 3 受験料 約[○○]円 4 受験するためにかかった交通費・宿泊費 約[○○]円 5 入学金 約[○○]円 6 大学生活で必要になるパソコン 約[○○]円 7 大学生活で必要になる電話機（携帯電話・スマートフォンを含む） 約[○○]円 8 通学用の自転車・原動機付き自転車 約[○○]円 9 入学式用の衣類・鞆 約[○○]円
Q21	受験や入学に要する費用は、どのように準備しましたか。（いくつでも）
	<ol style="list-style-type: none"> 1 すべて家庭で（親等）が用意した 2 すべて自分がアルバイト等をして用意した 3 家庭（親等）と自分で用意した 4 金融機関から借り入れた 5 奨学金を利用した 6 生活福祉資金（就学支度費）を利用した 7 その他：[○○]
Q22	受験勉強をしている頃、アルバイトはしていましたか。
	<ol style="list-style-type: none"> 1 高校生等の時はアルバイトをしていなかった 2 もともとアルバイトはしていたが、受験勉強期間中は、アルバイトをやめていた 3 もともとアルバイトをしていたが、受験勉強期間中は、アルバイトの時間を減らしていた 4 受験勉強期間の前から変わらずアルバイトをしていた 5 その他：[○○]
Q23	高校等に通っている頃のアルバイト収入の主な使い道は何でしたか。（いくつでも）
	<ol style="list-style-type: none"> 1 私立高校の授業料のための費用 2 クラブ活動、修学旅行のための費用 3 進学のための費用 4 家計に入れるための費用 5 遊興費、自らのお小遣い 6 その他：[○○] 7 特に使い道は決めていなかった 8 高校等に通っている頃、アルバイトはしてなかった
Q24	受験勉強をしている頃、家族の状況（傷病や就労等）を理由に、家事、家族の介護・看護をしていましたか。（いくつでも）
	<ol style="list-style-type: none"> 1 自分が中心となって家事をしていた 2 家事を手伝っていた 3 家族の介護・看護をしていた 4 兄弟姉妹の世話をしていた 5 いずれもしてなかった

Q25		現在、出身家庭から学費・生活費の援助を受けていますか。
	1 2	1 受けていない 2 受けている
Q25-1		前問で「受けている」とお答えの方にお聞きます。 具体的にいくらかの援助を受けていますか。
	1	1 年間 約[○○]円
Q26		奨学金等を利用していますか。
	1 2	1 奨学金等を利用している 2 奨学金等を利用していない
Q26-1		奨学金等を利用している方にお聞きます。 利用しているそれぞれの奨学金等の年間受給額を記入してください。
	1 2 3 4 5	1 日本学生支援機構の貸与型奨学金 約[○○]円 2 日本学生支援機構の給付型奨学金 約[○○]円 3 日本学生支援機構以外の貸与型奨学金 約[○○]円 4 日本学生支援機構以外の給付型奨学金 約[○○]円 5 生活福祉資金の教育支援資金 約[○○]円
Q27		大学等に納付する授業料や通学費等について、年間必要となる額について記入してください。
	1 2 3 4	1 授業料（出身家庭が支払った授業料を含む） 約[○○]円 2 その他の学校納付金（入学時の特別納付金を除く） 約[○○]円 3 修学費（教科書・図書代、文具購入費等を含む） 約[○○]円 4 通学費 約[○○]円
Q28		大学等の授業料減免制度を受けていますか。令和5年度前期分についてお答えください。
	1 2 3 4 5 6	1 全額を受けた 2 半額以上全額未満を受けた 3 半額未満を受けた 4 申請したが不許可になった 5 申請しなかった 6 大学等に減免制度がなかった
Q29		この1年間、病気(風邪を含む)やけがをした場合、医療機関を受診しましたか。 ※1年生の方は大学等に入学後の状況についてお答えください。
	1 2 3 4	1 必要な場合はその都度受診した 2 経済的な理由で、出来るだけ受診を控えた 3 授業やアルバイト等のため、受診する時間がなかった 4 病気やけがをしていない

Q30	20歳以上の方のみにお聞きします。 国民年金保険料を納付していますか。
	<ul style="list-style-type: none"> 1 納付している 2 学生納付特例制度を利用している 3 納付していない 4 わからない
Q31	最近1年間、授業期間中や長期休暇中にアルバイトをしましたか。
	<p>【質問アイテム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 <アルバイトの有無>（授業期間（平日）） 2 <アルバイトの有無>（授業期間（土日）） 3 <アルバイトの有無>（長期休暇中） <p>【選択肢】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 しなかった 2 していた
Q31-1	アルバイトをした方は、1日あたりの平均的な労働時間と1ヶ月あたりの平均的な就労日数、1ヶ月あたりの収入額をお答えください。 ※1年生の方は大学等に入学後の状況についてお答えください。
	<ul style="list-style-type: none"> 1（授業期間（平日））<1日あたりの平均労働時間>[○○]時間 2（授業期間（平日））<1ヶ月あたりの平均就労日数>[○○]日 3（授業期間（土日））<1日あたりの平均労働時間>[○○]時間 4（授業期間（土日））<1ヶ月あたりの平均就労日数>[○○]日 5（長期休暇中）<1日あたりの平均労働時間>[○○]時間 6（長期休暇中）<1ヶ月あたりの平均就労日数>[○○]日
Q31-2	アルバイトをした方は、1ヶ月あたりの平均収入をお答えください。
	<ul style="list-style-type: none"> 1 [○○]円
Q32	アルバイトをしている方にお聞きします。 自分のアルバイト収入の一部を生活費として家庭に入れてありますか。
	<ul style="list-style-type: none"> 1 入れている 2 入っていない
Q32-1	入れている場合、その頻度は定期的ですか。
	<ul style="list-style-type: none"> 1 定期的に入れている 2 随時必要なときだけ入れている
Q32-2	また、1ヶ月あたりの平均額をお答えください。
	<ul style="list-style-type: none"> 1 <生活費として家庭に入れている1ヶ月あたりの金額>約[○○]円
Q33	学校の授業に平均してどれくらいの割合で出席していますか。
	<ul style="list-style-type: none"> 1 0割（まったく出席していない） 2 1～3割程度 3 4～6割程度 4 7～8割程度 5 9～10割程度（全出席）

Q34	<p>授業に出席しなかったことがある方にお聞きます。 授業に出席しなかった主な理由は何ですか。</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1 アルバイト 2 就職活動・インターンシップ 3 部活・サークル活動 4 病気（体調不良） 5 授業が面白くない 6 特に理由はない 7 その他：[○○]
Q35	<p>学生生活について、次のような悩みや不安はありますか。</p>
	<p>【質問アイテム】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業内容についていけない 2 卒業後にやりたいことが見つけれない 3 希望の就職先や進学先へ行けるか不安だ 4 経済的に勉強を続けることが難しい 5 学内の友人関係の悩み 6 家族関係の悩み 7 学業とアルバイトの両立が困難 <p>【選択肢】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大いにある 2 少しある 3 あまりない 4 全くない
Q36	<p>今年度卒業見込みの方にお聞きます。 11月1日現在の卒業後進路をお答えください。 ※進学希望で試験が今後行われる予定の場合も、「進学（他の専修学校等を含む）」を選択してください。</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1 進学（他の専修学校等を含む） 2 正規の職員等として就職 3 正規以外のフルタイム職員等として就職 4 アルバイト等の一時的な仕事に就職 5 現在も就職活動中 6 未定 7 その他：[○○]
Q37	<p>今年度卒業見込みの方にお聞きます。 卒業後は、出身家庭で親と同居しますか。</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1 同居する予定 2 同居しない予定（転出する予定） 3 わからない
Q38	<p>同居しない予定（転出する予定）の方にお聞きます。 転出後、出身家庭に経済的な援助を行おうと考えていますか。</p>
	<ol style="list-style-type: none"> 1 経済的な援助を行おうと考えている 2 経済的な援助を行いたいが、難しい（援助する余裕はない）と考えている 3 経済的な援助は行わない 4 その他：[○○]
Q39	<p>最後に、進学の上で困ったことなどがあれば、自由に記載して下さい。</p>
	<p>自由記述</p>